

人口問題研究所  
実地調査報告資料  
昭和58年7月20日

101844

昭和57年  
第8次出産力調査  
(結婚と出産力に関する全国調査)

——第II報告書——

独身青年層の結婚観と子供観

厚生省人口問題研究所

## 序 文

第2次ベビーブーム以後の10年間、出生率の低下、初婚年齢の上昇、離婚率の上昇など、人口動態が大きく変化している。人口問題研究所は、最近の人口動態激変の原因を探り、ひいてはわが国出生率の将来動向予測の手がかりを得るため、昨年6月『第8次出産力調査（結婚と出産力に関する全国調査）』を実施した。

従来の出産力調査は再生産年齢期間にある妻をもつ夫婦を対象として行われてきたが、第8次調査ではこの夫婦調査とは別に、独身青年層を対象とした調査をも実施した。夫婦調査の結果は、すでに本年1月にその概要を新聞・テレビを通じて発表し、3月には『（第8次出産力調査第I報告書）日本人の結婚と出産』として刊行した。本報告書は第8次調査の第II報告書であり、独身者調査の結果をとりまとめたものである。

独身者調査のねらいは、結婚前の若い男女が結婚についてどのように考え、また結婚後の出産、子ども問題についてどのように考えているかを知り、これによって若者の結婚観や子供観に大きな変化が起こりつつあるのか否かを探ることにある。本調査の結果が最近の人口動態の変化の原因解明に資することはもちろん、結婚や子供の問題に関心をもたれる方々の参考資料として大いに活用されることを切望するものである。

この調査の実施にあたって厚生省大臣官房統計情報部、都道府県、政令指定都市、保健所ならびに全国の調査対象者の方々の多大な御協力を得た。ここに記して感謝の意を表する。

なお本報告書の作成は、本研究所人口資質部長阿藤誠を中心として高橋重郷（人口資質部研究員）、小島宏（人口情報部研究員）、大谷憲司（人口政策部研究員）、池ノ上正子（人口資質部研究員）の計5名が担当した。

昭和58年7月20日

厚生省人口問題研究所長

岡 崎 陽 一

# 目 次

## 第 I 部 調査の概観

第 1 章 調査実施の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査実施の概要	2
3. 標本の代表性	3
第 2 章 調査結果のあらまし	9

## 第 II 部 調査結果の概説

第 1 章 結婚の意思	13
1. 生涯独身志向	13
2. 属性別にみた生涯独身志向	14
第 2 章 希望結婚形態	16
1. 希望する結婚形態	16
2. 属性別にみた希望結婚形態	17
第 3 章 異性との交際	20
1. 異性の友人の有無	20
2. 属性別にみた異性の友人の有無	21
第 4 章 交際のきっかけ	24
1. 異性の友人と知りあったきっかけ	24
2. 属性別にみた「知りあったきっかけ」	27
第 5 章 希望結婚年齢と希望夫妻年齢差	29
1. 希望する結婚年齢	29
2. 属性別にみた希望結婚年齢	31
3. 結婚相手との希望年齢差	32
第 6 章 結婚後の親子同居と婿養子縁組への態度	35
1. 自分の親との同居志向	35
2. 属性別にみた自分の親との同居志向	36
3. 結婚相手の親との同居志向	39

4.	婿養子縁組に対する態度	40
第7章	希望子供数	42
1.	希望子供数の分布	42
2.	希望子供数の社会経済的格差	43
第8章	子供の性別選好	44
第9章	一人っ子忌避理由	46
第10章	第1子出産希望時期	48
第11章	避妊知識	51
1.	避妊知識の有無	51
2.	避妊知識の入手経路	52
第12章	結論にかえて—調査結果の評価—	54

### 第Ⅲ部 付属資料

1.	調査関係資料	57
2.	主要結果表	75

# 第 I 部 調査の概観

# 第1章 調査実施の概要

## 1. 調査の目的

第I報告書で詳しく述べたとおり、本報告書が扱っている独身者調査は、厚生省人口問題研究所が昭和57年6月3日に実施した『第8次出産力調査（結婚と出産力に関する全国調査）』の一環として行われた。

人口問題研究所の出産力調査はこれまで、夫婦の出生意識や出生行動の解明を目的として再生産年齢期間にある妻をもつ夫婦を対象に実施されてきた。今回の第8次調査では、従来のごとき夫婦調査（以下『第8次・夫婦調査』と呼ぶ）に加えて独身青年層を対象とした調査を別個に実施した。この『独身者調査』は大きく分けて二つの目的をもつ。

第一に、人口問題研究所のスタッフの分析によって昭和48年以降の出生率低下の主たる理由が有配偶率の低下、なかんずく晩婚化であることが分かってきた。若者の結婚行動が変化してきているのである。かりに、この若者の結婚行動の変化が、結婚革命と呼ばれるほどの結婚観、結婚制度の変質を意味するのだとすると、出生率の今後の動向も予断を許さない。なぜならばかりに結婚する人々（夫婦）の子供の生み方に今後も大きな変化がないとしても、結婚する人が少なくなり、結婚が極端に遅くなれば出生率は長期停滞を免れないからである。

独身者の結婚観の調査はこの点を考慮したもので、独身者の結婚の意思、希望結婚形態、希望結婚年齢、希望夫妻年齢差、異性との交際、結婚後の親との同居志向、婿養子縁組に対する態度などについて調べ、全体として若者の結婚観に大きな変化が起きつつあるか否かを明らかにしようとした。

第二に、夫婦出生力の調査を再生産年齢期間（通常15～49歳）の有配偶女子の無作為抽出標本について行くと、10歳代後半、20歳代前半の女子の標本規模は非常に小さくなる（『第8次・夫婦調査』の場合10歳代後半の妻は全標本（8,433人）中8人、20歳代前半の妻は341人にすぎない）。それは、ふつう20歳代前半までの未婚率が高いためであり、また最近はとくに年齢構造における若年層の先細りのためである。

ところが、夫婦出生力の将来を予測する目的からすると、今後結婚・出産過程に入ってくる若い世代の出生目標を十分把握しておく必要がある。独身者の子供観の調査はこの点を考慮したもので、結婚前の若者が希望する結婚後の子供数、希望する男女児の組合せ、第1子出産希望時期、それに避妊知識などを調査し、全体として若者の子供観に大きな変化が起きつつあるか否かを明らかにしようとした。

## 2. 調査実施の概要

本調査（『第8次出産力調査，独身者調査』）は全国の18歳以上35歳未満の独身男女を母集団とする全国標本抽出調査である。これは妻の年齢50歳未満の夫婦を対象とする『第8次・夫婦調査』と同時並行的に実施された。以下、『独身者調査』の方法を概説する。

### (1) 調査の時期

本調査は，昭和57年6月1日現在の事実について調査した。

### (2) 調査の対象

全国の18歳以上35歳未満の独身（未婚，離別，死別）男女を母集団とし，次項で述べる標本抽出法により，5,807人の独身男女を調査客体として設定した。

### (3) 標本の抽出

本調査の標本抽出は，厚生省大臣官房統計情報部の実施する『厚生行政基礎調査（指定統計第60号）』のための調査区の中から再抽出したものを調査区として設定し，そこに居住する18歳以上35歳未満の独身男女すべてを調査客体としている。

昭和57年に実施された『厚生行政基礎調査』は，総理府統計局が昭和55年に実施した『国勢調査』のための「国勢調査区」（合計約74万）の中から，「後置番号」1（一般調査区）および8（50人以上の寄宿舍・寮等のある区域）に分類されている約71万調査区を母集団とし，そこから系統抽出法によって1,800調査区を調査対象地区として抽出している。『第8次出産力調査（独身者調査および夫婦調査）』は，この1,800調査区の中から「後置番号」1の一般調査区（1,755地区）を対象に再び系統抽出法を用いて325調査区を選定し，そこに居住する前述の独身者を調査客体とした。

### (4) 調査方法

従来『出産力調査』と同様，配票自計・密封回収方式によった。

### (5) 調査の手順

調査対象地区が選定されたのち，厚生省大臣官房統計情報部，都道府県，政令指定都市，および保健所の協力を得て，調査員の選任とその指導・説明等の調査準備を行った。

昭和57年6月3日の調査実施日に先だって，調査員は受け持ち調査区内の全世帯を巡回し，調査の趣旨を説明するとともに，調査地区名簿を作成して調査客体の確認を行いながら，調査対象者一人につき「調査票」，「調査のお願い」，「調査票回収用封筒」を一部ずつ配布して調査票の記入を依頼した。

さらに，調査員は調査実施日終了後ただちに受け持ち調査区内の各世帯を再訪問し，回収用封筒に密封された調査票を受け取り，調査地区名簿に回収状況の記入を行った。こうして回収された調査票は昭和57年7月頃までに人口問題研究所へ送付され，そこで点検・整理されたのちにコンピュータによる集計・分析が行われた。

## (6) 調査票の回収状況

調査客体数	5,807
回収票数	5,334 (回収率 91.9%)
有効票数	4,987 (有効回収率 85.9%)

ただし、未回収票(473票)は調査拒否および不在等の理由によるもので、調査員、調査協力機関(都道府県、政令指定都市、保健所)各位の御協力により、この種の調査としてはきわめて高い回収率をあげることができた。回収票のうち347票は白票あるいは記入率の極端に悪い調査票であった。そこで、これらの調査票は無効票と判断し、集計に含めなかった。なお、『独身者調査』の回収率と有効回収率は『第8次・夫婦調査』の結果(それぞれ98.7%と95.3%)に比べるとやや低いが、独身者を対象とするこの種の調査としては抜群に高いものである。

## (7) 本稿の集計対象

『独身者調査』の対象は18歳以上35歳未満の独身男女であり、その中には未婚者のみならず離別者と死別者も含まれる。しかし、今回の集計・分析に際しては対象を未婚者4,842人(男子2,732人と女子2,110人)に限定した。それは①調査票が未婚者を念頭において設計されており、②離死別者の数が少ない上に調査漏れ率が高いと考えられ、③未婚者と離死別者では結婚観・子供観がかなり異なる可能性があるからである。

## 3. 標本の代表性

本調査は2段階の系統抽出によって全国にある699,220の一般調査区の中から325調査区を抽出し、そこに居住する18歳以上35歳未満の独身男女を全数調査したものである。従って、全国にいる18歳以上35歳未満の独身男女のうち約2,154分の1(抽出率0.046%)を調査したことになる。

本調査の標本抽出は昭和55年10月1日に実施された『国勢調査』のための調査区を抽出単位としているから、本調査の標本の代表性は昭和55年『国勢調査』の集計結果とつきあわせてみればよさそうであるが、いくつかの問題がある。

第一に本調査と『国勢調査』の実施時期には1年8カ月のずれがあり、その間の人口動態上の変化によって当然母集団は変化しているはずであるから、そのまま比較するにはやや問題がある。第二に両調査における調査対象の各種の属性は同一の基準で分類されていないものが多く、年齢等の若干の属性を除いて直接的かつ厳密な比較を行うことは難しい。第三に本調査の対象は「独身(未婚、離別、死別)の男女」であるが、『国勢調査』の集計結果として公表されているものの中で配偶関係と組合せた集計がされているのは年齢等のごく少数の属性に限られている。

『国勢調査』以外に本調査と比較できる調査としては、厚生省大臣官房統計情報部が本調査と同時に



表1 『第8次出産力調査、独身者調査』の年齢別標本数および他調査との比較（未婚男子）

年齢	昭和57年6月1日現在の未婚人口数の推計値* (× 1,000人)	昭和57年厚生行政基礎調査(全標本)における未婚者数(人)	昭和57年厚生行政基礎調査(出産力調査と同一調査区)における未婚者数(人)	第8次出産力調査における未婚者数(人)	昭和57年6月1日現在の未婚人口数の推計値に対する標準比率(%)		厚生行政基礎調査の未婚者数に対する標準比率(%)		第8次出産力調査における調査漏れ率(%)	
					厚生行政基礎調査(2)/(1) (5)	同左(出産力調査と同一調査区)(3)/(1) (6)	第8次出産力調査(4)/(1) (7)	同調査(出産力調査と同一調査区)(3)/(2) (8)		第8次出産力調査(4)/(2) (9)
18～34歳の合計	8,866 (100.00%)	20,073 (100.00%)	3,283 (100.00%)	2,732 (100.00%)	0.2264	0.0370	0.0308	16.36	13.61	16.8
18～19歳	1,662 (18.75%)	3,815 (19.01%)	594 (18.09%)	494 (18.08%)	0.2295	0.0357	0.0297	15.57	12.95	16.8
20～24歳	3,666 (41.35%)	8,363 (41.66%)	1,342 (40.88%)	1,138 (41.65%)	0.2281	0.0366	0.0310	16.05	13.61	15.2
25～29歳	2,352 (26.53%)	5,275 (26.28%)	880 (26.80%)	730 (26.72%)	0.2243	0.0374	0.0310	16.68	13.84	17.0
30～34歳	1,185 (13.37%)	2,620 (13.05%)	467 (14.22%)	370 (13.54%)	0.2211	0.0394	0.0312	17.82	14.12	20.8

(注) \* 総理府統計局の『人口推計月報、昭和57年10月』と『昭和57年10月1日現在、推計人口』に基づく年齢階級別人口と厚生省大臣官房統計情報部の『昭和57年厚生行政基礎調査』に基づく年齢階級別未婚率より推計した数値。

表2 『第8次出産力調査，独身者調査』の年齢別標本数および他調査との比較（未婚女子）

年齢	昭和57年6月1日現在の未婚人口数の推計値* (×1,000人)	昭和57年厚生行政基礎調査(全標本)における未婚者数 (人)	昭和57年厚生行政基礎調査(出産力調査と同一調査区の標本)における未婚者数(人)	第8次出産力調査における未婚者数 (人)	昭和57年6月1日現在の未婚人口数の推計値に対する標準比率(%)		厚生行政基礎調査の未婚者数に対する標準比率(%)		第8次出産力調査における調査漏れ率(%)
					厚生行政基礎調査 (2)/(1) (5)	同左(出産力調査と同一調査区) (3)/(1) (6)	同調査(出産力調査と同一調査区) (3)/(2) (8)	第8次出産力調査 (4)/(2) (9)	
18～34歳の合計	6,115 (100.00%)	14,678 (100.00%)	2,374 (100.00%)	2,110 (100.00%)	0.2400	0.0388	16.17	14.38	11.1
18～19歳	1,575 (25.76%)	3,950 (26.91%)	548 (23.08%)	466 (22.09%)	0.2508	0.0348	13.87	11.80	15.0
20～24歳	3,047 (49.83%)	7,315 (49.84%)	1,231 (51.85%)	1,106 (52.42%)	0.2401	0.0404	16.83	15.12	10.2
25～29歳	1,029 (16.83%)	2,345 (15.98%)	400 (16.85%)	373 (17.68%)	0.2279	0.0389	17.06	15.91	6.8
30～34歳	464 (7.59%)	1,068 (7.28%)	195 (8.21%)	165 (7.82%)	0.2302	0.0420	18.26	15.45	15.4

(注) \* 総理府統計局の『人口推計月報，昭和57年10月』と『昭和57年10月1日現在，推計人口』に基づく年齢階級別人口と厚生省大臣官房統計情報部の『昭和57年厚生行政基礎調査』に基づく年齢階級別未婚率より推計した数値。

実施した『厚生行政基礎調査』がある。この調査の抽出率は0.254%で、標本の規模は本調査の約5.5倍と大きく、標本の代表性はかなり高いと思われる。

ただ『厚生行政基礎調査』の場合も各種の属性が本調査と同一の基準で分類されていないものが多い上、配偶関係別のデータは年齢と組合せたものが得られるだけである。

そこで、ここでは本調査の標本の代表性を年齢別にみた標本抽出率と調査漏れ率、およびその結果としての年齢別構成比について検討するにとどめる。なお、本稿では分析の対象を未婚者に限定しているので、以下では未婚男女のみについて標本の代表性を検討する。

まず、本調査の調査時点である昭和57年6月1日現在の（昭和55年『国勢調査』結果をベースとする）推計人口数と『厚生行政基礎調査』から得られる未婚率を用いて年齢5歳階級別未婚者数を推計した。それに加えて『厚生行政基礎調査』の全標本における年齢別未婚者数、『厚生行政基礎調査』の標本のうちで本調査の対象地区に属するものにおける年齢別未婚者数の三つの数値を用いて、本調査の代表性を検討することにした。

表1と表2の(1)～(4)欄は、年齢5歳階級別にみた男女それぞれの推計未婚人口数（および年齢別構成比）ならびに各調査における未婚者数（および年齢別構成比）を示したものである。

#### (1) 標本抽出率

『厚生行政基礎調査』は全国の約71万の調査区から1,800調査区、『出産力調査』は325調査区を抽出している。従って、抽出率はそれぞれ0.2535%と0.0458%になる。いま、表1と表2の(2)～(4)欄を(1)欄で除せば、それぞれの調査の年齢別標本比率が求められる（(5)～(7)欄）。この率と調査区の抽出率の比較によって、年齢別未婚人口の抽出に偏りがあつたかどうかをみることにしよう。

表1と表2の(1)欄の推計未婚人口が正しいと仮定すれば、本調査の対象となるべき未婚男子は約4,060人（8,866,000人×0.0458%）、未婚女子は約2,800人（6,115,000人×0.0458%）である。それらの人数と調査で把握された未婚男子2,732人、未婚女子2,110人との差は調査漏れ、あるいは抽出された調査区の偏りによって発生したものと言えなくはないが、推計未婚人口それ自体に誤差があるので明確に断定することはできない。むしろ、それぞれの標本比率が年齢階級別にみて一定していることが、全国標本の代表性という点からみて重要であろう。

各表の(7)欄に示された通り、本調査の標本比率は男子で0.0308%、女子で0.0345%で、男子より女子の方が1割強高いが、それでも『第8次・夫婦調査』における有配偶女子の標本比率を1割以上下回っている。また、年齢別にみると男子の場合、18～19歳での標本比率がわずかに低いが、ほぼ一定している。女子でも20歳以上の各年齢階級の標本比率はほぼ一定しているが、18～19歳のそれは平均より1割以上低くなっている。

本調査の標本比率が『第8次・夫婦調査』のそれよりも低くなった理由としては、本調査の調査対

象地区が一般調査区に限定されていることが考えられる。「後置番号」8の50人以上の寄宿舍・寮等のある区域では親元を離れた独身の居住者が多数を占めるため、一般調査区の居住者全体に占める独身者の割合が全国平均より低くなるはずである。また、親元を離れた独身者の中でも特に年齢が低い者は寄宿舍・寮等に住むことが多いため、本調査において18～19歳の未婚者の標本比率が特に低くなったのであろう。

本調査で女子より男子の標本比率が低いのは、親元を離れて暮らしている者の割合が女子より男子で1割程度高い上に、一人暮らしの男子の方が一人暮らしの女子よりも調査対象者としてつかまえにくいことにもよると思われる。また、一般的に言って、男子の方がこのような調査に対して関心が薄く、非協力的であることも考えられる。

## (2) 調査漏れ率

以上で述べたようなことは、調査漏れ率の面からも確認される。『厚生行政基礎調査』は本調査とは異なり、調査員による聴き取り調査であるため、その完全性は極めて高いと考えられる。かりに『厚生行政基礎調査』の調査漏れがまったくないとすれば、本調査と同一の調査区における標本数を分母とし、それと本調査の標本数の差を分子として求めた比率が本調査の調査漏れ率となる。それが、表1と表2の(10)欄に示されている。

全体としての調査漏れ率は男子で16.8%、女子で11.1%で、それぞれ『第8次・夫婦調査』の調査漏れ率の約3倍と約2倍に当たる。年齢階級別にみると、男子では調査漏れ率がそれほど年齢によって違わないが、女子では18～19歳と30～34歳の調査漏れ率が15%を越えており、18～19歳では男子の調査漏れ率とほぼ等しくなっている。そのためか、この年齢階級では推計未婚人口から求めた性比と本調査の標本から求めた性比がほぼ等しくなっている。また、他の年齢階級では本調査における標本の性比の方が1割ほど低くなっており、男子の調査漏れ率が女子のそれより1割ほど高いことがうかがわれる。

## (3) 年齢別構成比

標本抽出率と調査漏れ率が年齢別に異なるため、年齢別構成比にも偏りが出てくることが予想される。しかし、男子の場合には表1の(1)欄と(4)欄の年齢階級別構成比を比べてみても、わずかな差しかみられない。18～19歳においては本調査の構成比が推計未婚人口のそれを0.7%ほど下回っているが、他の年齢階級では差が0.3%以下である。また、分離係数(index of dissimilarity)は0.67%に過ぎず、『第8次・夫婦調査』のそれより低いくらいである。従って、男子に関しては年齢構成上の偏りが極めて小さく、本調査の集計結果は全国の姿をよく表わしていると言えよう。

しかしながら、女子の場合、表2の(1)欄と(4)欄に示された年齢階級別構成比を比べてみると、差が比較的大きい。18～19歳では本調査の構成比が推計人口のそれを3.7%も下回り、20～24歳では逆に

2.6%も上回っている。そのため分離係数も3.67%となっている。

結局、未婚男子は未婚女子に比べて1割程度調査漏れが多いが、すべての年齢階級でまんべんなく漏れているため、年齢構成上の偏りがかえって少なくなっている。未婚女子は未婚男子に比べて全般的に漏れが少ないが、18～19歳では男子と同程度の漏れがあるため、年齢構成上の偏りがある程度生じている。それでも、本調査は調査対象者のつかまえにくさ（特に一人暮らしの者）、調査内容の特殊性（プライバシーに関する質問が含まれている）、調査方法の制約（配票自計・密封回収方式）といった悪条件にもかかわらず、予想外に調査漏れ率が低く、この種の調査としては抜群の有効回収率を示しており、相対的にみて相当に信頼性の高い調査と言えよう。また、本稿における分析はほとんどの場合年齢別に行われているから、年齢構成上の偏りもそれほど大きな問題にはならない。

## 第2章 調査結果のあらまし

### 〔第1章 結婚の意思〕

- (1) 生涯独身志望者はきわめて少ない。女性の場合30歳を過ぎると結婚の意思がやや弱まる。
- (2) 大卒，ホワイトカラーの女性が他に比べて生涯独身志向が強いということはない。

### 〔第2章 希望結婚形態〕

- (1) 若いうちは恋愛結婚至上主義だが，年齢が高くなるほど見合結婚でもよいと考えるようになる。『第8次・夫婦調査』によると，結婚年齢が低いほど恋愛結婚割合が高く，結婚年齢が高いほど見合結婚割合が高い。
- (2) 中（学校）卒，男女別学高校卒，無職とブルーカラー，農村居住者，中国・四国，東北でやや恋愛結婚志向が弱い，これは一面では価値観の違いを表わしているのであろうが，別の面では異性との接触機会の少なさを反映したものであろう。

### 〔第3章 異性との交際〕

- (1) 異性の友人のいない者は男子で4割弱，女子で3割ある。男女ともに年齢が高くなるほど異性との交際は減る。
- (2) 中（学校）卒，男女別学高校卒，ブルーカラー，農村居住者，両親との同居者で異性との交際が少ない。

### 〔第4章 交際のきっかけ〕

- (1) 現在交際している異性と知りあった場所は，20歳代前半までは「学校」がトップを占め，20歳代後半からは「職場」がトップを占める。
- (2) 『第8次・夫婦調査』によると夫妻の知りあったきっかけでは「学校」は1割に満たないから，「学校」で知りあった異性の友人は必ずしも結婚相手になっていないことになる。
- (3) 高学歴の者ほど「学校」で異性と知りあう機会が多い。実際，『第8次・夫婦調査』によれば4年制大学卒女子の場合には「学校」で知りあって結婚した者が2割ほどある。
- (4) 男子のホワイトカラーはブルーカラーよりも異性の友人と「職場」で知りあった者が多い。

## 〔第5章 希望結婚年齢と希望夫妻年齢差〕

- (1) 結婚最盛期前の青年の平均希望結婚年齢は男子で27歳，女子で24歳であるから，ことさらに晩婚志向が強まっているということはない。
- (2) 結婚最盛期前の青年の希望結婚年齢は男子では25～28歳に6～7割，女子では23～25歳に7割が集中している。
- (3) 高学歴，ホワイトカラー，都市居住者，関東でやや希望結婚年齢が高い。
- (4) 結婚最盛期前の青年においては，男女とも，夫が妻よりも平均して3歳強年上の組合せを希望する。妻が年上の組合せを希望するものはきわめて少ない。
- (5) 独身男性は自分の年齢が高くなろうとも，結婚相手としては適齢期の女性を望む。

## 〔第6章 結婚後の親子同居と婿養子縁組への態度〕

- (1) 独身男性の4人に1人，長男のみでは3割が，結婚直後から自分の親と同居することを希望する。
- (2) 男きょうだいのない女子の場合には自分の親との同居志向が強いが，結婚直後からの同居を望むものはそれほど多くない。
- (3) 『第8次・夫婦調査』によると結婚直後から夫方の親と同居する割合は最近でも約3割（長男の場合には約4割）である。
- (4) 大卒，ホワイトカラー，大都市居住，北海道の男子は他の男子に比べ結婚直後からの親との同居志向は弱い。また，現在親と別居している者の間でもやはり弱い。
- (5) 結婚後における夫の親との同居を拒否する女性は2割以下，はっきり容認する者が3割ある。
- (6) 独身女性の約1割，男きょうだいのない長女の4割弱は（少なくとも親は）婿養子縁組を望む。
- (7) 独身男性の約1割，次三男の2割弱は婿養子縁組を容認する。

## 〔第7章 希望子供数〕

- (1) 独身者の結婚後の希望子供数は男女とも平均2.3人で，2～3子を希望する者が9割弱を占める。

## 〔第8章 子供の性別選好〕

- (1) 男女とも，結婚後に2子を希望する場合は1男1女が大多数で，3子を希望する場合は2男1女が1男2女を大きく上回る。

## 〔第9章 一人っ子忌避理由〕

- (1) 独身者で一人っ子を望む者がほとんどないのは，主として子供本位の理由（「成人後に助け合える

兄弟姉妹がないとかわいそう」, 「兄弟姉妹がないと子供の成長に好ましくない」) からで, 親本位の理由(「老後が心細い」など)は少ない。

#### 〔第10章 第1子出産希望時期〕

- (1) 若いうちは第1子出産の延期を希望するが, 年齢が高くなると, すぐに子供をもつことを望む者が増える。

#### 〔第11章 避妊知識〕

- (1) 避妊について「全然聞いたことのない者」は少ないが, 「よくわかっていない者」は男子で4人に1人, 女子で3人に1人ある。
- (2) 避妊についての知識は, 男女ともに「雑誌, 新聞」と「同性の友人」からえる場合が多い。





## 第II部 調査結果の概説

# 第1章 結婚の意思

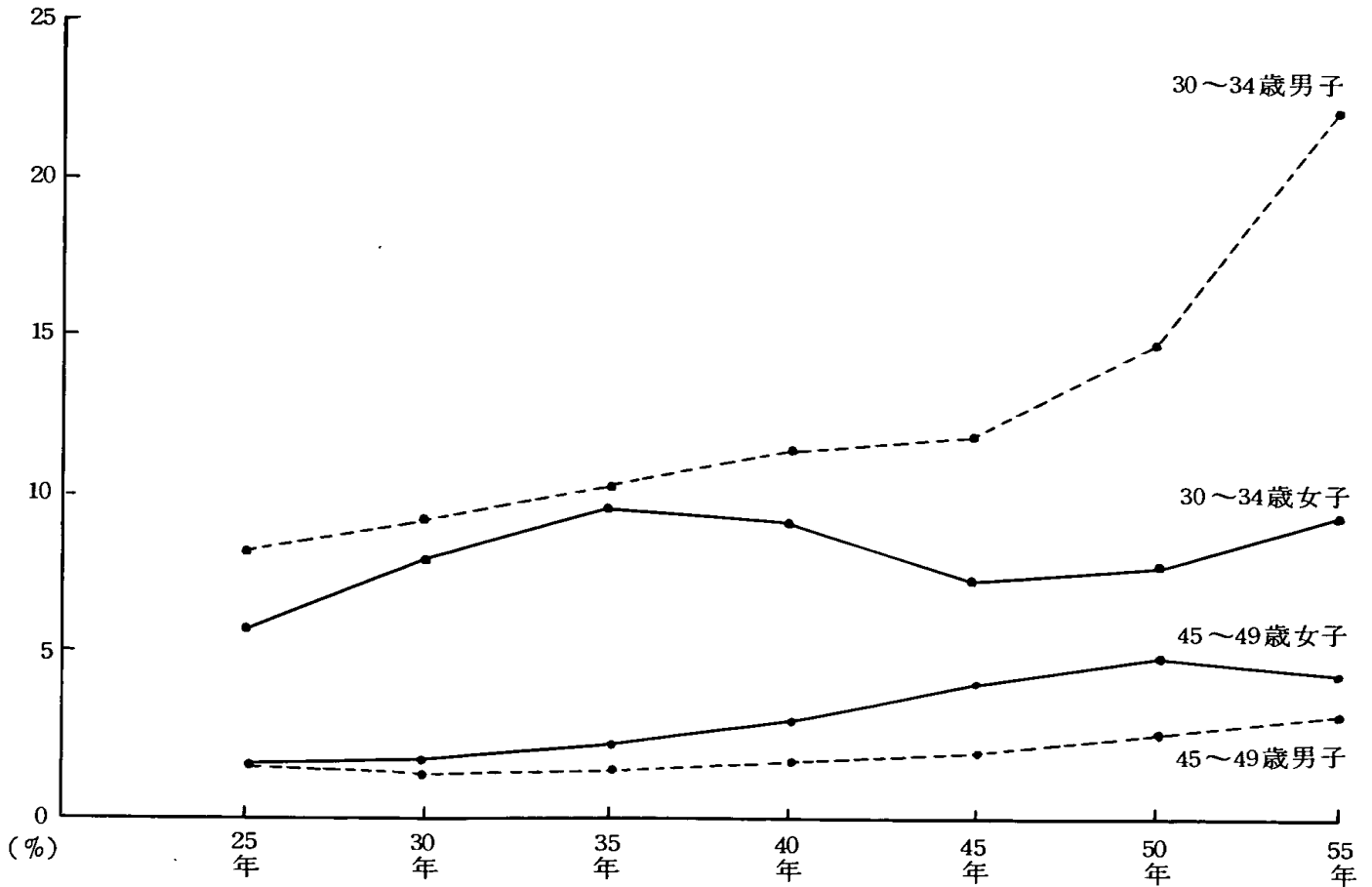
## 1. 生涯独身志向

図1-1は『国勢調査報告』による30～34歳と45～49歳の男女の未婚率を示したものである。生涯未婚率に相当する45～49歳男女の未婚率は徐々に高まってきているとは言え、いまだに5%未満である。ところが、30～34歳の未婚率は女子では弱いながらも上昇気味であるし、男子では急上昇している。

この若い世代の結婚の遅れが生涯未婚率の上昇につながるかどうかを推しはかる手がかりとするため、『独身者調査』では結婚する意思の有無を尋ねた。

表1-1に示された通り、男子の場合には「一生結婚するつもりはない」と答えた者は20歳代までは3%未満、30歳代前半でさえ5%程度なので、構造的な理由による結婚難がひどくならない限り、男子の生涯未婚率が大幅に上昇することはあまり考えられない。

図1-1 『国勢調査報告』による30～34歳と45～49歳の未婚率



(資料出所) 『国勢調査報告』

表1-1 結婚意思の有無

(%)

年 齢	結 婚 意 思 の 有 無				
	計	近い将来結婚する	いずれ結婚する	一生結婚しない	不 詳
男 子					
18～19歳	100.0	3.2	92.7	1.8	2.2
20～24歳	100.0	6.8	90.3	1.2	1.7
25～29歳	100.0	19.2	76.6	2.9	1.4
30～34歳	100.0	30.0	62.4	5.1	2.4
計	100.0	12.6	83.3	2.3	1.8
女 子					
18～19歳	100.0	3.0	92.5	2.6	1.9
20～24歳	100.0	10.6	86.9	1.9	0.6
25～29歳	100.0	18.0	74.5	4.0	3.5
30～34歳	100.0	14.5	58.2	23.6	3.6
計	100.0	10.5	83.7	4.1	1.7

女子の場合には30歳代前半になると結婚する意思のない者が4分の1近くまで増えるが、30～34歳の女子人口全体に占める未婚者の割合は1割にも達しないし、30歳未満で結婚する意思のない者はごくわずかである。したがって、少なくとも意識の面からみるかぎり、近い将来女子の生涯未婚率が大幅に上昇することも考えにくい。

## 2. 属性別にみた生涯独身志向

「一生結婚するつもりはない」と答えた者の割合を調査対象者の属性別に比べてみたが、男女ともあまり大きな格差がみられない。ただし、女子の場合には学歴と職業による違いがやや大きいので、表1-2に示した。一般的には大卒者やホワイトカラーのキャリア・ウーマンで生涯独身志向が強いと考

表1-2 属性別にみた「一生結婚するつもりはない」と答えた女子の割合

a) 学歴

(%)

学 歴	女 子		
	計	18～24歳	25～34歳
中 卒	18.1	7.0	28.8
高卒(共学)	2.9	1.4	8.9
高卒(別学)	4.6	2.1	11.4
専修学校卒 (高卒後)	2.5	2.4	3.0
短大・高専卒	2.9	1.7	7.1
大 卒	3.1	2.1	5.6

b) 職業

(%)

職 業	女 子		
	計	18～24歳	25～34歳
自営・家族 従 業 者	6.9	—	15.4
ホワイトカラー	2.4	1.2	5.9
ブルーカラー	8.7	4.3	20.0
臨 時 雇 い	6.4	2.2	12.1
無 職	9.8	2.6	19.3
学 生	3.9	3.9	—

えられているようであるが、本調査からは逆の結果が得られた。

すなわち、学歴別にみると、大卒者（在学中も含む）において結婚する意思のない者が特に多いわけではなく、むしろ中卒者に多い。また、同じ高卒者の中では男女共学の高校出身者よりも男女別学の高校出身者の方が生涯独身志向がやや強い。

職業別には、自営・家族従業者やブルーカラーで生涯独身志向が強く、ホワイトカラーでは弱い。無職の場合には男女とも結婚する意思のない者が多いが、ここには病弱な者がかなり含まれているためであろうか。

以上の調査結果は、結婚相手の候補者と出会う機会が少ない層（高年齢、低学歴、自営・家族従業者やブルーカラー）で生涯独身志向が強いことを示している。実際、これらの属性をもつ女性の場合、異性の友人をもたない者が多いことは第3章において明らかにされる。

総理府広報室による昭和47年の『婦人に関する意識調査』と54年の『婦人に関する世論調査』では類似の質問がなされているが、「生涯結婚する気はない」と答えた35歳未満の未婚男女の割合はやはりごくわずかであり、高年齢、低学歴、自営層で生涯独身志向が強い点も本調査の結果と共通している。

## 第2章 希望結婚形態

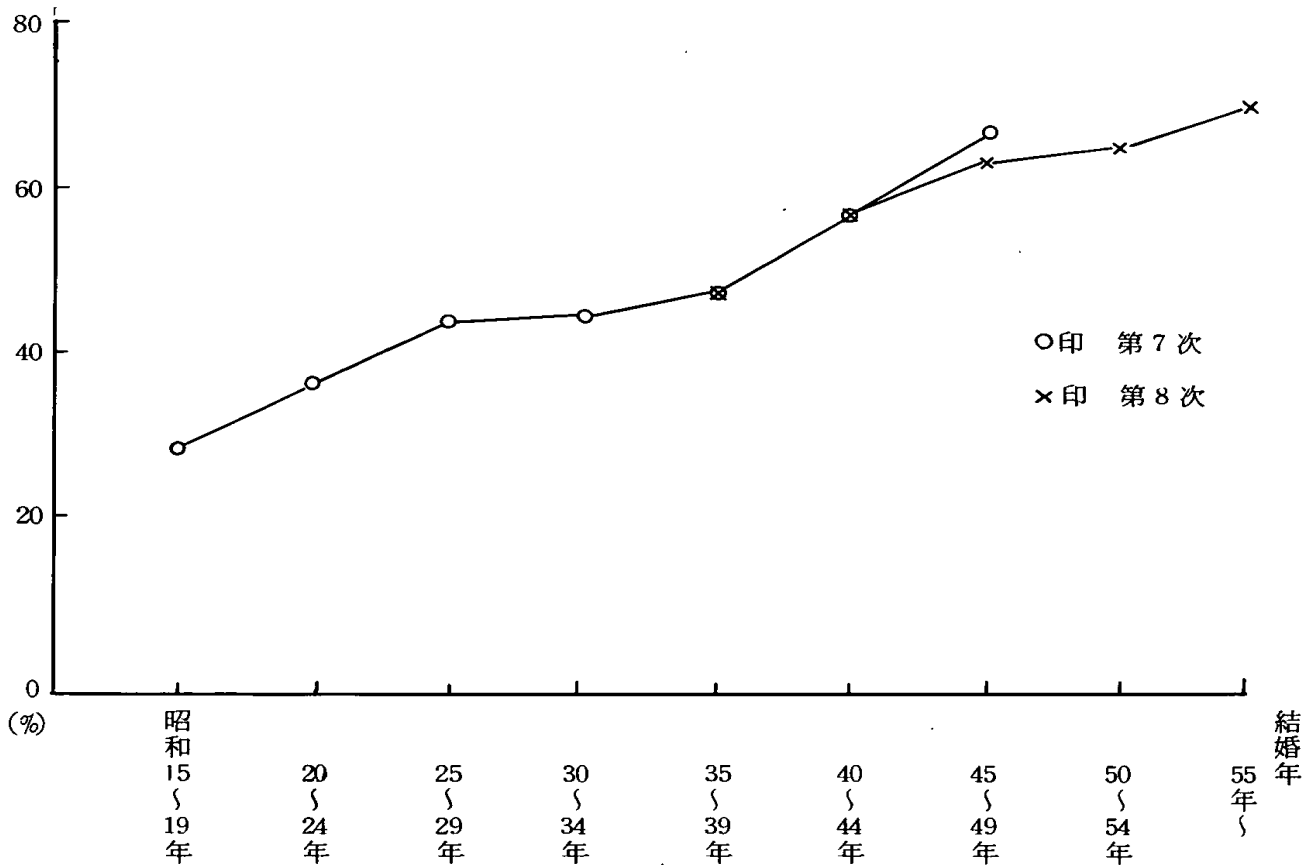
### 1. 希望する結婚形態

第1章では未婚男女の大部分が結婚する意思をもっていることが示されたが、彼(女)らはどのような形の結婚(見合か恋愛か)を望んでいるのであろうか。また、最近結婚した夫婦の実際の行動と比べてどう違うのであろうか。

図2-1は『第7次出産力調査』と『第8次・夫婦調査』の結果によって恋愛結婚割合を示したものである。これによると戦中期には見合結婚が約7割を占めており、恋愛結婚は3割程度しかなかったのが次第に増加し、最近では逆に約7割を占めるに至っている。

『独身者調査』の結果を示した表2-1によれば、男女とも恋愛結婚を望む者が約半数を占め、見合結婚を望む者は4%に満たないが、「どちらでもかまわない」と答えた者が4割強ほどいる。従って、

図2-1 『第7次出産力調査』と『第8次・夫婦調査』による恋愛結婚割合の推移



(資料出所) 『第7次出産力調査(昭和52年)』ならびに『第8次・夫婦調査(昭和57年)』

(注) 第7次調査については「恋愛結婚」と「その他」を加えたものの割合である。

表2-1 希望結婚形態

(%)

年 齢	希 望 結 婚 形 態				
	計	恋 愛 結 婚	見 合 結 婚	ど ち ら で も よ い	不 詳
男子					
18～19歳	100.0	67.9	2.5	27.2	2.3
20～24歳	100.0	58.7	2.7	36.3	2.3
25～29歳	100.0	37.3	4.9	55.5	2.3
30～34歳	100.0	24.0	6.1	67.8	2.0
計	100.0	50.2	3.7	43.9	2.3
女子					
18～19歳	100.0	62.5	2.9	33.7	0.9
20～24歳	100.0	54.4	3.2	41.6	0.9
25～29歳	100.0	43.2	2.3	53.3	1.2
30～34歳	100.0	27.5	3.3	64.2	5.0
計	100.0	52.6	3.0	43.2	1.2

見合結婚を積極的に望む者は少ないが、消極的に認める者は決して少なくないと言えよう。また、『第8次・夫婦調査』の結果からみて、このような見合結婚併用論者の半数程度は実際に見合で結婚する可能性がある。

男女とも年齢が高まるにつれて見合結婚併用論者が増えていき、恋愛結婚至上主義者が減っていく。『第8次・夫婦調査』の結果に現われた実際の行動もこのような意識と対応しており、夫妻とも結婚年齢が高くなるほど見合結婚が増え、恋愛結婚が減っている。二つの調査結果をみると、若者の間に恋愛結婚至上主義が定着する一方で、異性と交際する機会が少なくなる20歳代後半以降には見合が活用されるようになるということがうかがわれる。また、これからは見合結婚がこれまでのように急速に減ることとはなくなるのではないかと考えられる。

## 2. 属性別にみた希望結婚形態

見合結婚を望む者は少なく、調査対象者の属性別にみてもあまり大きな違いがみられない。そこで、恋愛結婚を望む者の割合を属性別に比べてみると、学歴、職業、現住地の性格、地方ブロックによる格差が比較的大きい(表2-2)。

まず学歴別には、男女とも中卒者で恋愛結婚志向が弱く、高卒者の中では男女別学高校出身の方が男女共学高校出身者よりも恋愛結婚志向が弱い。

表2-2 属性別にみた恋愛結婚志向割合

a) 学歴

(%)

学歴	男子			女子		
	計	18～24歳	25～34歳	計	18～24歳	25～34歳
中卒	36.3	54.2	25.8	44.6	56.6	28.2
高卒(共学)	58.3	67.6	38.3	57.5	62.1	37.6
高卒(別学)	48.0	60.6	30.3	54.8	60.9	36.0
専修学校卒 (高卒後)	55.5	60.5	44.8	47.1	52.1	33.9
短大・高専卒	44.2	50.0	34.2	51.5	53.8	42.7
大卒	48.4	59.2	32.8	48.2	46.7	52.3

b) 職業

(%)

職業	男子			女子		
	計	18～24歳	25～34歳	計	18～24歳	25～34歳
自営・家族従業者	40.6	63.0	28.0	51.9	65.6	31.8
ホワイトカラー	46.6	60.6	34.5	54.7	58.6	43.0
ブルーカラー	47.6	60.0	28.8	44.3	53.4	14.8
臨時雇い	57.1	70.0	34.8	54.2	58.1	48.3
無職	51.9	54.9	46.2	44.1	55.5	25.4
学生	62.5	62.7	50.0	51.6	51.6	50.0

c) 現住地の性格

(%)

現住地の性格	男子			女子		
	計	18～24歳	25～34歳	計	18～24歳	25～34歳
非人口集中地区 (Non-DID)	47.2	58.5	30.3	51.4	55.1	35.7
人口集中地区 (DID) 200万人未満	52.3	63.6	33.3	54.0	58.3	40.5
人口集中地区 (DID) 200万人以上	50.9	62.0	37.1	51.3	56.3	41.0

d) 地方ブロック

(%)

地方ブロック	男子			女子		
	計	18～24歳	25～34歳	計	18～24歳	25～34歳
北海道	57.5	63.0	46.2	54.9	65.3	31.8
東北	44.2	51.1	34.1	47.3	50.8	34.3
関東	54.1	65.1	39.8	53.9	57.6	44.2
中部	47.0	59.1	29.9	58.3	61.4	42.9
近畿	50.8	62.8	27.2	51.5	56.9	30.9
中国・四国	39.6	53.1	19.4	42.1	43.2	37.5
九州	53.8	67.0	31.0	54.8	61.8	37.5



職業別にみると、男子については自営・家族従業者で恋愛結婚志向が弱い。女子についてはブルーカラーと無職で恋愛結婚志向が弱く、ホワイトカラーで強い。

現住地の性格別には、男女とも都市的地域（人口集中地区）で農村的地域（非人口集中地区）よりも恋愛結婚志向がやや強いが、女子の場合は差が比較的小さい。

地方ブロック別にみると、男女とも北海道、関東、九州で恋愛結婚志向が強く、中国・四国と東北で恋愛結婚志向が弱い。

以上の結果は『第8次・夫婦調査』の結果とも比較的よく対応している。恋愛結婚をした夫婦の割合が低いのは夫妻が中卒者、夫が自営業、夫妻の婚前住所が農村、東北と中国・四国の場合で、その割合が高いのは夫妻の婚前住所が都市、北海道と関東の場合である。

総理府広報室による昭和47年の『婦人に関する意識調査』では「見合」、「恋愛」ということばこそ使われていないが、似たような質問がされている。結婚相手を「ぜひとも自分でみつきたい」と答えた未婚女子の割合は本調査で恋愛結婚を望んだ未婚女子の割合より1割強高いが、やはり年齢が高まるとともに低くなる傾向がみられる。

### 第 3 章 異性との交際

#### 1. 異性の友人の有無

すでに前章で示した通り、最近結婚の7割を恋愛結婚が占め、未婚男女の半数以上が主に恋愛結婚を望んでいる。このような恋愛結婚の前提をなすのは異性との交際である。そこで、『独身者調査』では交際している異性（以下では「異性の友人」と呼ぶ）がいるかどうかを尋ねた。

表3-1は異性の友人の有無と内訳を示したものである。男子では59%、女子では66%が異性の友人をもっている。この割合は男子の方が7%ほど低いが、調査対象者数は男子の方が約3割多いため、異性の友人をもつ者の絶対数は女子より男子の方が2割ほど多い。この事実は複数の異性と交際する者が男子より女子に多いということを示すのかもしれない。

異性の友人の内訳をみると、男女とも婚約者をもつ者が5%前後、恋人をもつ者が2割弱で、4割前後がその他の友人をもっている。また、男女とも婚約者をもつ者の割合は20歳代後半、恋人をもつ者の割合は20歳代前半でピークに達するが、その他の友人をもつ者の割合は18～19歳と20～24歳でほぼ同

表 3-1 異性の友人の有無

(%)

年 齢	計	異 性 の 友 人 あ り				異 性 の 友 人 な し	そ の 他 ・ 不 詳
		小 計	婚 約 者	恋 人	そ の 他 の 友 人		
男子							
18～19歳	100.0	58.7	1.8	15.4	41.5	36.8	4.5
20～24歳	100.0	66.0	3.6	21.9	40.5	29.6	4.4
25～29歳	100.0	55.5	8.1	14.5	32.9	40.3	4.2
30～34歳	100.0	42.7	5.9	9.7	27.0	52.2	5.1
計	100.0	58.7	4.8	17.1	36.8	36.8	4.5
女子							
18～19歳	100.0	61.8	1.5	17.0	43.3	35.2	3.0
20～24歳	100.0	71.8	6.5	20.8	44.5	25.0	3.3
25～29歳	100.0	62.5	9.1	14.2	39.1	32.2	5.4
30～34歳	100.0	43.0	4.8	12.7	25.5	45.5	11.5
計	100.0	65.7	5.7	18.2	41.8	30.1	4.2

じくらい高い。

男女とも異性の友人をもたない者の割合は20歳代前半でもっとも低く、年齢とともに高まり、30歳代前半では異性の友人をもつ者の割合より高くなる。この事実は、年齢が高くなるにつれて見合結婚を併用しようとする独身者が増えたり、実際に見合結婚をするものが増えたりするのだが、実は年齢とともに異性と接触する機会が減少してくるためであることをうかがわせる。

## 2. 属性別にみた異性の友人の有無

次章で示す通り、異性の友人と知りあったきっかけとしては学校と職場の占める割合が特に高い。そのため、異性の友人をもたない者の割合を属性別に比べてみると学歴と職業による格差が大きい。そのほかに現住地の性格、親との同別居、地方ブロックによる格差が比較的大きいので、これらに関する表を表3-2として示した。

学歴別には、男女とも中卒者で異性の友人をもたない者の割合が特に高く、高卒者の中では男女別学高校出身者でやや高い。逆に大卒者、短大・高専卒業者（いずれも在学中の者を含む）では異性の友人をもたない者の割合がやや低い。男女別学高校出身者が男女共学高校出身者に比べて異性の友人を見つける上で不利なのは当然であろう。中卒者の場合は卒業後の年数が長いことにもよるのであろうが、異性と接触する機会が少ない職場で働くことが多いことにもよるのであろう。

職業別にみると、男女とも無職とブルーカラーで異性の友人をもたない者の割合が高く、ホワイトカラーで低い。男子の場合、自営・家族従業者でも異性の友人をもたない者の割合が高い。無職の場合は論外であるが、やはり異性と接触する機会が少ない職場で働く者が異性の友人を見つける上で不利なようである。なお、同じ理由によると思われるが、勤務先（ないし家業）が従業員数29人以下の場合と官公庁（公社・公団を含む）の場合、異性の友人をもたない者の割合が高い。

他方、現住地の性格別には、男女とも農村的地域（非人口集中地区）で異性の友人をもたない者の割合が高く、大都市地域（人口集中地区200万人以上）でその割合が低い。また、親との同別居による違いもみられ、男女とも親と同居している場合の方が異性の友人をもたない者の割合が高い。さらに、地方ブロック別に異性の友人をもたない者の割合を比べてみると、男子の場合には全体としてあまり大きな格差がみられないが、女子の場合には関東で低く、中国・四国で高い。

総理府広報室による昭和47年の『婦人に関する意識調査』によれば、男女とも「結婚してもよい友人がいる」と答えた未婚者の割合は20歳代後半でピークに達しており、本調査の結果とやや異なるが、男子におけるその格差については同様な傾向がみられる。

以上で述べたような属性別にみた異性の友人の有無の格差は、前章で述べた独身者の恋愛結婚志向の格差や『第8次・夫婦調査』の結果から明らかになった恋愛結婚割合の格差とかなりの面で対応してい

表3-2 属性別にみた「異性の友達はいない」と答えた者の割合

a) 学歴

(%)

学 歴	男 子			女 子		
	計	18～24歳	25～34歳	計	18～24歳	25～34歳
中 卒	50.9	41.4	56.2	50.0	40.4	59.3
高 卒(共学)	34.8	31.9	40.7	27.5	26.4	31.7
高 卒(別学)	43.9	37.9	52.2	33.2	30.4	41.0
専修学校卒 (高卒後)	33.0	29.9	39.1	32.6	31.2	36.4
短大・高専卒	29.0	32.4	23.1	28.2	27.0	32.3
大 卒	32.2	27.0	39.9	24.3	22.9	28.2

b) 職業

(%)

職 業	男 子			女 子		
	計	18～24歳	25～34歳	計	18～24歳	25～34歳
自営・家族従業者	42.0	36.9	44.9	29.3	15.6	46.2
ホワイトカラー	33.7	26.0	40.3	25.3	24.6	27.3
ブルーカラー	43.8	38.5	51.1	43.3	38.0	57.1
臨時雇い	36.9	26.8	54.2	24.4	15.6	36.4
無 職	51.7	44.4	63.6	48.0	37.1	62.5
学 生	33.1	32.7	54.5	34.1	34.3	—

c) 現住地の性格

(%)

現住地の性格	男 子			女 子		
	計	18～24歳	25～34歳	計	18～24歳	25～34歳
非人口集中地区 (Non-DID)	40.9	38.1	45.0	33.5	30.9	43.5
人口集中地区 (DID)200万人未満	35.6	29.4	45.7	30.0	27.7	36.8
人口集中地区 (DID)200万人以上	31.6	24.8	39.8	22.8	21.1	25.8

(注) 人口集中地区(DID: Densely Inhabited District)は、都市的地域を区別するために昭和35年以降の国勢調査において設定されている。『第8次出生力調査』における人口集中地区の区分は『昭和55年国勢調査』における区分に基づくが、その人口集中地区の設定に当っては、

(1)昭和55年国勢調査区を基礎単位地域として用い、

(2)市区町村の境域内で人口密度の高い調査区(原則として人口密度が1平方キロメートル当たり約4,000人以上)が隣接して、

(3)昭和55年国勢調査時に人口5,000人以上を有する場合、

この地域が「人口集中地区」とされている。

## d) 親との同別居

(%)

親との同別居	男 子			女 子		
	計	18～24歳	25～34歳	計	18～24歳	25～34歳
同 居	40.0	34.6	48.0	31.4	29.2	39.0
別 居	30.3	26.5	36.3	23.9	21.4	28.9

## e) 地方ブロック

(%)

地方ブロック	男 子			女 子		
	計	18～24歳	25～34歳	計	18～24歳	25～34歳
北 海 道	39.0	39.3	38.5	33.3	23.5	54.2
東 北	38.1	33.1	45.3	26.1	21.9	38.3
関 東	34.8	29.8	41.1	24.9	23.3	28.9
中 部	37.2	33.9	41.6	29.9	27.5	41.0
近 畿	37.2	31.0	49.4	32.5	30.7	38.1
中国・四国	36.9	32.7	42.9	41.1	41.5	39.6
九 州	39.8	31.4	54.1	33.1	30.2	39.3

る。例えば、中卒者、自営・家族従業者、農村居住者、中国・四国では恋愛結婚志向が弱く、恋愛結婚の割合が低い。

未婚者における恋愛結婚志向と異性の友人の有無、夫婦における恋愛結婚割合は相互に密接に関係しているのであろうが、これらはいずれも異性と接触する機会の多寡によって規定されているように思われる。

## 第4章 交際のきっかけ

### 1. 異性の友人と知りあったきっかけ

独身者が異性の友人と知りあったきっかけについて検討する前に、表4-1によって実際に結婚した夫婦が知りあったきっかけの分布をみてみよう。見合結婚は次第に減っているとは言え、いまだに4分の1以上で最も大きな比重を占めている。しかし、最近では「職場」と「友人の紹介」で知りあった夫婦が2割を越え、「見合」結婚の夫婦に匹敵する割合を占めるようになっており、これらが夫妻が知りあう三大機会となっている。「学校」、「地域のサークル」、「偶然の出会い」で知りあった夫婦は漸増傾向にあるものの、いずれも1割に満たない。

これに対して、異性の友人をもつ独身者に対して知りあったきっかけを多項目選択方式によって尋ねた結果をみると分布がかなり異なる(表4-2)。「学校」と「職場」が2割を越えて二大機会となっており、「友人の紹介」、「地域のサークル」、「偶然の出会い」がそれに次ぐ。

年齢別にみると、20歳未満では「学校」で異性の友人と知りあった者が特に多く、男子で57%、女子で43%を占めている。20歳代前半になると、男子では「学校」が36%でいまだに単独首位で、「友人の紹介」と「職場」がそれに続くが、女子では就職した者が多いためか、「職場」と「学校」が3割強で首位に並んでいる。これが20歳代後半以降になると「職場」の割合が特に高くなり、男子で3分の1強、女子で2分の1弱を占めるようになり、「学校」の割合は急速に低下する。

『第8次・夫婦調査』の結果と比べてみると、「見合」で異性の友人と知りあった未婚者の割合が見合結婚をした夫婦の割合よりかなり低い。これは「見合」で知りあった相手と結婚する場合、交際期間が比較的短いためであろう。また、「学校」で異性の友人と知りあった未婚者の割合は「学校」で知りあって結婚した夫婦の割合よりもかなり高いが、このことは「学校」で知りあった異性の友人の多くが必ずしも結婚相手にはならないことをうかがわせる。さらに、「職場」や「友人の紹介」で知りあった男女の場合は「学校」で知りあった男女よりも結婚する確率が高いのではないと思われる。

『独身者調査』と『第8次・夫婦調査』の結果を合わせて考えてみると、若いうちは「学校」で異性の友人と知りあう者が多いが結婚にはあまり結び付かず、年を取るにつれて「職場」や「友人の紹介」で知りあった異性の友人の中から結婚相手を選んで恋愛結婚をする者が増えていき、同時に恋愛結婚をするには至らなかった人々の間で見合結婚に頼る者が増えていくのではないかと推量される。

表4-1 『第8次・夫婦調査』による夫妻が知りあったきっかけ別夫婦割合の推移  
(%)

結 婚 年	夫 妻 が 知 り あ っ た き っ け										
	計	学 校	職 場	隣人関係	地域のサークル	友人の紹介	見 合	結婚相談所	偶 然 の 出 会 い	ア ル バ イ ト	不 詳
昭和 35～39年	100.0	1.6	20.3	7.7	3.9	11.7	46.4	0.1	4.7	0.1	3.4
40～44年	100.0	2.8	25.6	5.2	3.1	12.9	42.4	0.1	4.8	—	3.1
45～49年	100.0	4.6	29.0	5.2	3.8	14.7	32.5	0.2	6.8	0.1	3.3
50～54年	100.0	4.9	26.6	2.9	5.7	19.7	30.2	0.1	7.1	0.2	2.6
55年～	100.0	7.7	23.5	2.9	5.9	22.4	26.3	0.2	8.6	0.5	2.3

(資料出所) 『第8次・夫婦調査』

表4-2 異性の友人と知りあったきっかけ

(%)

年齢	交際のきっかけ										
	計	学校	職場	隣人関係	地域のサークル	友人の紹介	見合	結婚相談所	偶然の出会い	アルバイト	不詳
男子											
18～19歳	100.0	57.2	6.2	7.2	10.0	16.2	0.3	-	11.4	0.7	1.4
20～24歳	100.0	35.8	18.6	5.7	12.1	19.4	0.8	0.3	13.2	1.1	3.1
25～29歳	100.0	13.6	34.8	4.9	16.8	17.3	4.2	-	13.1	-	4.2
30～34歳	100.0	3.8	34.2	6.3	14.6	18.4	7.0	-	17.1	-	4.4
計	100.0	30.9	22.0	5.9	13.2	18.2	2.2	0.1	13.2	0.6	3.2
女子											
18～19歳	100.0	43.1	19.1	5.2	11.1	19.4	0.3	-	11.5	0.7	5.2
20～24歳	100.0	30.9	31.6	5.7	13.7	16.6	2.0	-	9.7	1.6	2.4
25～29歳	100.0	13.7	48.1	6.0	11.2	16.7	6.4	-	5.2	-	2.6
30～34歳	100.0	4.2	46.5	7.0	12.7	8.5	8.5	-	9.9	-	4.2
計	100.0	29.1	32.5	5.7	12.7	16.8	2.7	-	9.3	1.1	3.1

(注) 異性の友人は1人とは限らず、回答は多項目選択方式であるため、総計は必ずしも100%にならない。



## 2. 属性別にみた「知りあったきっかけ」

異性の友人と知りあったきっかけの中では「学校」と「職場」が二大機会であり、各々について学歴と職業による違いが大きい。

表4-3によつて、学歴別に「学校」で異性の友人と知りあった者の割合を比べると20歳代前半までは在学中の者が男子で3分の1、女子で5分の1程度含まれているため、男女とも学歴が高卒より高い者でその割合が高い。しかし、高卒者の中でも男女共学高校出身者の場合には「学校」の割合がそれほど低くない。また、大卒女子（在学中の者を含む）ではその割合が飛び抜けて高い。

学生がほとんどいなくなる20歳代後半以降でもこのような傾向はある程度持ち越され、「学校」で異性の友人と知りあった者の割合は男女とも中卒者、男女別学高校卒業生で特に低く、大卒者で特に高い。

次に、職業別に「職場」で異性の友人と知りあった者の割合を示した表4-4をみると、当然のことながら男女とも無職では低く、自営・家族従業者でも低い。また、男子の場合、この割合はホワイトカラーよりもブルーカラーの方が低いが、女子ではやや逆の傾向がみられる。

表4-3 学歴別にみた、異性の友人と「学校」で知りあった者の割合 (％)

学 歴	男 子			女 子		
	計	18～24歳	25～34歳	計	18～24歳	25～34歳
中 卒	6.1	12.0	1.6	10.2	15.6	—
高 卒（共学）	28.5	38.0	5.3	28.2	31.7	11.3
高 卒（別学）	13.4	20.0	1.3	9.3	11.5	1.8
専修学校卒 （高卒後）	37.6	49.4	11.1	30.6	38.2	8.1
短大・高専卒	34.8	50.0	11.5	29.3	35.1	6.3
大 卒	42.9	55.5	20.5	62.6	72.9	34.0

表4-4 職業別にみた、異性の友人と「職場」で知りあった者の割合 (％)

職 業	男 子			女 子		
	計	18～24歳	25～34歳	計	18～24歳	25～34歳
自営・家族従業者	11.6	6.3	15.1	15.4	19.2	7.7
ホワイトカラー	32.8	26.8	39.4	39.4	35.3	52.3
ブルーカラー	22.7	16.9	32.7	42.6	41.1	50.0
臨時雇い	32.4	24.1	62.5	50.9	48.6	55.0
無 職	10.5	7.7	16.7	20.7	21.2	19.3
学 生	2.9	3.0	—	3.7	2.8	100.0

未婚者における異性の友人と知りあったきっかけの属性別の差異は、『第8次・夫婦調査』の結果においてみられた夫妻が知りあったきっかけの属性別の差異に対応している。すなわち、夫妻のいずれかが中卒者の場合、「学校」で知りあった夫婦の割合が特に低く、大卒者の場合には逆に高くなる。妻が大卒者の場合には特に高く、2割にも達する。さらに、夫がホワイトカラーの場合、職場結婚が多く、ブルーカラーや自営業の場合には少ない。

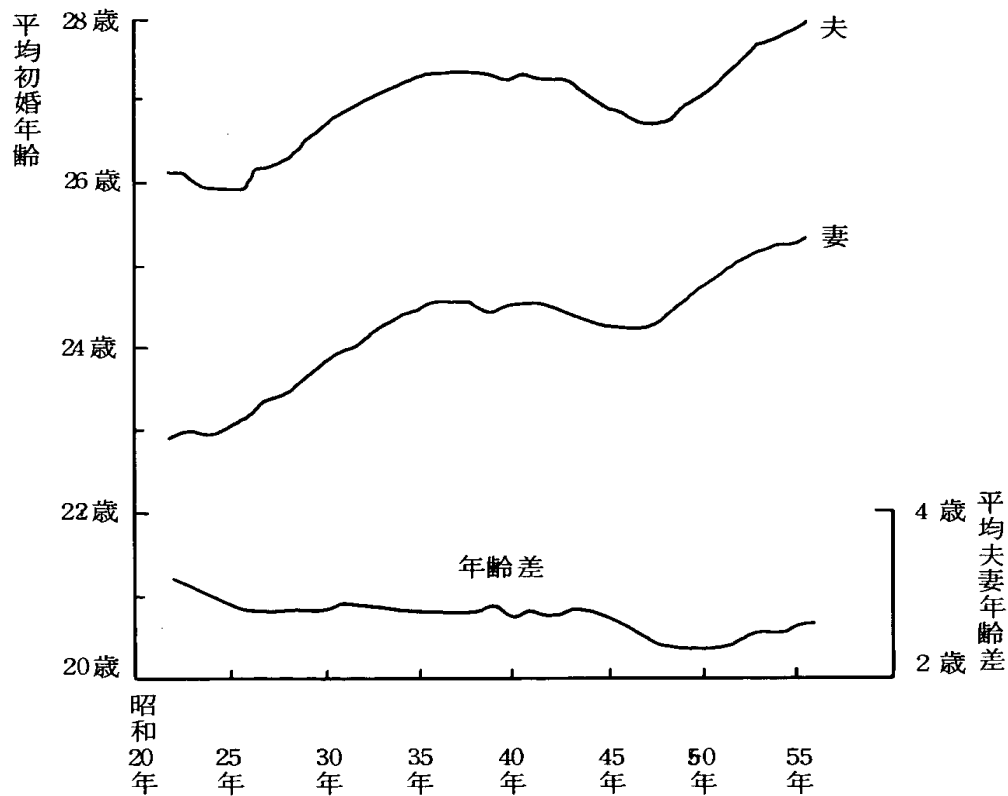
## 第5章 希望結婚年齢と希望夫妻年齢差

### 1. 希望する結婚年齢

図5-1は『人口動態統計』による平均初婚年齢の推移を示したものである。昭和40年代半ばから後半にかけて人口規模が大きなベビーブーム・コーホートが結婚したため、一時的に平均初婚年齢が低下したが、趨勢としては戦後しだいに上昇している。今後も平均初婚年齢が上昇し続けるかどうかを占うため、独身者に対して「何歳ぐらいまでに何歳ぐらいの相手と結婚したいか」（希望結婚年齢と希望相手年齢）を尋ねた。

表5-1は年齢別に希望結婚年齢を示したものである。全体をみて言えるのは、希望結婚年齢の分布が実際の結婚年齢の分布のようになだらかな形をしていないことである。男子では希望が25歳、28歳、30歳に集まり、女子では23歳、25歳、30歳に集まる傾向がある。このような設問の回答としては5の倍

図5-1 『人口動態統計』による平均初婚年齢と平均夫妻年齢差の推移



(資料出所) 『人口動態統計』

表5-1 希望結婚年齡

(%)

(歲)

年齡	希望結婚年齡													平均希望 結婚年齡			
	計	20歲以下	21歲	22歲	23歲	24歲	25歲	26歲	27歲	28歲	29歲	30歲	31歲以上		不詳		
男子																	
18~19歲	100.0	1.1	0.8	2.3	7.6	5.5	26.8	12.0	11.0	11.2	1.5	14.8	0.6	4.9	26.24		
20~22歲	100.0	-	0.3	1.3	3.9	4.8	22.6	13.3	14.1	16.2	0.4	15.2	1.7	6.1	26.77		
23~25歲	100.0	-	-	-	0.5	1.5	10.3	13.5	17.9	24.4	2.5	23.2	1.2	4.9	27.71		
小計	100.0	0.3	0.3	1.1	3.8	3.9	19.6	13.0	14.5	17.6	1.4	17.8	1.3	5.4	26.94		
26~28歲	100.0	-	-	-	-	-	-	1.1	6.4	23.2	7.5	48.6	6.1	7.0	29.36		
29~31歲	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.5	17.4	67.2	13.9	32.19		
32~34歲	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	89.8	10.2	34.97		
小計	100.0	-	-	-	-	-	-	0.6	3.2	11.8	4.3	29.9	40.5	9.7	31.24		
計	100.0	0.2	0.2	0.8	2.5	2.6	13.1	8.9	10.8	15.7	2.4	21.8	14.2	6.8	28.32		
女子																	
18~19歲	100.0	3.6	7.2	11.0	34.6	12.1	19.3	3.1	2.7	1.6	0.2	1.3	-	3.1	23.54		
20~22歲	100.0	0.6	1.0	7.4	24.2	18.7	28.8	5.6	3.9	2.9	0.4	3.2	0.1	3.2	24.43		
小計	100.0	1.7	3.3	8.8	28.2	16.2	25.2	4.7	3.4	2.4	0.3	2.5	0.1	3.2	24.09		
23~25歲	100.0	-	-	-	3.1	10.2	34.7	17.7	12.1	7.7	1.1	8.2	0.4	4.9	26.03		
26~28歲	100.0	-	-	-	-	-	-	3.5	11.9	20.3	6.4	41.1	4.0	12.9	29.03		
29~31歲	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.1	27.5	53.8	17.6	31.93		
32~34歲	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	71.8	28.2	34.65		
小計	100.0	-	-	-	1.7	5.6	19.2	10.6	9.7	9.3	2.3	17.7	13.5	10.3	27.96		
計	100.0	1.0	2.0	5.2	17.3	11.9	22.7	7.1	6.0	5.2	1.2	8.8	5.6	6.1	25.61		

数とその間の数が好まれるということもあるが、やはり男子では25～28歳、女子では23～25歳が結婚適齢期の目安となっているためであろう。また、20歳代の独身者は30歳を結婚適齢期の上限と考えているということがうかがわれる。

年齢別にみると、男子の場合、22歳以下では希望結婚年齢のモード（最頻値）が25歳であるが、23～25歳では28歳に移り、26～28歳では30歳に移る。女子の場合、18～19歳では希望結婚年齢のモードが23歳であるが、20～25歳では25歳に移り、26～28歳では30歳に移る。

結婚最盛期の直前にある男女、つまり25歳以下の男子（男子対象者の67%）と22歳以下の女子（女子対象者の59%）について平均希望結婚年齢を計算してみると、男子で約27歳、女子で約24歳となっており、いずれも最近における男女の平均初婚年齢を下回っている。以上の調査結果は、若い未婚者の間でことさら晩婚志向が強まっていはいないことを示している。

## 2. 属性別にみた希望結婚年齢

25歳以下の男子と22歳以下の女子について平均希望結婚年齢を属性別に計算してみると学歴、職業、

表5-2 属性別にみた平均希望結婚年齢

a) 学 歴 (歳)			b) 職 業 (歳)		
学 歴	男 子	女 子	職 業	男 子	女 子
中 卒	26.57	24.10	自営・家族従業者	26.94	23.58
高 卒(共学)	26.51	23.73	ホワイトカラー	26.86	23.93
高 卒(別学)	26.52	23.45	ブルーカラー	26.26	23.93
専修学校卒 (高卒後)	26.90	24.50	臨時雇い	27.91	24.33
短大・高専卒	27.06	24.37	無 職	27.48	23.74
大 卒	27.61	25.33	学 生	27.33	24.59

c) 現住地の性格 (歳)			d) 地方ブロック (歳)		
現住地の性格	男 子	女 子	地方ブロック	男 子	女 子
非人口集中地区 (Non-DID)	26.51	23.79	北 海 道	26.43	24.59
人口集中地区 (DID) 200万人未満	27.13	24.19	東 北	26.38	24.07
人口集中地区 (DID) 200万人以上	27.40	24.56	関 東	27.33	24.33
			中 部	26.72	23.88
			近 畿	27.00	24.20
			中国・四国	26.73	23.73
			九 州	26.92	23.86

(注) いずれも男子は18～25歳、女子は18～22歳の対象者について集計した結果である。

現住地の性格，地方ブロックによる格差が比較的大きかったので，これらに関する表を表5-2として示した。

学歴別にみると，男女とも中卒者は別として学歴が高くなるほど希望結婚年齢が高くなる傾向がある。男子では中卒者の平均希望結婚年齢が高卒者のそれとほぼ等しいが，女子では前者が後者を上回っている。

職業別には，男子の平均希望結婚年齢がブルーカラーよりホワイトカラーでやや高い。また，現住地の性格別にみると，男女とも農村的地域（非人口集中地区）より都市的地域（人口集中地区）の方が平均希望結婚年齢が高い。さらに，地方ブロック別には，男子の平均希望結婚年齢が北海道と東北で低く，関東で高い。女子のそれは北海道と関東でやや高い。

総理府広報室による昭和47年の『婦人に関する意識調査』でも，「女性にとって結婚適齢期が大事だ」と答えた未婚女性のうちで，結婚適齢期として高目の年齢を挙げる者が大卒者と大都市居住者に多かった。

『第8次・夫婦調査』の結果においても，学歴が高くなるほど夫妻の平均初婚年齢が上がる傾向と中卒の妻の平均初婚年齢の最近における上昇がみられた。また，ブルーカラーの夫よりもホワイトカラーの夫の方が平均初婚年齢が高く，都市的地域や関東地方で夫妻の平均初婚年齢が高いことが見出された。本調査の結果はこのような格差が今後もある程度維持される可能性があることを示唆している。

### 3. 結婚相手との希望年齢差

図5-1に示されたとおり，戦後夫妻の平均初婚年齢が大幅に変動したにもかかわらず，平均夫妻年齢差は3歳弱で比較的安定しており，昭和40年代半ばから後半にかけて一時的に縮小したが，その後元の水準に戻りつつある。

表5-3は年齢別に希望夫妻年齢差を示したものである。これは希望結婚年齢から希望相手年齢を差し引いた結果である（ただし，女子の場合は符号を逆にしている）。25歳以下の男子は平均3.3歳年下の妻，22歳以下の女子は平均3.1歳年上の夫を希望している。希望夫妻年齢差としては3歳がモードとなっており，2歳と5歳も比較的多いが，これは28歳の夫と25歳の妻，25歳の夫と23歳の妻，30歳の夫と25歳の妻といった組合せの希望が比較的多いためであろう。なお，妻が年上（いわゆる姉さん女房）の組合せを望むものは非常に少ない。

男子の場合，本人の現在年齢が高くなっても結婚相手としては25歳前後の女性を望むため，年齢が高くなるにつれて平均希望夫妻年齢差が拡大する。これに対して，女子の場合は本人の現在年齢が高くなるとともにあまり年齢が離れていない結婚相手を望むようになるため，平均希望夫妻年齢差は年齢とと

表5-3 希望夫妻年齢差

(%) (歳)

年 齢	計	希 望 夫 妻 年 齡 差										平均希望 夫妻年齢差					
		妻が2歳 以上年上	妻が 1歳年上	夫と妻が 同年齢	夫が 1歳年上	夫が 2歳年上	夫が 3歳年上	夫が 4歳年上	夫が 5歳年上	夫が6歳 以上年上	不 詳						
男子																	
18~19歳	100.0	1.1	0.6	12.2	8.2	21.7	17.3	10.5	14.8	7.2	6.3	2.85					
20~22歳	100.0	0.7	1.0	9.0	5.7	16.4	20.4	11.6	16.1	10.9	8.3	3.34					
23~25歳	100.0	0.3	1.4	6.3	4.4	12.0	18.1	14.4	24.0	11.7	7.4	3.70					
小 計	100.0	0.7	1.0	8.9	5.9	16.4	18.8	12.3	18.4	10.1	7.5	3.33					
26~28歳	100.0	1.1	-	2.7	0.5	4.5	10.7	14.3	33.0	24.8	8.4	4.75					
29~31歳	100.0	0.4	-	0.8	-	1.9	3.9	5.4	22.0	50.6	15.1	6.28					
32~34歳	100.0	-	-	-	0.6	-	1.8	2.4	16.3	68.1	10.8	7.30					
小 計	100.0	0.7	-	1.6	0.3	2.9	6.9	9.4	26.5	40.8	10.9	5.68					
計	100.0	0.7	0.7	6.5	4.1	11.9	14.9	11.3	21.1	20.3	8.6	4.08					
女子																	
18~19歳	100.0	0.9	-	4.5	6.5	22.0	26.5	13.9	13.5	6.7	5.4	3.19					
20~22歳	100.0	1.0	0.4	7.3	5.1	19.4	25.9	12.7	16.3	6.5	5.5	3.12					
小 計	100.0	0.9	0.3	6.2	5.6	20.4	26.1	13.2	15.2	6.6	5.5	3.14					
23~25歳	100.0	1.1	0.7	7.5	5.7	20.1	24.3	13.0	15.9	5.5	6.2	3.10					
26~28歳	100.0	4.0	0.5	15.3	4.5	18.8	16.8	9.4	9.4	6.4	14.9	2.44					
29~31歳	100.0	5.5	-	19.8	4.4	12.1	17.6	6.6	11.0	3.3	19.8	2.11					
32~34歳	100.0	2.8	-	15.5	8.5	16.9	11.3	4.2	11.3	-	29.6	1.98					
小 計	100.0	2.4	0.5	11.5	5.5	18.6	20.6	10.6	13.3	5.0	11.9	2.76					
計	100.0	1.6	0.4	8.4	5.6	19.7	23.8	12.1	14.4	5.9	8.1	2.99					

もに縮小する。男女それぞれにおいてみられる現在年齢と平均希望 夫妻年齢差の関係は、『人口動態統計』によって示される夫妻それぞれの初婚年齢と平均夫妻年齢差の関係に対応している。



## 第6章 結婚後の親子同居と婿養子縁組への態度

### 1. 自分の親との同居志向

結婚後に親との同居を望むか否か、また婿養子縁組を望むか否かは配偶者選択に当たってしばしば問題となる。最近では戦後の出生力低下の結果として、若年層に占める「あとつぎ」（長男および男きょうだいのない女子）の割合が高まりつつある。そこで、『独身者調査』では結婚後における自分の親との同居と結婚相手の親との同居に対する態度、および婿養子縁組に対する態度を尋ねた。

表6-1は『第7次出産力調査』と今回の『第8次・夫婦調査』の結果に基づいて、結婚直後における同居割合を示したものである。結婚直後に夫妻のいずれかの親と同居した者の割合は昭和20年代前半の約6割から低下を続け、40年代後半には3割強で底を打ち、その後やや上昇気味である。昭和30年代後半以降についてその内訳をみると、妻方同居の割合は5%程度で安定しているが、夫方同居の割合は昭和40年代後半に底を打ち、その後ゆるやかな上昇傾向を示している。

表6-2によって独身者における自分の親との同居志向をみると、男子の約7割がいずれは自分の親と同居することを希望している。しかし、結婚直後からの同居を望む者は全体の24%に過ぎない。この割合は年齢が下がるにつれて低くなる傾向があるが、これは親の平均年齢が下がることにより同居の必要性が

表6-1 『第7次出産力調査』と『第8次・夫婦調査』による、  
結婚年別結婚直後親と同居割合

(%)

結婚年	総数	同居した			同居しなかった	不詳
		総数	夫の親	妻の親		
昭和20～24年	100.0	59.2	—	—	40.8	—
25～29年	100.0	56.5	—	—	43.5	—
30～34年	100.0	42.9	—	—	57.1	—
35～39年	100.0	41.0	36.4	4.7	56.0	3.0
40～44年	100.0	36.5	31.3	5.2	60.7	2.7
45～49年	100.0	31.4	26.5	4.9	66.4	2.2
50～54年	100.0	32.1	27.6	4.6	66.0	1.8
55年～	100.0	32.5	29.0	3.5	66.2	1.4

(資料出所) 昭和20～24年から昭和30～34年までの数値は、『第7次出産力調査(昭和52年)』による。昭和35～39年以降は『第8次・夫婦調査』による。第7次調査と第8次調査では質問方法が異なるため厳密な比較は難しいが、参考のために掲げた。

表6-2 自分の親との同居志向

(%)

年 齢	計	同 居 し た い				同居したくない	その他	不 詳
		小 計	結婚直後	しばらくして	親の老後			
男子								
18～19歳	100.0	69.8	19.8	26.2	23.8	20.5	5.3	4.4
20～24歳	100.0	70.8	21.1	23.6	26.1	18.2	7.6	3.4
25～29歳	100.0	71.7	27.6	21.3	22.7	15.9	9.6	2.9
30～34歳	100.0	69.3	31.0	19.0	19.3	18.7	7.9	4.1
計	100.0	70.6	23.9	22.9	23.9	18.1	7.7	3.5
女子								
18～19歳	100.0	58.0	9.0	15.5	33.5	27.4	10.8	3.8
20～24歳	100.0	57.8	8.5	17.9	31.4	25.6	12.2	4.4
25～29歳	100.0	58.3	11.0	15.7	31.6	22.0	14.5	5.2
30～34歳	100.0	53.3	9.2	15.0	29.2	21.7	20.0	5.0
計	100.0	57.6	9.1	16.8	31.7	25.2	12.8	4.4

注 「同居したくない」と「その他」には、他の兄弟姉妹との関係で親との同居が不可能、あるいは不必要な者が含まれる。

低くなるためかもしれないので、このことだけをみて将来結婚直後からの同居が減るかどうかを推測することは難しい。

女子でも6割弱の者がいずれは自分の親と同居することを望み、全体の9%が結婚直後からの同居を望んでいるが、男子の場合よりも実現可能性が低い願望と考えた方が良いのかもしれない。

## 2. 属性別にみた自分の親との同居志向

結婚後に自分の親と同居するか否かは、なんと言っても親との続柄によって左右される度合いが大きい。まず、表6-3によって『第8次・夫婦調査』の結果をみると、かつては長男夫婦の約6割、最近でも約4割が結婚直後に夫の親と同居しているが、夫が次三男の場合にはその割合が2割にも満たない。また、表6-4によって妻の親と結婚直後に同居していた夫婦の割合を妻の続柄別にみると、妻が一人っ子的場合、かつては45%にも上ったが、最近ではそ

表6-3

『第8次・夫婦調査』による、結婚年別夫の続柄別結婚直後夫の親との同居割合

(%)

結 婚 年	長 男	長男以外
昭和35～39年	58.3	16.8
40～44年	51.5	15.5
45～49年	44.1	12.1
50～54年	41.5	12.1
55年～	40.8	15.2

(資料出所) 『第8次・夫婦調査』

表6-4 『第8次・夫婦調査』による、結婚年別妻の続柄別結婚直後妻の親との同居割合 (%)

結 婚 年	男きょうだいなし				男きょうだいあり
	小 計	一人っ子	他の長女	長女以外	
昭和35～39年	19.0	44.8	30.4	4.3	2.5
40～44年	19.8	33.3	27.5	10.0	2.1
45～49年	15.5	23.1	23.8	7.7	2.1
50～54年	12.1	29.7	11.9	5.4	2.1
55年～	7.9	16.0	10.1	4.1	1.5

(資料出所) 『第8次・夫婦調査』

表6-5 続柄別にみた自分の親との同居志向 (%)

続 柄	計	同 居 し た い				同居したくない	その他	不 詳
		小 計	結婚直後	しばらくして	親の老後			
男子								
長 男	100.0	83.6	30.4	27.3	25.8	9.6	3.9	3.0
長男以外	100.0	46.5	11.7	14.6	20.2	33.9	15.0	4.6
計	100.0	70.6	23.9	22.9	23.9	18.1	7.7	3.5
女子								
男きょうだいなし								
小 計	100.0	72.3	11.3	20.7	40.3	16.0	8.9	2.9
一人っ子	100.0	78.9	17.6	19.0	42.3	12.7	4.2	4.2
他の長女	100.0	76.5	9.7	26.3	40.5	13.8	7.3	2.4
長女以外	100.0	65.8	9.9	16.5	39.3	19.2	12.3	2.7
男きょうだいあり	100.0	48.5	7.8	14.4	26.4	30.9	15.2	5.4
計	100.0	57.6	9.1	16.8	31.7	25.2	12.8	4.4

(注) 「同居したくない」と「その他」には、他の兄弟姉妹との関係で親との同居が不可能、あるいは不必要な者が含まれる。

の3分の1の16%に過ぎなくなっている。妻が男きょうだいのない長女の場合もかつては30%ほどあったのが、最近では10%程度になっている。

このような夫婦の実態に比べて、表6-5に示された独身者の意識は男子でやや低目に出ており、女子ではやや高目に出ているが、いずれにしても続柄による差異は顕著にみられる。男子では長男の8割強が自分の親との同居を肯定し、3割が結婚直後からの同居を希望しているが、次三男ではそれぞれ5割弱と1割強に過ぎない。女子でも男きょうだいのない場合にはある場合よりもはるかに自分の親との同居志向が強いが、結婚直後からの同居を望む者は一人っ子以外ではそれほど多くない。むしろ、親の

表 6-6 属性別にみた「結婚直後から自分の親と同居したい」と答えた者の割合

a) 学歴

(%)

学 歴	男 子	女 子
中 卒	30.1	12.0
高 卒 (共学)	24.7	9.0
高 卒 (別学)	30.6	11.5
専修学校卒 (高卒後)	21.4	9.3
短大・高专卒	55.6	7.4
大 卒	17.1	6.9

b) 職業

(%)

職 業	男 子	女 子
自営・家族従業者	37.5	11.1
ホワイトカラー	23.5	8.7
ブルーカラー	31.1	7.8
臨時雇い	22.2	6.9
無 職	18.2	12.4
学 生	13.5	9.1

c) 現住地の性格

(%)

現住地の性格	男 子	女 子
非人口集中地区 (Non-DID)	35.8	12.7
人口集中地区 (DID) 200万人未満	17.2	7.1
人口集中地区 (DID) 200万人以上	16.7	6.6

e) 地方ブロック

(%)

地方ブロック	男 子	女 子
北 海 道	12.5	5.6
東 北	40.2	12.6
関 東	20.8	6.6
中 部	31.0	12.2
近 畿	17.4	7.6
中国・四国	25.3	16.3
九 州	20.9	6.0

d) (現在の)親との同別居

(%)

親との同別居	男 子	女 子
同 居	31.0	9.7
別 居	7.4	6.2

老後に同居を望む者が多い。

男子における自分の親との同居志向を続柄以外の属性によって比べてみると、同居それ自体を肯定する者の割合はあまり変わらないが、結婚直後からの同居を望む者の割合にはやや大きな差異がみられる。表 6-6 として比較的大きな格差をもたらす学歴、職業、現住地の性格、(現在の)親との同別居、地方ブロックに関する表を示した。

学歴別にみると、中卒者と男女別学高校卒業者で結婚直後からの同居志向が強く、大卒者で弱い。職業別には、ブルーカラーはホワイトカラーよりも同居志向が強く、自営・家族従業者はさらに強い。現住地の性格別にみると、農村的地域で結婚直後からの同居志向が強く、都市的地域で弱い。また、現在親と同居している者は別居している者より同居志向が強い。地方ブロック別には、東北、中部、中国・四国で結婚直後からの同居志向が強く、北海道で弱い。

独身者においてみられる結婚直後からの親との同居志向の属性別差異は、『第 8 次・夫婦調査』の結

果によって示される結婚直後に親と同居していた夫婦の割合の差異と対応している。実際、夫婦においても続柄以外では夫の職業、婚前居住地の性格と地方ブロック、婚前の親との同別居による格差が大きい。

### 3. 結婚相手の親との同居志向

結婚後に自分の親と同居するか否かは本人の希望だけではなく、結婚相手の意向にも左右される。そこで、結婚後に相手の親と一緒に暮らすことの是非を尋ねた。その結果は表6-7として示されている。

まず女子の回答をみると、夫の親との同居を「いやだ」と拒否する者は16%に過ぎず、その倍に当たる33%の者が「かまわない」と容認している。また、続柄別にみると、男きょうだいのない者はある者に比べて夫の親との同居を容認する者が1割ほど少ない。特に一人っ子の場合は少なく、21%しかいない。

次に男子の回答をみると、妻の親との同居を容認する者の割合と拒否する者の割合がいずれも21%となっている。また、長男と次三男の間にほとんど差がない。

結婚相手の親との同居志向については、男子では年齢による差があまりみられない。女子では18～19歳と30～34歳で相手の親との同居を容認する者が若干少なく、拒否する者がやや多い。

続柄と年齢以外の属性による格差はあまり大きくないが、自営・家族従業者、農村居住者、東北で相手の親との同居を容認する者が多い。

表6-7 続柄別にみた結婚相手の親との同居志向

(%)

続柄		結婚相手の親との同居志向				
		計	かまわない	場合による	いやだ	不詳
男子						
	長男	100.0	20.4	54.3	20.9	4.3
	長男以外	100.0	21.9	53.6	20.8	3.7
	計	100.0	20.9	54.1	20.9	4.1
女子						
男きょうだいなし	小計	100.0	26.8	54.7	16.6	1.8
	一人っ子	100.0	21.1	57.7	16.2	4.9
	他の長女	100.0	30.4	54.3	13.5	1.7
	長女以外	100.0	26.1	53.8	19.5	0.6
	男きょうだいあり	100.0	36.4	46.2	15.8	1.6
	計	100.0	32.7	49.5	16.1	1.7

本調査の結果における自分の親との同居志向と結婚相手の親との同居志向を比べてみると、結婚直後から自分の親との同居を希望する男子（女子）の数と結婚後に相手の親と同居してもかまわないとする女子（男子）の数とがほぼ見合っている。ただし、相補的な志向をもつ男女がうまく出会えるかどうかはまた別の問題である。

#### 4. 婿養子縁組に対する態度

本調査の結果によれば、未婚女子の約7%が一人っ子で、約14%が男きょうだいのない長女である。未婚男子のうちで次三男が占める割合が35%なので、続柄別にみた男女の数の上からは彼女たち全員が婿養子を迎えることが可能である。しかし、潜在的な候補者の数だけではなく、未婚男女の婿養子縁組に対する態度も重要な要素となる。

表6-8は女子の婿養子縁組志向を続柄別に示したものである。婿養子縁組を望む者は女子全体の13%程度であるが、一人っ子では35%、男きょうだいのない長女で37%、男きょうだいのない次三女では22%にも達している。

表6-9は男子の婿養子縁組志向を続柄別に示したものであるが、男子全体の50%が婿養子縁組を拒否しており、それを容認する者は12%に過ぎない。また、次三男でさえ婿養子縁組を拒否する者が41%もあり、容認する者は17%程度である。全体としてみれば、婿養子縁組を望む女子の数とそれを容認す

表6-8 続柄別にみた女子の婿養子縁組志向 (%)

続柄		女子の婿養子縁組志向					
		計	自分も親も望む	親が望む	どちらでもよい	必要なし	不詳
男きょうだいなし	小計	100.0	8.1	22.3	36.0	31.0	2.6
	一人っ子	100.0	9.2	26.1	33.8	26.8	4.2
	他の長女	100.0	11.4	26.0	38.4	23.2	1.0
	長女以外	100.0	4.8	17.4	34.8	39.6	3.3
男きょうだいあり		100.0	0.6	1.4	8.7	84.5	4.9
計		100.0	3.5	9.4	19.2	63.9	4.0

表6-9 続柄別にみた男子の婿養子縁組志向 (%)

続柄		男子の婿養子縁組志向				
		計	かまわない	場合による	いやだ	不詳
長男		100.0	9.6	32.3	53.9	4.2
長男以外		100.0	16.7	39.5	41.4	2.4
計		100.0	12.1	34.8	49.5	3.6

る男子の数が見合っているが、そのような者同士が会うとは限らない。

婿養子縁組志向については、男女とも年齢による差がほとんどない。続柄と年齢以外の属性別に女子の婿養子縁組志向を比べてみると自営・家族従業者，農村居住者，東北，中部，中国・四国でそれが強く北海道で弱い。男子で婿養子縁組を容認する者の割合については，地方ブロックによる格差が目につき，東北で高く，北海道で低い。

## 第 7 章 希望子供数

### 1. 希望子供数の分布

将来結婚する意思のある独身者の出産意識について検討するため、本調査では「あなたは結婚したら何人くらい子供がほしいですか」という質問を行っている。一般にこのような質問によって得られた子供数を希望子供数 (the desired number of children) と呼ぶ。『第 8 次・夫婦調査』では、妻の出産意識に関する指標として予定子供数と理想子供数を用い、前者によって夫婦の経済的環境などを考慮した上での現実的な出生意欲を測定し、後者によって個人的事情を斟酌しない出生規範意識を測定した。そして、従来の研究によれば、上記の質問方法によって計測された希望子供数は若干願望的要素を含むために理想子供数ほどではないが予定子供数よりやや多めになることが知られている。

表 7-1 に男女別、年齢別の希望子供数分布を示す。それによれば、男子の平均希望子供数はどの年齢層においても 2.3 人強であり、全体の 60% が 2 子を希望し 30% が 3 子を希望している。また、無子お

表 7-1 希望子供数

(%) (人)

年 齢	希 望 子 供 数							平均希望 子供数
	計	いない	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人以上	
男子								
18～19 歳	100.0	1.9	2.7	61.8	28.3	1.5	1.6	2.32
20～24 歳	100.0	2.2	2.8	59.1	30.2	2.5	1.4	2.35
25～29 歳	100.0	2.6	3.0	53.6	35.8	2.1	1.1	2.39
30～34 歳	100.0	2.6	4.7	57.6	30.1	1.2	2.1	2.30
計	100.0	2.3	3.1	57.9	31.3	2.1	1.5	2.34
女子								
18～19 歳	100.0	2.2	2.2	57.8	33.3	3.4	0.2	2.35
20～24 歳	100.0	2.8	4.4	54.5	33.3	3.3	1.1	2.34
25～29 歳	100.0	6.1	7.5	53.0	27.5	3.8	0.9	2.18
30～34 歳	100.0	11.7	12.5	50.0	21.5	0.8	0.8	1.90
計	100.0	3.8	4.9	54.7	31.6	3.3	1.0	2.29

(注) 計には希望子供数不詳を含む。



よび一人っ子を希望する者はそれぞれ2%強、3~5%で4人以上を希望するものは3~4%である。この分布は『第8次・夫婦調査』において得られた20~34歳の生み盛りにある妻の予定子供数分布（第I報告書、P.63）に近い値を示している（ただし、後者では一人っ子を希望するものが5~7%と前者より若干多く、無子を希望するものは1%と前者より若干少なく、また5人以上を希望するものも0.3%と少なかった）。なお、2.3人強という平均希望子供数は『第8次・夫婦調査』の18~34歳層の妻の平均予定子供数2.25人より予想どおりやや大きめの値を示している。

一方、女子の平均希望子供数は24歳以下においては男子のそれと同じく2.3人強であるが、25~29歳層で2.18人、30~34歳層で1.90人と年齢の上昇とともに減少している。

## 2. 希望子供数の社会経済的格差

個々の社会経済的属性が希望子供数に与える影響を見てみると、女子の場合にはほとんど差はなかった。男子の場合においても差はあまり見られなかったが、現住地の性格別および職業別に見たときわずかに次のような傾向がみとめられた。すなわち、

1) 現住地の性格別（表7-2 a）については、農村的地域（「非人口集中地区」）の方が大都市地域（「人口集中地区200万人以上」）よりやや大きい希望子供数を示した。

2) 職業別（表7-2 b）については、「自営・家族従業者」が「勤め人」よりやや多くの子供を希望しているが前者の構成比は小さい。

表7-2 属性別にみた平均希望子供数

a) 現住地の性格 (人)			b) 職業 (人)		
現住地の性格	男子	女子	職業	男子	女子
非人口集中地区 (Non-DID)	2.42	2.29	自営・家族従業者	2.53	2.21
人口集中地区 (DID)200万人未満	2.31	2.30	ホワイトカラー	2.31	2.28
人口集中地区 (DID)200万人以上	2.26	2.23	ブルーカラー	2.33	2.38
			臨時雇い	2.30	2.36
			無職	2.37	2.10
			学生	2.34	2.37

## 第 8 章 子 供 の 性 別 選 好

『第 8 次・夫婦調査』に関する第 I 報告書ではその第 II 部第 4 章第 4 節において子供の性別選好 (sex preference) を検討した。それによれば、子供の性別組合せについて理想をもつ夫婦は子供を欲する夫婦全体の半分以下 (47.3%) であった。また、夫婦が子供の性別組合せについて理想をもつ場合でも理想子供数が偶数であれば男女児同数を理想とするものが圧倒的に多く (2 子のとき 82.4%, 4 子のとき 97.3%), 3 子が理想の場合のみ 6 対 4 の割合で 2 男 1 女が 1 男 2 女より好まれ若干の男児選好が認められた。そこで、本調査においても、結婚したら子供をもちたいと希望する独身男女に対して「子供の男女の組合せ」についての希望を尋ねた。

まず表 8-1 に子供の性別組合せについて希望をもつものの男女別、年齢別割合を示した。表から明らかのように『第 8 次・夫婦調査』の結果とは異なり男女とも 70% 前後が子供の性別組合せについて希望をもっている。

次に表 8-2 によって男女別、年齢別希望男女児組合せの内訳を希望子供数 2 人ないし 3 人の場合に

表 8-1 希望性別組合せの有無 (%)

年 齢	希 望 性 別 組 合 せ の 有 無			
	計	希望あり	希望なし	不 詳
男子				
18～19 歳	100.0	71.2	27.5	1.3
20～24 歳	100.0	76.0	23.5	0.5
25～29 歳	100.0	71.0	27.7	1.3
30～34 歳	100.0	62.1	35.5	2.4
計	100.0	72.0	26.9	1.1
女子				
18～19 歳	100.0	77.3	21.6	1.2
20～24 歳	100.0	76.5	23.6	0.5
25～29 歳	100.0	68.1	31.3	0.6
30～34 歳	100.0	62.1	36.9	1.0
計	100.0	74.5	24.9	0.7

ついて見てみよう。

希望子供数が2人の場合、男女とも男女児同数を希望するものが圧倒的に多く（90%前後）前記『第8次・夫婦調査』の結果と符合している。希望子供数が3人の場合には8対2、30歳未満の女子の場合には7対3または6対4の割合で2男1女を希望するものの割合が1男2女のそれを上回っていた。したがって、独身者においても希望子供数が3人の場合にはやや男児選好がみとめられ、独身女子の結果は『第8次・夫婦調査』の妻の結果（第I報告書、P.160）とほぼ同じであるが、独身男子においては独身女子または『第8次・夫婦調査』の妻よりもやや男児選好の割合が高かったことがわかる。

なお、男女とも社会経済的属性別による希望男女児組合せ割合にはあまり差が見られなかった。

表8-2 希望子供数別希望男女児組合せ

(%)

年 齢	希 望 子 供 数 2 人				希 望 子 供 数 3 人				
	計	男2,女0	男1,女1	男0,女2	計	男3,女0	男2,女1	男1,女2	男0,女3
男子									
18～19歳	100.0	10.0	89.0	1.0	100.0	3.2	76.8	20.0	—
20～24歳	100.0	9.3	89.7	1.0	100.0	1.9	81.4	16.3	0.4
25～29歳	100.0	6.3	92.2	1.5	100.0	2.2	79.6	16.6	1.7
30～34歳	100.0	2.3	96.9	0.8	100.0	3.3	82.0	14.8	—
計	100.0	7.9	91.0	1.1	100.0	2.4	80.2	16.8	0.7
女子									
18～19歳	100.0	1.0	93.9	5.1	100.0	0.9	61.2	37.9	—
20～24歳	100.0	1.3	94.6	4.1	100.0	1.1	69.5	29.4	—
25～29歳	100.0	0.8	94.4	4.8	100.0	—	63.6	34.8	1.5
30～34歳	100.0	5.0	87.5	7.5	100.0	—	83.3	16.7	—
計	100.0	1.3	94.0	4.6	100.0	0.9	67.0	32.0	0.2

(注) 表7-1 に示されたとおり、希望子供数1人以下ならびに4人以上の割合は小さいので省略。

## 第9章 一人っ子忌避理由

前述のとおり結婚を望む独身者の間では2人ないし3人の子供を希望するものが全体の9割をしめており、一人っ子を希望するものは独身男子および24歳以下の独身女子では5%未満である。このように一人っ子が敬遠される理由を明らかにするために、『第8次・夫婦調査』において妻に対して行った（第I報告書、第II部第5章）と同様に、希望子供数が2人以上の独身男女に対して一人っ子を忌避する理由を多項目選択方式によって質問した。その結果を表9-1に示した。

表によれば、男子では「子供の成人後助け合える兄弟姉妹がないとかわいそう」が50%をこえて第1位であり、それと拮抗して「兄弟姉妹がないと子供の成長に好ましくない」が同じく50%近くを示して第2位となっている。女子においても第1位と第2位はかわらずそれぞれ60%あまりおよび50%強の割合を示している。また男女とも「子供が少ないと家庭がさびしい」が一人っ子忌避理由の第3位で3割強をしめその他の理由を選択するものはごく少数である。

前記『第8次・夫婦調査』の妻の結果（第I報告書、P.80）と比較してみると一人っ子忌避理由の選択割合の順位はすべて一致しているが、『第8次・夫婦調査』では第1位の「子供の成人後助け合える兄弟姉妹が必要」が約70%、第2位の「兄弟姉妹がないと子供の成長に好ましくない」が約60%で独身女子の結果により近い値を示していた。また『第8次・夫婦調査』では「子供が1人だと死んでしまった場合困るので」が10%以上の選択率を示し独身者のそれを上回っていた。

総じて『第8次・夫婦調査』の場合にすでにみとめられたように、独身者においても一人っ子忌避理由としては子供本位の理由が選択される割合が高く、「子供1人では老後が心細いから」とか「子供が1人だと万一の場合困るので」といった親ないし家（イエ）本位の理由は少なかった。

表9-1 一人っ子忌避理由

(%)

年齢	一人っ子忌避理由										
	計	成長に好ましくない	家庭がさびしい	老後が心細い	万一のことがないから	助け合えないとか、わいそう	世間では言われているから	社会的義務だから	人口が減ってしまうから	その他	不詳
男子											
18～19歳	100.0	45.0	36.0	6.3	5.7	50.2	2.5	0.2	1.8	1.8	3.6
20～24歳	100.0	50.0	35.3	5.1	7.1	51.9	2.5	1.5	1.5	2.4	1.6
25～29歳	100.0	49.4	31.6	3.4	7.3	50.6	2.2	0.8	1.2	2.9	2.6
30～34歳	100.0	39.2	27.3	6.1	8.7	44.1	3.2	1.9	1.6	1.6	3.5
計	100.0	47.5	33.4	5.0	7.1	50.2	2.5	1.1	1.5	2.3	2.5
女子											
18～19歳	100.0	53.7	40.4	5.2	3.3	60.3	1.9	1.2	1.2	1.9	2.6
20～24歳	100.0	54.7	36.6	4.4	5.1	64.4	1.3	0.9	0.8	1.3	3.3
25～29歳	100.0	54.4	27.2	2.7	4.4	60.9	1.0	1.7	1.4	2.4	2.4
30～34歳	100.0	51.1	25.0	-	10.2	50.0	1.1	4.5	2.3	-	1.1
計	100.0	54.3	35.4	4.1	4.8	62.2	1.4	1.3	1.1	1.6	2.9

## 第10章 第1子出産希望時期

『第8次・夫婦調査』の結果によれば第1出生間隔は近年短縮化する傾向にある（第I報告書，第II部第2章およびP.141）。そこで，本調査においては独身者の第1子出産希望時期を検討するために，結婚したら子供を持ちたいと希望する独身男女に対して「あなたは最初の子供をいつごろほしいですか」と尋ねている。その結果を表10-1に男女別，年齢別に示す。

表によれば，男女とも全対象の平均をとれば第1子を「できるだけはやくほしい」ものと「しばらくたってからにしたい」ものはほぼ同数である。さらに年齢別に見てみると，男女とも20歳代前半までは第1子出産の延期を望むものが多い（「しばらくしてから」55%，「できるだけはやく」40～45%）が，25歳以降では早期の第1子出産を希望するものの割合が多く（60～80%）なっている。ただし，独身者の第1子出産希望時期に関する調査は今回がはじめてであり，したがってその時代的变化を知ることができない。

次に，第1子出産希望時期を社会経済的属性別に見てみよう（表10-2）。

表10-1 第1子出産希望時期 (％)

年 齢	第 1 子 出 産 希 望 時 期			
	計	できるだけはやく	しばらくしてから	不 詳
男子				
18～19歳	100.0	41.8	53.6	4.6
20～24歳	100.0	40.6	55.4	4.0
25～29歳	100.0	60.7	36.9	2.4
30～34歳	100.0	79.5	16.2	4.3
計	100.0	51.2	45.0	3.7
女子				
18～19歳	100.0	42.5	55.0	2.6
20～24歳	100.0	45.4	52.1	2.5
25～29歳	100.0	56.9	40.9	2.2
30～34歳	100.0	75.7	19.4	4.9
計	100.0	48.3	49.1	2.6

表10-2 属性別にみた第1子出産希望時期

a) 現住地の性格

(%)

現住地の性格	第1子出産希望時期			
	男 子		女 子	
	できるだけ早く	しばらくしてから	できるだけ早く	しばらくしてから
非人口集中地区 (Non-DID)	54.3	40.8	51.8	45.4
人口集中地区 (DID)200万人未満	49.0	47.8	47.3	50.8
人口集中地区 (DID)200万人以上	50.5	46.6	43.2	52.8

b) 父親の職業

(%)

父親の職業	第1子出産希望時期			
	男 子		女 子	
	できるだけ早く	しばらくしてから	できるだけ早く	しばらくしてから
農 林 漁 業	61.3	34.7	57.0	40.0
非農自営業	51.4	44.7	48.7	48.4
ブルーカラー	48.8	48.0	44.9	53.6
ホワイトカラー	45.8	51.2	46.9	51.0

c) 学 歴

(%)

学 歴	第1子出産希望時期			
	男 子		女 子	
	できるだけ早く	しばらくしてから	できるだけ早く	しばらくしてから
中 卒	61.4	31.7	49.4	43.4
高 卒(共学)	50.5	46.3	45.7	51.6
高 卒(別学)	53.8	41.3	52.3	46.3
専修学校卒 (高卒後)	50.0	44.9	51.9	45.6
短大・高専卒	50.5	44.4	48.2	49.2
大 卒	47.6	50.3	43.8	53.6

d) 希望子供数

(%)

希望子供数	第1子出産希望時期			
	男 子		女 子	
	できるだけ早く	しばらくしてから	できるだけ早く	しばらくしてから
1 人	44.4	51.9	38.8	58.2
2 人	46.4	49.9	43.7	53.6
3 人	59.0	37.3	56.2	41.4
4人以上	67.7	29.0	60.9	36.6

## e) 年収

(%)

年 収	第 1 子 出 産 希 望 時 期			
	男 子		女 子	
	できるだけ早く	しばらくしてから	できるだけ早く	しばらくしてから
100 万円未満	53.2	39.8	50.6	45.5
100～200 万円	50.0	46.7	48.7	49.4
200～300 万円	59.4	38.3	52.1	45.8
300～400 万円	67.9	30.0	75.0	28.6
400 万円以上	75.0	25.0	50.0	50.0

1) 現住地の性格別(表10-2a)については、男女とも大都市地域(「人口集中地区 200万人以上」)の方が農村的地域(「非人口集中地区」)よりも第1子出産延期を希望するものの割合が高かった(男女計でそれぞれ49%, 43%)。

2) 父親の職業別(表10-2b)については、男女とも父親が雇用者であるものは父親が「農林漁業」に従事するものより第1子出産延期を希望する割合が高い(男女計でそれぞれ51%, 37%)。

3) 学歴別(表10-2c)に見てみると、特に男子において高学歴のものは「中卒」のものより第1子出産延期を希望する割合が大きかった(それぞれ44%~50%, 32%)。

4) 希望子供数別(表10-2d)については、希望子供数が少ないほど第1子出産延期を希望するものの割合が高い(男女計では希望子供数1人で55%, 3人で39%)。

5) 年収別(表10-2e)に見てみると、特に男子において収入の多いものに第1子出産延期を希望するものの割合が少ない(年収100~200万円で47%, 300~400万円で30%)。

なお、『第8次・夫婦調査』においては第1出生間隔を社会経済的属性別に見た場合、現住地の性格別による差(大都市地域の平均第1出生間隔1.75年、農村的地域の同じく1.53年)と出生児数による差(出生児数1人で2.09年、3人で1.33年)が上記の結果と同様の傾向を示しているものの、その他の属性による差はみられなかった。



## 第11章 避妊知識

### 1. 避妊知識の有無

前章において、子供を希望する独身者の第1子出産時期に対する態度を検討した。その結果20歳代前半までは男女とも半数強が結婚後しばらくしてからの第1子出産を望んでいることが示された。しかし、意図的な第1子出産の延期には避妊（受胎調節）知識が必要となる。そこで、本調査では独身者に対して避妊についてどの程度知っているかを尋ねた。男女別、年齢別の結果を表11-1に示してある。

表から明らかのように、「全然聞いたことがない」ものは男女ともごく少数（男子2～7％，女子1～2％で男子の方が若干多い）であるが、「言葉は聞いたことはあるがよくわからない」ものが男子で平均24％，女子で平均35％にのぼった。一方、「具体的に知っている」ものの割合は大体において年齢の上昇とともに増加している（男子58～75％，女子58～67％，ただし女子の30～34歳層は58％と低い）。

次に、表11-2によって避妊方法を具体的に知っているものの割合を社会経済的属性別に見てみよう。

1) 学歴別（表11-2a）については、女子の「専修学校卒（高卒後）」の例外を除いて、高学歴に

表11-1 避妊知識の有無 (%)

年 齢	避 妊 知 識 の 有 無				
	計	全然知らない	言葉だけ知っている	具体的に知っている	不 詳
男子					
18～19歳	100.0	6.5	32.9	57.0	3.6
20～24歳	100.0	3.3	22.8	70.8	3.2
25～29歳	100.0	2.1	19.6	75.0	3.3
30～34歳	100.0	3.2	21.6	71.3	3.8
計	100.0	3.5	23.6	69.5	3.4
女子					
18～19歳	100.0	2.2	37.3	57.5	2.9
20～24歳	100.0	1.8	36.4	60.1	1.8
25～29歳	100.0	1.4	28.4	66.7	3.5
30～34歳	100.0	0.8	38.3	58.3	2.5
計	100.0	1.8	35.3	60.6	2.4

なるほど具体的知識をもつ割合は増大している。

2) 職業別(表11-2b)に見てみると、男女とも「ホワイトカラー」は「ブルーカラー」よりも具体的知識をもつ割合が高い。

3) 現住地の性格別(表11-2c)については、都市的地域の方が農村的地域(「非人口集中地区」)よりも具体的知識をもつ割合が高くなっている。

4) 親との同別居別(表11-2d)に見てみると、男女とも現在親と離れて暮らしているものは同居しているものより具体的知識をもつ割合が高い。

表11-2 属性別にみた、避妊について「具体的に知っている」と答えた者の割合

a) 学 歴 (%)			b) 職 業 (%)		
学 歴	男 子	女 子	職 業	男 子	女 子
中 卒	52.9	45.7	自営・家族従業者	68.8	68.5
高 卒(共学)	69.3	58.9	ホワイトカラー	73.6	61.2
高 卒(別学)	62.7	60.5	ブルーカラー	61.0	53.0
専修学校卒 (高卒後)	66.5	70.7	臨時雇い	61.9	72.2
短大・高専卒	73.1	60.3	無 職	66.2	54.8
大 卒	78.2	62.8	学 生	70.6	60.1

c) 現住地の性格 (%)			d) 親との同別居 (%)		
現住地の性格	男 子	女 子	親との同別居	男 子	女 子
非人口集中地区 (Non-DID)	61.7	57.2	同 居	66.0	59.4
人口集中地区 (DID)200万人未満	72.1	61.5	別 居	78.3	66.7
人口集中地区 (DID)200万人以上	78.4	65.7			

## 2. 避妊知識の入手経路

避妊について「具体的にいくつかの方法を知っている」と答えたものに対し、「避妊についての知識をどこから得たか」を多項目選択方式によって尋ねた。その結果を表11-3に示す。

表によれば男女とも第1位は「雑誌・新聞」で約7割、第2位は「同性の友人」で5~6割であった。男子ではこれに「テレビ」、「学校」、「医学書」が2割台で続き、女子では「学校」が5割弱、「医学書」が2割台であった。

表11-3 避妊知識の入手経路

(%)

年齢	避妊知識の入手経路											
	計	両親	きょうだい	同性の友人	異性の友人	学校の授業	雑誌・新聞	医学書	テレビ・ラジオ・映画	その他	不詳	
男子												
18～19歳	100.0	1.1	1.1	57.0	15.6	49.3	56.3	17.0	22.2	1.9	0.4	
20～24歳	100.0	1.3	1.5	62.9	12.8	28.8	73.9	22.1	30.9	1.4	0.5	
25～29歳	100.0	1.1	1.1	52.7	14.7	11.5	72.7	29.2	30.3	2.5	0.2	
30～34歳	100.0	2.0	2.5	41.4	14.8	4.5	68.0	23.4	25.0	5.3	0.8	
計	100.0	1.3	1.5	56.2	14.0	23.6	70.2	23.6	28.7	2.3	0.4	
女子												
18～19歳	100.0	3.9	1.6	54.7	11.7	68.0	57.4	11.3	18.4	1.2	-	
20～24歳	100.0	2.3	2.3	59.7	10.8	44.4	69.8	24.7	18.8	2.8	-	
25～29歳	100.0	1.7	2.2	44.3	13.5	31.7	67.4	35.2	20.9	4.3	-	
30～34歳	100.0	-	4.3	40.0	12.9	17.1	60.0	48.6	18.6	5.7	-	
計	100.0	2.4	2.2	54.6	11.6	45.4	66.1	25.2	19.1	2.9	-	

(注) 多項目選択方式の質問によるため、各行の合計は必ずしも100%にならない。

## 第12章 結論にかえて — 調査結果の評価 —

独身者の結婚観、子供観に関する全国調査は人口問題研究所としては初めての試みであり、過去の調査と比較して変化の有無を議論することはできない。ここでは、『第8次・夫婦調査』の結果を念頭に置きつつ、本調査の結果が最近の晩婚化や出生率の低下現象をめぐる議論にとってどのような意義をもつかを述べてみたい。

### (1) 結婚観について

全体として若者の結婚観にそれほど大きな変化が起こっているようにはみえない。結婚を望まないものはほとんどなく、晩婚志向がことさらに強まったわけでもなく、結婚適齢期、夫妻年齢差、結婚後の親との同居問題などについての考え方も意外に変わっていない。

恋愛結婚至上主義が若者の間に定着してきたことにより、異性との接触機会の多寡が配偶者選択に大きな影響を及ぼしているように思われる。異性との接触機会の少ない層（高年齢、低学歴、ブルーカラー、農村）でむしろ生涯独身志向が強く、見合結婚に頼る傾向がみられる。高学歴、ホワイトカラーの女性は学校、職場などで異性との接触機会も多く、恋愛結婚のチャンスに恵まれ、生涯独身志向も弱い。

他方、結婚年齢の点では、高学歴、ホワイトカラー、都市居住者でいくぶん晩婚志向が強く、実際にも結婚が遅いという傾向が認められる。

したがって最近の女子の晩婚化の原因としては、女性の<sup>1</sup>高学歴化、職場進出、専門職化などの社会変化が女性の結婚観を根本的に変え独身志向を強めたというよりも、昭和40年代後半に急激に進行した高学歴化によって学校卒業年齢が高まり、結婚年齢が平均的に上昇したためと考えるべきであろう。

男子についても、生涯独身志向が強まったから晩婚化が進んだという説はあたっていない。男子の晩婚化については、女子の場合と同様の高学歴化に加えて、年齢構造上の適齢期人口の性比の不均衡化を重要な要因として挙げるべきであろう。周知のように、戦後のベビーブーム期から出生急低下期にかけての約10年間に生まれた男子の数は配偶者として望ましい年齢差をもつ女子の数をかなり上回る。希望する夫妻年齢差が比較的固定的であり、しかも独身男性はいくつになっても結婚適齢期の若い女性を望むからこの世代の男子の結婚難はまだしばらく続きそうである。「結婚市場」は当分男子に不利、女子に有利に推移するということである。

高学歴化が女子の晩婚化の唯一の原因ならば、高学歴化の進行が頭打ちの現在、少なくとも女子については晩婚化に歯止めがかかり、結婚を遅らせてきた世代の結婚確率が回復するはずである。これが年

次別の年齢別結婚確率を高め、ついで第1子の出生率を上昇させ、ひいては出生率の回復をもたらしていくと予測できる。

ただし恋愛結婚中心の「結婚市場」では最適配偶者候補同士の出会いが必ずしも容易ではないから、配偶者選択に時間がかかり、そのことが晩婚化の促進要因になりうる。最適配偶者候補同士の出会いを円滑にするためには男女交際の仲介機構（伝統的見合制度、最近では結婚紹介所など）を通じて個人的出会いを補っていく必要があるそうである。また現在20歳代後半から30歳代の独身男性の場合は構造的に非常に不利な状況にあるわけで、仲介機構の役割が見直されてしかるべきであろう。

## (2) 子供観について

全般的にみて、独身青年層の子供観とすでに結婚している男女の子供観の間には大きな違いはみられない。若者の大多数は（男子も女子も）結婚したら子供をもちたいと望み、子供をもつなら2～3人を希望する。平均希望子供数は2.3人である。これは『第8次・夫婦調査』における若い夫婦の予定子供数とほとんど同じである。

子供の性別組合せについても、2子を望む場合には1男1女が圧倒的で、3子の場合には2男1女を望む場合が多数である点も独身者と夫婦の間で大差ない。さらに一人っ子を望まない理由も、「成人後きょうだい間の助け合いができない」、「きょうだいがいないと子供の成長に好ましくない」といった子供本位の理由が中心で、「老後が心細い」、「1人では死んでしまった場合困る」などの親本位の理由が少ない点も『第8次・夫婦調査』の結果とほとんど同じである。

以上の点からみて、次に続く世代の出生行動が現在の夫婦の出生行動と大幅に異なってくることはほとんど考えられず、夫婦出生力の基調は当面安定的であると予想して差し支えない。

『第7次出産力調査』、毎日新聞社による『全国家族計画世論調査』などによれば、結婚後第1子出生前に避妊を始めたものは2割にすぎず、『第8次・夫婦調査』の結果でも結婚後第1子出生までの間隔はこの10年間延びるどころかむしろ短縮化傾向にある。したがって、全体としては第1子の出生時期を計画的に調整している夫婦は少ないと思われる。その結果、わが国の毎年の結婚数の動きは、1～2年のタイム・ラグをもって、全出生の4～5割を占める第1子出生に直接的な影響を及ぼし、ひいては全体の出生率の動向を大きく左右することになっている。

独身者の第1子出産希望時期、避妊知識を尋ねたのは、これまでにみられた結婚と第1子出産の直接的関係が変わりつつあるか否かを知るためであるが、男女とも5割弱が第1子出産延期を希望している。

これについては比較対照すべき調査がないので今のところ評価が難しい。ただし昭和49年に実施された『世界出産力調査』で第1子出産の延期を望んだ夫婦が全体で約35%、妻が25歳未満の夫婦で5割近くあったものの、実際に第1子出産を延期したのは2割程度にすぎなかったところからみて、この点

についてもあまり大きな変化が起っているとは思われない。

## 第III部 付属資料

### 1. 調査関係資料

## 目 次

1. 第8次出産力調査（結婚と出産力に関する全国調査）についてのお願い……………58
2. 第8次出産力調査（結婚と出産力に関する全国調査）要綱……………59
3. 第8次出産力調査（結婚と出産力に関する全国調査）調査の手引……………61
4. 第8次出産力調査（結婚と出産力に関する全国調査）単位区別世帯名簿……………67
5. 第8次出産力調査（結婚と出産力に関する全国調査）夫婦票……………68
6. 第8次出産力調査（結婚と出産力に関する全国調査）独身者票……………72



## 第 8 次 出 産 力 調 査

### (結婚と出産力に関する全国調査)についてのお願い

厚生省人口問題研究所は5年おきに出産力調査を行なっておりますが、今年はその8回目にあたっております。今回の調査は、18歳以上35歳未満の独身の方と奥さんの年齢が50歳未満のご夫婦にお願いすることになりました。

独身の方には、独身者票によって、主として結婚についてどのように考えておられるか、子供についてどのような考えをもっておられるかなどをお尋ねしたいと存じます。

ご夫婦には夫婦票によって、結婚、出産歴、子供についての考え方などをお尋ね致したいと存じます。

この調査は、全体として、日本人がどのように結婚し、どのようにして子供の数を決めているのかを明らかにし、日本人口の将来の姿を予測するのに役立たせようとするものです。

調査の方法は、回答して頂いた調査票を無記名で封筒に入れて頂き、調査員を通じて開封しないまま厚生省人口問題研究所に送られるしくみになっております。御記入の内容は厚生省人口問題研究所においてすべて統計的に処理され、調査結果は数字の形で発表されますので、一人一人のご回答が他に漏れることは決してありません。

どうかこの調査の趣旨を十分ご理解下さいまして、すべての質問に回答して頂けますようお願いする次第です。

昭和57年6月

厚生省人口問題研究所長

篠 崎 信 男

(〒100) 東京都千代田区霞が関1-2-2

電 話 (03) 503-1711

内線2657・2534

## 『第8次出産力調査（結婚と出産力に関する全国調査）』要綱

### 調査の目的

厚生省人口問題研究所は、昭和15年の第1回出産力調査以来、昭和52年までに7回の出産力調査を実施してきたが、これらの調査によって夫婦の出産歴を中心とするわが国出産力の実態および戦後出産力の急激な低下の内容と原因が明らかにされ、多方面から高く評価されてきた。

昭和57年は第8次出産力調査の年に当たっているが、今回の調査は最近低下しつつある出産力の動向についてその実態を明らかにするとともに、若い独身者を調査対象に含め彼らの結婚・出産に関する考え方を把握することを目的としている。そして調査の結果として、出産力の現状の解明とともに将来人口の予測と人口に関する施策の立案に役立つ基礎資料が得られることを期待している。

### 調査の対象および客体

この調査は、無作為抽出法により抽出された調査区内に居住する妻の年齢50歳未満の夫婦と、18歳以上35歳未満の独身の男女を調査対象とする。

標本抽出は、昭和57年度に実施される厚生行政基礎調査の調査地区から325調査地区を無作為抽出し、その地区内に居住する妻の年齢50歳未満の夫婦（約9,800組）と18歳以上35歳未満の独身の男女（約6,900人）を調査客体とする。

### 調査の時期

昭和57年6月1日現在の事実による。

## 調 査 事 項

### 〔夫 婦 票〕

1. 夫婦の結婚に関する事項
2. 夫婦の社会経済的屬性に関する事項
3. 夫婦の両親の社会経済的屬性に関する事項
4. 夫婦の妊娠、出産歴に関する事項
5. 夫婦の出生に対する意識に関する事項

### 〔独 身 者 票〕

1. 本人の社会経済的屬性に関する事項
2. 両親の社会経済的屬性に関する事項
3. 結婚に関する事項
4. 子供に関する事項
5. 出生抑制知識に関する事項

## 調 査 の 方 法

この調査は、厚生省人口問題研究所が厚生省大臣官房統計情報部、都道府県、政令指定都市、および保健所の協力を得て、厚生行政基礎調査と同時に実施する。

調査は配票自計、密封回収方式とする。

## 結 果 の 集 計 お よ び 公 表

厚生省人口問題研究所がこれを行なう。

## 第8次出産力調査

(結婚と出産力に関する全国調査)

# 調 査 の 手 引

厚生省人口問題研究所

〒100 東京都千代田区霞が関1-2-2

電話 (03) 503-1711 内線 2657, 2534

ま え が き

このたび、厚生省人口問題研究所の「第8次出産力調査（結婚と出産力に関する全国調査）」にご協力をいただくことになりました。厚生行政基礎調査に並行して実施いたしますので、お忙しい中たいへん恐縮に存じますが、関係各位のご協力をお願い申し上げます。

昭和57年6月

厚生省人口問題研究所長

篠 崎 信 男

## I 調査の概要

### 1. 調査の目的

厚生省人口問題研究所は戦前からほぼ5年おきに出産力調査を行なっておりますが、今年はその8回目にあっております。皆様ご承知の通り、最近わが国の出生率は急激な低下を示しております。この傾向が今後も続くとしみますと、その経済的、社会的影響は測り知れないものがあります。

人口問題研究所はかねてよりこのような出生率低下の原因を解明する努力を続けてまいりました。その結果、最近の出生率低下は主として若い世代の結婚観、子供観、家族観の変化によるところが大きいのではないかという考え方に達しました。そこで今回の調査では、従来の夫婦を対象にした出産力調査に加えて、若い独身者を対象にした結婚観、子供観の調査を並行して実施することになりました。

調査の結果は人口問題研究所が定期的に行なっております日本の将来人口推計の基礎資料としても大いに利用されることになっておりますので、できるだけ正確な答えがえられますよう、以下の要領に従って調査を実施して頂ければ幸に存じます。

### 2. 調査の対象および客体

本調査の対象は(1)妻の年齢50歳未満の夫婦と(2)18歳以上35歳未満の独身男女の2つのグループに分けられます。昭和57年度厚生行政基礎調査のために選定された国勢調査地区(厚生統計標本地区)を親標本として、そのなかから325調査地区を無作為に抽出し、その調査地区に居住するすべての該当者を調査対象とします。

### 3. 調査の期日

昭和57年6月1日現在の事実を調査します。

### 4. 調査票の種類

- (1) 「夫婦票(黄色の調査票)」……………妻の年齢50歳未満の夫婦用
- (2) 「独身者票(うす緑色の調査票)」……………18歳以上35歳未満の独身男女用

### 5. 調査の方法

調査員の方から(該当する)対象者に(該当する)調査票を配って頂き、調査票の記入は対象者自身にして頂きます。記入済みの調査票は、対象者自身が所定の封筒に入れて密封し、これを調査員の方に回収して頂きます。

## II 調査実施上の注意

### 1. 配票調査前の準備

#### (1) 保健所から手渡される書類

- (i) 「調査員委嘱状」ならびに「調査員証」…………… 1枚ずつ
- (ii) 「調査要綱」…………… 1部
- (iii) 「調査の手引」…………… 1部
- (iv) 「単位区別世帯名簿」…………… 4枚
- (v) 「調査についてのお願い」…………… 100枚
- (vi) 「調査票（夫婦票）」…………… 50部
- (vii) 「調査票（独身者票）」…………… 50部
- (viii) 「密封用封筒」…………… 100枚
- (ix) 「調査対象世帯への謝礼（ボールペン2本入）」…………… 50セット

#### (2) 調査対象者世帯名簿の作成



この調査は厚生行政基礎調査終了と同時に実施していただくことになっております。厚生行政基礎調査の実施によって該当調査地区内の各世帯に調査対象となるべき夫婦（妻の年齢50歳未満）と独身者（18歳以上35歳未満の男女）がどれだけ居住しているか確認できるはずですが、それに基づく単位区別世帯名簿作成の手続は以下の通りです。

- (ア) 単位区別世帯名簿の上欄、所定の場所に「都道府県名」、「市区町村名」、「（厚生統計標本）地区番号」、「単位区番号」、「保健所名」、「調査員氏名」を記入して下さい。
- (イ) つぎに厚生行政基礎調査の単位区別世帯名簿から世帯主氏名を世帯番号順にすべて転記して下さい。それから、世帯番号順に各世帯の調査対象夫婦組数、調査対象独身者数を所定の欄に記入して下さい。該当者がいない場合には0（ゼロ）を記入して下さい。例を示せば次ページの図の通りです。
- (ウ) 厚生統計標本地区が2つ以上の単位区に分けられている場合には、単位区別に世帯名簿を作成して下さい。

#### (3) 調査票表紙への所定事項の記入

保健所から受け取った2種類の調査票の表紙の所定欄に「都道府県名」、「市区町村名」、「保健所名」、「地区番号」、「単位区番号」を記入して下さい。また、同じ保健所から受け取った調査票密封用の封筒の所定欄にも「都道府県名」、「市区町村名」、「保健所名」、「地区番号」、「単位区番号」を記入して下さい。

第8次出産力調査（結婚と出産力に関する全国調査）  
 単位区別世帯名簿

東京  市 千代田 

保健所名 神田保健所

調査員氏名 厚生花子

地区番号		13003				単位区番号		01							
世帯番号	世帯主氏名	妻が50歳未満の夫婦		18～34歳の独身者		備考	世帯番号	世帯主氏名	妻が50歳未満の夫婦		18～34歳の独身者		備考		
		夫婦組数	夫婦票配布数/回収数	独身者数	独身者票配布数/回収数				夫婦組数	夫婦票配布数/回収数	独身者数	独身者票配布数/回収数			
1	甲野一吉	1		2			21	春野 桜	0	0	0	0	0	0	該当者なし
2	乙山次郎	2		1			22	夏山 竹次	1			1			
3	丙川三夫	0	0	0	2		23	秋川 松雄	2			0	0	0	
4	丁島良子	0	0	0	1		24	冬島 梅吉	1			0	0	0	
5							25								

2. 配票調査の実施

(1) 配票調査時に携行すべき書類

- (i) 「調査員証」……………調査対象者に保健所の調査員であることを証明するため
- (ii) 「調査の手引」……………調査要領の心覚え
- (iii) 記入済みの「単位区別世帯名簿」
- (iv) 「調査についてのお願い」……………調査対象者1人あたり1枚配布
- (v) 所定事項記入済みの「夫婦票」……同上
- (vi) 所定事項記入済みの「独身者票」…同上
- (vii) 所定事項記入済みの「密封用封筒」…同上
- (viii) 「調査対象世帯への謝礼(ボールペン2本入)」……………調査対象世帯1軒あたり1セット配布

(2) 配票調査時に注意すべき事項

- 世帯名簿にしたがって、調査対象者の居住する世帯を訪問し、「調査についてのお願い」の記載どおりに調査の趣旨を説明して協力を依頼して下さい。
- 調査票を配布する際、調査対象者が夫婦か独身者かを十分に確認し、夫婦なら「夫婦票」を、独身者なら「独身者票」を渡して下さい。
- 1世帯に調査対象者が1組（または1人）の場合には「調査についてのお願い」、「調査票（夫婦票または独身者票）」、「密封用封筒」、「調査対象世帯への謝礼」を各1部ずつ渡して下さい。
- 1世帯に調査対象者が複数いる場合には、「調査についてのお願い」、「調査票」、「密封用封筒」は、人数分だけ渡して下さい。ただし「調査対象世帯への謝礼」は調査対象者の数に関わりな



く1世帯1組として下さい。

- 調査票を配布するたびに単位別世帯名簿の配布数欄に配布した調査票の枚数を記入して下さい。
- 調査対象者に、個人の秘密（プライバシー）を保護するため記入後の調査票を所定の封筒に入れ密封するよう依頼して下さい。
- 最後に調査票の回収予定日を調査対象者に知らせ、調査対象者の都合がつかない場合には適宜回収方法を打ち合わせて下さい。

### 3. 調査票回収時に注意すべき事項

- 回収予定日に再び調査対象世帯をたずね、調査票を回収して下さい。無作為抽出調査は小さな標本規模に基づいて全国の動向を把握しようとするものですから、回収率の高さが決め手になります。したがって、一度で回収できなかった場合には、ご足労ですが、できるだけ回収率を高めるよう、格別のお骨折りをお願いいたします。
- 調査票が回収されましたら単位別世帯名簿の回収数欄に回収した調査票の枚数を記入して下さい。

### 4. 調査終了後

- 「世帯名簿」と回収後の「調査票」は、一括して保健所に提出して下さい。
- それらは各保健所からいったん都道府県に集められ、各都道府県から厚生省人口問題研究所あてに御送付願うことになっております。

# 第8次出産力調査（結婚と出産力に関する全国調査）

## 単位区別世帯名簿

都道府県

市郡

区町村

保健所名

調査員氏名

地区番号		単位区番号															
世帯番号	世帯主氏名	妻が50歳未満の夫婦			18～34歳の独身者			備考	世帯番号	世帯主氏名	妻が50歳未満の夫婦			18～34歳の独身者			備考
		夫婦組数	夫婦票		独身者数	独身者票					夫婦組数	夫婦票		独身者数	独身者票		
			配布数	回収数		配布数	回収数					配布数	回収数		配布数	回収数	
1									21								
2									22								
3									23								
4									24								
5									25								
6									26								
7									27								
8									28								
9									29								
10									30								
11									31								
12									32								
13									33								
14									34								
15									35								
16									36								
17									37								
18									38								
19									39								
20									40								
									合	計							

注 1世帯の中に妻の年齢が50歳未満であるような夫婦が2組以上いる場合には、夫婦の組数分だけ夫婦票を配布してください。  
 また、1世帯の中に年齢が18歳以上35歳未満であるような独身男女が合わせて2人以上いる場合には、独身者の人数分だけ独身者票を配布してください。





問11 【持つつもりの子供の数(問10の答)が理想的な子供の数(問8の答)よりも少ない方におたずねします】  
なぜ理想とする数の子供を持つとならないのですか。下の理由のうちあてはまる番号があればいくつでも○をつけて下さい。

1. 子供が生まれないから
2. 高齢で生むのはいやだから
3. 子供の教育にお金がかかるから
4. 一般的に子供を育てるのにお金がかかるから
5. これ以上、育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから
6. 家が狭いから
7. 世間なみの子供数に合わせたいから
8. 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから
9. 自分の趣味やレジャーと両立しないから
10. 一番末の子がご主人の定年退職までに成人してほしいから
11. その他

( )

問12 【問8で理想的な子供の数が2人またはそれ以上と答えた方に】  
なぜ子供1人が理想ではないのですか。下の理由のうちあてはまる番号があればいくつでも○をつけて下さい。

1. 兄弟姉妹がないと、子供の成長に好ましくないから
2. 子供が少なくと家庭がさびしいから
3. 子供が1人では自分達の老後が心細いから
4. 子供は1人でもいいが万一のことがあるといけなから
5. 子供の成人後、助け合える兄弟姉妹がないとかわいそうだから
6. 世間で子供は2人はある方がいいと言われてるから
7. 1夫婦が少なくとも子供2人を育てるのは社会的義務だから
8. どの夫婦も子供1人しかもたなければ日本の人口が減ってしまうから
9. その他

( )

問13 【問8で理想的な子供の数が3人またはそれ以上と答えた方に】  
なぜ子供は3人以上が理想なのですか。下の理由のうちあてはまる番号があればいくつでも○をつけて下さい。

1. 子供の成長にとって兄弟姉妹が多い方がよいから
2. 子供が多いほど家庭が楽しいから
3. 子供が多ければ(自分達の)老後に安心して暮らせるから
4. 子供は2人でもいいが万一のことがあるといけなから
5. 兄弟姉妹が多いと将来子供達が支えあっていけるから
6. 世間で子供は3人以上あった方がいいと言われてるから
7. 子供が好きだから多いほどいい
8. その他

( )

問14 【問8で理想的な子供の数が1人以上と答えた方におたずねします】  
子供の男女の組合せについても理想がありますか。あてはまる番号に○をつけ、理想のある方は男の子、女の子の数を記入して下さい。

1. 理想あり  
男の子( )人  
女の子( )人
2. とくに理想はない

問15 【問8で理想的な子供の数が2人以上と答えた方におたずねします】  
理想的な子供の年齢差は何年(歳)くらいでしょうか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

0. 特にない
1. 1年
2. 2年
3. 3年
4. 4年
5. 5年以上

問16 過去1年の間(昭和56年6月1日から昭和57年6月1日まで)に妊娠したことがありますか。(実際には昭和56年6月1日以前に妊娠したが、妊娠に気がついたのはそれ以後であるものも含みます)あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. 現在妊娠中
2. 妊娠したことがある(1を除く)
3. 妊娠したことはない

問17 過去1年の間に人工妊娠中絶を受けたことがありますか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. 受けたことがある
2. 受けたことはない

問18 過去1年の間に自然流産(または死産)を経験したことがありますか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. 経験した
2. 経験しない

問19 奥さんご主人のお父様が最後に卒業された学校は右のどれにあたりますか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

奥さんのお父様	ご主人のお父様
1. 新制中学, 旧制高小, 小学校	1. 新制中学, 旧制高小, 小学校
2. 新制高校, 旧制中学校など	2. 新制高校, 旧制中学校など
3. 短大, 高専, 旧制高校など以上	3. 短大, 高専, 旧制高校など以上

問20 奥さんご主人のお父様の職業は下のどれにあたりますか。あてはまる番号に○をつけて下さい。定年退職または死亡されている場合には在職中の主な職業を選んで下さい。(どこにあてはまるかわからない方は一番下の空欄にできるだけ詳しく書いて下さい)

奥さんのお父様	ご主人のお父様
1. 主として農林漁業	1. 主として農林漁業
2. 農林漁業以外の自家営業	2. 農林漁業以外の自家営業
3. 勤め人(管理, 事務, 販売などの仕事)	3. 勤め人(管理, 事務, 販売などの仕事)
4. 勤め人(工場などの現場労働)	4. 勤め人(工場などの現場労働)
5. その他(臨時, 日雇い, 無職)	5. その他(臨時, 日雇い, 無職)
<わからない方>	<わからない方>

【裏面に続く】

問21 あなた方ご夫婦の兄弟姉妹の数を( )内に記入して下さい。(亡くなられた方は含めません) いらっしゃらない場合には空欄の各々に0を記入して下さい。

奥さん	兄( )人	弟( )人	姉( )人	妹( )人
ご主人	兄( )人	弟( )人	姉( )人	妹( )人

問22 あなた方ご夫婦はどのようなきっかけでお知り合いになられたのですか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. 学校で 2. 職場で 3. 幼なじみ、隣人関係 4. 地域のサークル活動やクラブ活動で 5. 友人やきょうだいの紹介で 6. 見合いで(親せき、上役などの紹介も含む) 7. 結婚相談所で 8. 街なかや旅先で偶然出会って 9. その他  ( )
---

問23 あなた方ご夫婦が最終学校を卒業したあと結婚前まで住んでいた所は主として下のどちらにあたりますか。あてはまる番号に○をつけて下さい。また、その都道府県名を記入して下さい。

奥さん	ご主人
1. 市街地 2. 農山村、漁村	1. 市街地 2. 農山村、漁村
結婚前に住んでいた都道府県名	
奥さん	ご主人

問24 あなた方ご夫婦は最終学校を卒業したあと結婚前まで(ご両)親と一緒に暮らしていましたか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

奥さん	ご主人
1. (だいたい)一緒に暮らしていた 2. (だいたい)別れて暮らしていた 3. その他  ( )	1. (だいたい)一緒に暮らしていた 2. (だいたい)別れて暮らしていた 3. その他  ( )

問25 【問24でご夫婦の少なくともどちらかが2と答えた方におたずねします】あなた方ご夫婦の結婚前に(ご両)親が住んでおられた所は下のどちらにあたりますか。あてはまる番号に○をつけて下さい。また、その都道府県名を記入して下さい。

奥さんの(ご両)親	ご主人の(ご両)親
1. 市街地 2. 農山村、漁村	1. 市街地 2. 農山村、漁村
結婚前に(ご両)親が住んでいた都道府県名	
奥さんの(ご両)親	ご主人の(ご両)親

問26 あなた方ご夫婦は結婚直後(ご両)親と同居していましたか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. ご主人の(両)親と同居していた 2. 奥さんの(両)親と同居していた 3. 同居していなかった
--

問27 あなた方ご夫婦の現在のお住まいは下のどれですか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. 一戸建住宅の持家 2. 集合住宅の持家(分譲マンションなど) 3. 公営の賃貸住宅(アパート、借家) 4. 民営の賃貸住宅(アパート、借家) 5. 給与住宅(寮、社宅など) 6. 間借り 7. その他  ( )
--

問28 【問27で1～2に○をつけた方におたずねします】

現在のお住まいを取得するに際して(ご両)親の援助を受けられましたか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. ご主人の親の家(ないし土地)に住んでいる 2. 奥さんの親の家(ないし土地)に住んでいる 3. 自分たちの家の購入に際して親の援助を受けた 4. 自分たちの貯金とローンだけで購入した
---

問29 お宅の部屋数と世帯人員を下の欄に記入して下さい。(部屋数にはダイニングキッチンも含まれます)

部屋数 ( ) 室
世帯人員 ( ) 人

行政管理庁承認番号 No.13692 昭和57年9月30日まで

厚生省登録厚 2-15-24-2 昭和57年3月23日登録



第8次出産力調査

結婚と出産力に関する全国調査

〔独身者票〕

昭和57年6月1日

厚生省人口問題研究所

〒100 東京都千代田区霞が関1-2-2

電話 東京(03) 503-1711

内線 { 2657  
2534

都道府県

市郡

町区

保健所

地区番号		単位区番号		研究所記入欄	
------	--	-------	--	--------	--

- 記入上のお願ひ
- ◎ この調査票は18歳以上35歳未満の独身男女の方に答えていただくためのものです。
  - ◎ 回答のしかたは、あてはまる番号に○をつけるものと、必要なことがらを書きこむものがあります。
  - ◎ 回答のしかたがわからないときは、調査員におき下さい。

問1 あなたの出生年月を記入し、性別の欄はあてはまる番号に○をつけて下さい。

出生年月	性別
昭和 年 月	1. 男 2. 女

問2 あなたは結婚したことがありますか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. ある
2. ない

問3 あなたが最後に卒業した(あるいは在学中の)学校は右のどれですか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. 中学校
2. 男女共学の高校
3. 男女別学の高校
4. 専修学校(高卒後)
5. 短大, 高専
6. 大学以上
7. その他

問4 あなたの現在の職業は下のどれですか。あてはまる番号に○をつけて下さい。(なお、どこにあてはまるかわからない方は一番下の空欄にてできるだけ詳しく書いて下さい)

1. 自家営業(家族従業者を含む)
2. 勤め人(管理的, 専門的な仕事)
3. 勤め人(事務, 販売などの仕事)
4. 勤め人(工場などの現場労働)
5. 臨時雇い(パートなど)
6. 無職・家事手伝い
7. 学生
<わからない方>
( )

問5 【問4で1~4に○をつけた方におたずねします】

あなたの勤め先または家業の従業員数は会社全体で何人ぐらいですか。あてはまる番号に○をつけて下さい。(官公庁などは5に○をつけて下さい)

1. 29人以下
2. 30~499人
3. 500~999人
4. 1000人以上
5. 官公庁, 公社, 公団など

問6 あなたの税込み平均年収（ボーナス、別途収入を含む）はいくらぐらいですか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. 100万円未満
2. 100万円以上～200万円未満
3. 200万円以上～300万円未満
4. 300万円以上～400万円未満
5. 400万円以上～500万円未満
6. 500万円以上

問7 あなたは女性の職業についてどのようにお考えですか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. まったく職業をもたない方がよい
  2. 結婚するまでは職業をもつ方がよい
  3. 子供ができるまでは職業をもつ方がよい
  4. 子供が小さいうちは職業を中断し、子供が大きくなったら再就職の方がよい
  5. 結婚や子供の問題とは関係なく生涯職業をもつべきだ
  6. わからない
  7. その他
- ( )

問8 あなたのお父様が最後に卒業された学校は右のどれにあたりますか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. 新制中学、旧制高小、旧制小学校
2. 新制高校、旧制中学校、師範学校など
3. 短大、高专、旧制高校・高等師範など以上

問9 あなたのお父様の職業は下のどれにあたりますか。あてはまる番号に○をつけて下さい。定年退職または死亡されている場合には在職中の主な職業を選んで下さい。（なお、どこにあてはまるかわからない方は一番下の空欄にできるだけ詳しく書いて下さい）

1. 主として農林漁業
  2. 農林漁業以外の自家営業
  3. 勤め人（管理、事務、販売などの仕事）
  4. 勤め人（工場などの現場労働）
  5. その他（臨時、日雇い、無職）
- <わからない方>
- ( )

問10 あなたは（ご両）親と一緒に暮らしていますか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. 一緒に暮らしている
  2. 別れて暮らしている
  3. その他
- ( )

問11 【ご両親と別れて暮らしている方におたずねします】  
あなたの（ご両）親が住んでおられる所は下のどちらにあたりますか。あてはまる番号に○をつけて下さい。また、その都道府県名を記入して下さい。

1. 市街地
2. 農山村、漁村

都道府県名

問12 あなたの兄弟姉妹の数を（ ）内に記入して下さい。（亡くなられた方は含めません）いらっしゃらない場合は空欄の各々に0を記入して下さい。

兄（ ）人	弟（ ）人	姉（ ）人	妹（ ）人
-------	-------	-------	-------

問13 あなたは現在、交際している異性がありますか。あてはまる番号に○をつけて下さい。（婚約者がある方は結婚予定の年月もお答え下さい）

1. 婚約者がある（結婚予定は昭和 年 月ごろ）
  2. 恋人がいる
  3. 異性の友達がいる
  4. 異性の友達はいない
  5. その他
- ( )

問14 【問13で1～3に○をつけた方におたずねします】

その交際相手とはどのようなきっかけで知りあったのですか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. 学校で
  2. 職場で
  3. 幼なじみ、隣人関係
  4. 地域のサークル活動やクラブ活動で
  5. 友人やきょうだいの紹介で
  6. 見合いで（親せき、上役などの紹介も含む）
  7. 結婚相談所で
  8. 街なかや旅先で偶然出会って
  9. その他
- ( )

問15 あなたの結婚についてのお考えは下のどれにあたりますか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. 近い将来結婚するつもり
2. まだ結婚する気はないがいずれは結婚すると思う
3. 一生結婚するつもりはない

※ここからあとの質問は、問15で1と2に○をつけた方におたずねします。

問16 あなたは何歳ぐらいまでに何歳ぐらいの相手と結婚したいですか。希望する年齢を記入して下さい。

自分（ ）歳ぐらい
相手（ ）歳ぐらい

問17 あなたはどのような形の結婚を望んでいますか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. 恋愛結婚をしたい
2. 見合結婚をしたい
3. どちらでもかまわない



問18 結婚後、あなたはあなたのご両親と一緒に暮らしたいですか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. 結婚直後から同居したい
2. 結婚直後からというわけではないが、しばらくしたら同居したい
3. 親が年をとったら同居したい
4. 同居したくない
5. その他

( )

問19 結婚後、相手の（ご両親）と一緒に暮らすのはかまいませんか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. かまわない
2. 場合による
3. いやだ

問20 ムコ養子についてうかがいます。男性の方は(a)に、女性の方は(b)にお答え下さい。

(a) 【男性の方におたずねします】

あなたが結婚する場合ムコ養子でもかまいませんか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. かまわない
2. 場合による
3. いやだ

(b) 【女性の方におたずねします】

あなたが結婚する場合ムコ養子を望まれますか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. 自分も親も望んでいる
2. 自分はどちらでもよいが親が望んでいる
3. 自分も親もどちらでもよいと思っている
4. ムコ養子の必要はない

問21 近いうちに結婚するとした場合、新居のめどは立っていますか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. 自分の親の家に住めるだろう
2. 相手の親の家に住めるだろう
3. 親の援助によって自分たちの家やマンションが持てるだろう
4. 自分の貯金とローンだけで自分たちの家やマンションが持てるだろう
5. 給与住宅（寮や社宅）に住めるだろう
6. 公営の賃貸住宅に住めるだろう
7. 民営の賃貸住宅に住めるだろう
8. めどが立っていない
9. まだ先のことなのでわからない
10. その他

( )

問22 あなたは結婚したら何人くらい子供がほしいですか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

0. いない
1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人以上 ( )人

問23 【問22で1～5に○をつけた方におたずねします】  
子供の男女の組合せについても希望がありますか。あてはまる番号に○をつけ、希望のある方は男の子、女の子の数を記入して下さい。

1. 希望あり
 

男の子	( )	人
女の子	( )	人
2. とくに希望はない

問24 【問22で1～5に○をつけた方におたずねします】  
あなたは最初の子供をいつごろほしいですか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. 結婚したらできるだけ早くほしい
2. 結婚後しばらくたってからほしい

問25 【問22で希望の子供の数が2人またはそれ以上と答えた方に】  
なぜ子供1人ではいけないのですか。下の理由のうちあてはまる番号があればいくつでも○をつけて下さい。

1. 兄弟姉妹がないと、子供の成長に好ましくないから
2. 子供が少ないと家庭がさびしいから
3. 子供が1人では自分達の老後が心細いから
4. 子供は1人でもいいが万一のことがあるといけないから
5. 子供の成人後、助け合える兄弟姉妹がないとかわいそうだから
6. 世間で子供は2人はある方がいいと言われてるから
7. 1夫婦が少なくとも子供2人を育てるのは社会的義務だから
8. どの夫婦も子供1人しかもたなければ日本の人口が減ってしまうから
9. その他

( )

問26 【問22で希望の子供の数が3人またはそれ以上と答えた方に】  
なぜ3人以上の子供を希望するのですか。下の理由のうちあてはまる番号があればいくつでも○をつけて下さい。

1. 子供の成長にとって兄弟姉妹が多い方がいいから
2. 子供が多いほど家庭が楽しいから
3. 子供が多ければ（自分達の）老後に安心して暮らせるから
4. 子供は2人でもいいが万一のことがあるといけないから
5. 兄弟姉妹が多いと将来子供達が支えあっていけるから
6. 世間で子供は3人以上あった方がいいと言われてるから
7. 子供が好きだから多いほどいい
8. その他

( )

問27 あなたは避妊（受精調節とか家族計画ともいいます）についてどの程度知っていますか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

1. 全然聞いたことがない
2. 言葉は聞いたことはあるがよくわからない
3. 具体的にいくつかの方法を知っている

問28 【問27で3に○をつけた方におたずねします】  
あなたは避妊についての知識をどこから得ましたか。あてはまる番号があればいくつでも○をつけて下さい。

1. 両親
2. きょうだい
3. 同性の友人
4. 異性の友人
5. 学校の授業
6. 雑誌、新聞
7. 医学書
8. テレビ、ラジオ、映画
9. その他

( )

ご協力誠にありがとうございました。ご回答いただきました調査票を折りたたんで回収用の封筒に入れ、ノリづけしたうえで調査員にお渡し下さい

## 第III部 付属資料

### 2. 主要結果表

# 目 次

## 1. 結婚の意思

表 1 - 1 男女年齢 4 区分別, 結婚意思の有無別, 独身者数…………… 78

表 1 - 2 男女年齢 2 区分別, 学歴別, 結婚意思の有無別, 独身者数…………… 78

表 1 - 3 男女年齢 2 区分別, 職業別, 結婚意思の有無別, 独身者数…………… 79

## 2. 希望結婚形態

表 2 - 1 男女年齢 4 区分別, 希望結婚形態別, 独身者数…………… 80

表 2 - 2 男女年齢 2 区分別, 学歴別, 希望結婚形態別, 独身者数…………… 80

表 2 - 3 男女年齢 2 区分別, 職業別, 希望結婚形態別, 独身者数…………… 81

表 2 - 4 男女年齢 2 区分別, 現住地の性格(人口集中地区人口規模)別, 希望結婚  
形態別, 独身者数…………… 82

表 2 - 5 男女年齢 2 区分別, 地方ブロック別, 希望結婚形態別, 独身者数…………… 83

## 3. 異性との交際

表 3 - 1 男女年齢 4 区分別, 異性の友人の有無別, 独身者数…………… 84

表 3 - 2 男女年齢 2 区分別, 学歴別, 異性の友人の有無別, 独身者数…………… 84

表 3 - 3 男女年齢 2 区分別, 職業別, 異性の友人の有無別, 独身者数…………… 85

表 3 - 4 男女年齢 2 区分別, 現住地の性格(人口集中地区人口規模)別, 異性の友  
人の有無別, 独身者数…………… 86

表 3 - 5 男女年齢 2 区分別, 親との同別居別, 異性の友人の有無別, 独身者数…………… 87

表 3 - 6 男女年齢 2 区分別, 地方ブロック別, 異性の友人の有無別, 独身者数…………… 88

## 4. 交際のきっかけ

表 4 - 1 男女年齢 4 区分別, 異性の友人と知りあったきっかけ別, 独身者数…………… 89

表 4 - 2 男女年齢 2 区分別, 学歴別, 異性の友人と知りあったきっかけ別, 独身者数…………… 89

表 4 - 3 男女年齢 2 区分別, 職業別, 異性の友人と知りあったきっかけ別, 独身者数…………… 90

## 5. 希望結婚年齢と希望夫妻年齢差

表 5 - 1 男女年齢 6 区分別, 希望結婚年齢別, 独身者数…………… 91

表 5 - 2 男女年齢 2 区分別, 学歴別, 希望結婚年齢別, 独身者数…………… 91

表 5 - 3 男女年齢 2 区分別, 職業別, 希望結婚年齢別, 独身者数…………… 92

表 5 - 4	男女年齢 2 区分別, 現住地の性格 (人口集中地区人口規模) 別, 希望結婚 年齢別, 独身者数	93
表 5 - 5	男女年齢 2 区分別, 地方ブロック別, 希望結婚年齢別, 独身者数	94
表 5 - 6	男女年齢 6 区分別, 希望夫妻年齢差別, 独身者数	94
6. 結婚後の親子同居と婿養子縁組への態度		
表 6 - 1	男女年齢 4 区分別, 自分の親との同居志向別, 独身者数	95
表 6 - 2	男女年齢 2 区分別, 続柄別, 自分の親との同居志向別, 独身者数	95
表 6 - 3	男女年齢 2 区分別, 学歴別, 自分の親との同居志向別, 独身者数	96
表 6 - 4	男女年齢 2 区分別, 職業別, 自分の親との同居志向別, 独身者数	97
表 6 - 5	男女年齢 2 区分別, 現住地の性格 (人口集中地区人口規模) 別, 自分の親 との同居志向別, 独身者数	98
表 6 - 6	男女年齢 2 区分別, (現在の) 親との同別居別, 自分の親との同居志向別, 独身者数	99
表 6 - 7	男女年齢 2 区分別, 地方ブロック別, 自分の親との同居志向別, 独身者数	100
表 6 - 8	男女年齢 2 区分別, 続柄別, 結婚相手の親との同居志向別, 独身者数	101
表 6 - 9	女子年齢 2 区分別, 続柄別, 婿養子縁組志向別, 独身者数	102
表 6 - 10	男子年齢 2 区分別, 続柄別, 婿養子縁組志向別, 独身者数	102
7. 希望子供数		
表 7 - 1	男女年齢 4 区分別, 希望子供数別, 独身者数	103
表 7 - 2	男女別, 現住地の性格 (人口集中地区人口規模) 別, 希望子供数別, 独身者数	103
表 7 - 3	男女別, 職業別, 希望子供数別, 独身者数	103
8. 子供の性別選好		
表 8 - 1	男女年齢 4 区分別, 希望性別組合せの有無別, 独身者数	104
表 8 - 2	男女年齢 4 区分別, 希望男女児組合せ別, 独身者数	104
9. 一人っ子忌避理由		
表 9 - 1	男女年齢 4 区分別, 一人っ子忌避理由別, 独身者数	105
10. 第 1 子出産希望時期		
表 10 - 1	男女年齢 4 区分別, 第 1 子出産希望時期別, 独身者数	106
表 10 - 2	男女別, 現住地の性格 (人口集中地区人口規模) 別, 第 1 子出産希望時 期別, 独身者数	106

表10 - 3	男女別, 父親の職業別, 第1子出産希望時期別, 独身者数	106
表10 - 4	男女別, 学歴別, 第1子出産希望時期別, 独身者数	107
表10 - 5	男女別, 希望子供数別, 第1子出産希望時期別, 独身者数	107
表10 - 6	男女別, 年収別, 第1子出産希望時期別, 独身者数	108
11. 避妊知識		
表11 - 1	男女年齢4区分別, 避妊知識の有無別, 独身者数	109
表11 - 2	男女別, 学歴別, 避妊知識の有無別, 独身者数	109
表11 - 3	男女別, 職業別, 避妊知識の有無別, 独身者数	110
表11 - 4	男女別, 現住地の性格(人口集中地区人口規模)別, 避妊知識の有無別, 独身者数	110
表11 - 5	男女別, 親との同別居別, 避妊知識の有無別, 独身者数	111
表11 - 6	男女年齢4区分別, 避妊知識入手経路別, 独身者数	111

表1-1 男女年齢4区分別，結婚意思の有無別，独身者数

性別 年齢	結婚意思の有無	総 数	近い将来 結婚する	いずれ 結婚する	一 生	
					結婚しない	不 詳
男 子						
	総 数	2732	344	2276	63	49
	18～19 歳	494	16	458	9	11
	20～24 歳	1138	77	1028	14	19
	25～29 歳	730	140	559	21	10
	30～34 歳	370	111	231	19	9
女 子						
	総 数	2110	222	1766	87	35
	18～19 歳	466	14	431	12	9
	20～24 歳	1106	117	961	21	7
	25～29 歳	373	67	278	15	13
	30～34 歳	165	24	96	39	6

表1-2 男女年齢2区分別，学歴別，結婚意思の有無別，独身者数

性別 年齢 学歴	結婚意思の有無	総 数	近い将来 結婚する	いずれ 結婚する	一 生	
					結婚しない	不 詳
男 子						
	総 数	2732	344	2276	63	49
	中 学 校	277	50	209	10	8
	男女共学の高校	748	77	640	19	12
	男女別学の高校	437	66	355	7	9
	専修学校(高卒後)	191	15	167	7	2
	短大・高専	107	15	89	-	3
	大学以上	912	113	769	17	13
	その他	42	6	33	2	1
	不詳	18	2	14	1	1
18～24歳						
	総 数	1632	93	1486	23	30
	中 学 校	99	9	87	-	3
	男女共学の高校	505	30	460	7	8
	男女別学の高校	253	13	233	2	5
	専修学校(高卒後)	127	7	117	2	1
	短大・高専	68	6	60	-	2
	大学以上	541	25	497	10	9
	その他	24	2	19	2	1
	不詳	15	1	13	-	1
25～34歳						
	総 数	1100	251	790	40	19
	中 学 校	178	41	122	10	5
	男女共学の高校	243	47	180	12	4
	男女別学の高校	184	53	122	5	4
	専修学校(高卒後)	64	8	50	5	1
	短大・高専	39	9	29	-	1
	大学以上	371	88	272	7	4
	その他	18	4	14	-	-
	不詳	3	1	1	1	-
女 子						
	総 数	2110	222	1766	87	35
	中 学 校	116	12	80	21	3
	男女共学の高校	612	49	537	18	8
	男女別学の高校	388	55	310	18	5
	専修学校(高卒後)	236	31	194	6	5
	短大・高専	454	50	383	13	8
	大学以上	259	21	226	8	4
	その他	34	4	26	3	1
	不詳	11	-	10	-	1
18～24歳						
	総 数	1572	131	1392	33	16
	中 学 校	57	4	49	4	-
	男女共学の高校	489	32	445	7	5
	男女別学の高校	283	36	240	6	1
	専修学校(高卒後)	170	17	146	4	3
	短大・高専	355	32	312	6	5
	大学以上	188	9	173	4	2
	その他	22	1	19	2	-
	不詳	8	-	8	-	-
25～34歳						
	総 数	538	91	374	54	19
	中 学 校	59	8	31	17	3
	男女共学の高校	123	17	92	11	3
	男女別学の高校	105	19	70	12	4
	専修学校(高卒後)	66	14	48	2	2
	短大・高専	99	18	71	7	3
	大学以上	71	12	53	4	2
	その他	12	3	7	1	1
	不詳	3	-	2	-	1

表1-3 男女年齢2区分別, 職業別, 結婚意思の有無別, 独身者数

性別	結婚意思の有無		総 数	近い将来 結婚する	いずれ 結婚する	一 生 結婚しない	不 詳
	年齢	職業					
男子							
	総 数	数	2732	344	2276	63	49
	自 家 営 業	業	231	53	171	4	3
	勤め人(管理・専門)	業	631	109	504	12	6
	勤め人(事務・販売)	業	572	86	463	11	12
	勤め人(現場労働)	業	537	68	447	12	10
	臨 時 雇 い	業	65	6	57	-	2
	無職・家事手伝い	業	87	7	70	9	1
	学 生	業	580	13	544	14	9
	不 詳	業	29	2	20	1	6
	18~24歳	業					
	総 数	数	1632	93	1486	23	30
	自 家 営 業	業	84	10	71	2	1
	勤め人(管理・専門)	業	262	18	238	2	4
	勤め人(事務・販売)	業	296	20	265	3	8
	勤め人(現場労働)	業	314	27	283	1	3
	臨 時 雇 い	業	41	2	38	-	1
	無職・家事手伝い	業	54	3	48	2	1
	学 生	業	569	12	535	13	9
	不 詳	業	12	1	8	-	3
	25~34歳	業					
	総 数	数	1100	251	790	40	19
	自 家 営 業	業	147	43	100	2	2
	勤め人(管理・専門)	業	369	91	266	10	2
	勤め人(事務・販売)	業	276	66	198	8	4
	勤め人(現場労働)	業	223	41	164	11	7
	臨 時 雇 い	業	24	4	19	-	1
	無職・家事手伝い	業	33	4	22	7	-
	学 生	業	11	1	9	1	-
	不 詳	業	17	1	12	1	3
女子							
	総 数	数	2110	222	1766	87	35
	自 家 営 業	業	58	10	44	4	-
	勤め人(管理・専門)	業	374	45	315	10	4
	勤め人(事務・販売)	業	901	109	757	21	14
	勤め人(現場労働)	業	127	14	101	11	1
	臨 時 雇 い	業	78	6	66	5	1
	無職・家事手伝い	業	204	29	148	20	7
	学 生	業	337	6	312	13	6
	不 詳	業	31	3	23	3	2
	18~24歳	業					
	総 数	数	1572	131	1392	33	16
	自 家 営 業	業	32	3	29	-	-
	勤め人(管理・専門)	業	265	26	234	4	1
	勤め人(事務・販売)	業	673	74	587	7	5
	勤め人(現場労働)	業	92	6	82	4	-
	臨 時 雇 い	業	45	2	41	1	1
	無職・家事手伝い	業	116	13	97	3	3
	学 生	業	335	5	311	13	6
	不 詳	業	14	2	11	1	-
	25~34歳	業					
	総 数	数	538	91	374	54	19
	自 家 営 業	業	26	7	15	4	-
	勤め人(管理・専門)	業	109	19	81	6	3
	勤め人(事務・販売)	業	228	35	170	14	9
	勤め人(現場労働)	業	35	8	19	7	1
	臨 時 雇 い	業	33	4	25	4	-
	無職・家事手伝い	業	88	16	51	17	4
	学 生	業	2	1	1	-	-
	不 詳	業	17	1	12	2	2

表2-1 男女年齢4区分別, 希望結婚形態別, 独身者数

性別	希望結婚形態		総数	恋愛結婚	見合結婚	どちらでもよい	不詳
	年齢						
男子	総数		2620	1314	97	1150	59
	18~19歳		474	322	12	129	11
	20~24歳		1105	649	30	401	25
	25~29歳		699	261	34	388	16
	30~34歳		342	82	21	232	7
女子	総数		1988	1046	59	859	24
	18~19歳		445	278	13	150	4
	20~24歳		1078	586	34	448	10
	25~29歳		345	149	8	184	4
	30~34歳		120	33	4	77	6

表2-2 男女年齢2区分別, 学歴別, 希望結婚形態別, 独身者数

性別	希望結婚形態		総数	恋愛結婚	見合結婚	どちらでもよい	不詳
	年齢	学歴					
男子	総数		2620	1314	97	1150	59
	中学校		259	94	17	136	12
	男女共学の高校		717	418	19	263	17
	男女別学の高校		421	202	17	192	10
	専修学校(高卒後)		182	101	7	71	3
	短大・高専		104	46	5	52	1
	大学以上		882	427	31	408	16
	その他		39	16	-	23	-
	不詳		16	10	1	5	-
18~24歳	総数		1579	971	42	530	36
	中学校		96	52	2	36	6
	男女共学の高校		490	331	8	138	13
	男女別学の高校		246	149	9	83	5
	専修学校(高卒後)		124	75	2	45	2
	短大・高専		66	33	5	27	1
	大学以上		522	309	15	189	9
	その他		21	12	-	9	-
	不詳		14	10	1	3	-
25~34歳	総数		1041	343	55	620	23
	中学校		163	42	15	100	6
	男女共学の高校		227	87	11	125	4
	男女別学の高校		175	53	8	109	5
	専修学校(高卒後)		58	26	5	26	1
	短大・高専		38	13	-	25	-
	大学以上		360	118	16	219	7
	その他		18	4	-	14	-
	不詳		2	-	-	2	-
女子	総数		1988	1046	59	859	24
	中学校		92	41	2	46	3
	男女共学の高校		586	337	13	230	6
	男女別学の高校		365	200	12	149	4
	専修学校(高卒後)		225	106	12	105	2
	短大・高専		433	223	9	198	3
	大学以上		247	119	10	114	4
	その他		30	17	1	10	2
	不詳		10	3	-	7	-
18~24歳	総数		1523	864	47	598	14
	中学校		53	30	1	21	1
	男女共学の高校		477	296	12	165	4
	男女別学の高校		276	168	9	97	2
	専修学校(高卒後)		163	85	8	69	1
	短大・高専		344	185	8	149	2
	大学以上		182	85	9	86	2
	その他		20	12	-	6	2
	不詳		8	3	-	5	-
25~34歳	総数		465	182	12	261	10
	中学校		39	11	1	25	2
	男女共学の高校		109	41	1	65	2
	男女別学の高校		89	32	3	52	2
	専修学校(高卒後)		62	21	4	36	1
	短大・高専		89	38	1	49	1
	大学以上		65	34	1	28	2
	その他		10	5	1	4	-
	不詳		2	-	-	2	-



表 2 - 3 男女年齢 2 区分別, 職業別, 希望結婚形態別, 独身者数

性別	希望結婚形態		総 数	恋愛結婚	見合結婚	どちらでも よ	不 詳
	年齢	職業					
男子							
	総 数	数	2620	1314	97	1150	59
	自 家 営 業		224	91	10	120	3
	勤め人(管理・専門)		613	261	23	311	18
	勤め人(事務・販売)		549	281	15	239	14
	勤め人(現場労働)		515	245	29	231	10
	臨 時 雇 い		63	36	2	25	-
	無職・家事手伝い		77	40	3	31	3
	学 生		557	348	15	184	10
	不 詳		22	12	-	9	1
	18~24歳	数	1579	971	42	530	36
	自 家 営 業		81	51	3	26	1
	勤め人(管理・専門)		256	148	5	95	8
	勤め人(事務・販売)		285	180	7	92	6
	勤め人(現場労働)		310	186	10	105	9
	臨 時 雇 い		40	28	-	12	-
	無職・家事手伝い		51	28	2	19	2
	学 生		547	343	15	179	10
	不 詳		9	7	-	2	-
	25~34歳	数	1041	343	55	620	23
	自 家 営 業		143	40	7	94	2
	勤め人(管理・専門)		357	113	18	216	10
	勤め人(事務・販売)		264	101	8	147	8
	勤め人(現場労働)		205	59	19	126	1
	臨 時 雇 い		23	8	2	13	-
	無職・家事手伝い		26	12	1	12	1
	学 生		10	5	-	5	-
	不 詳		13	5	-	7	1
女子							
	総 数	数	1988	1046	59	859	24
	自 家 営 業		54	28	2	22	2
	勤め人(管理・専門)		360	187	11	155	7
	勤め人(事務・販売)		866	484	20	354	8
	勤め人(現場労働)		115	51	4	59	1
	臨 時 雇 い		72	39	3	29	1
	無職・家事手伝い		177	78	7	91	1
	学 生		318	164	12	139	3
	不 詳		26	15	-	10	1
	18~24歳	数	1523	864	47	598	14
	自 家 営 業		32	21	1	8	2
	勤め人(管理・専門)		260	145	10	102	3
	勤め人(事務・販売)		661	395	16	245	5
	勤め人(現場労働)		88	47	3	38	-
	臨 時 雇 い		43	25	2	15	1
	無職・家事手伝い		110	61	3	46	-
	学 生		316	163	12	139	2
	不 詳		13	7	-	5	1
	25~34歳	数	465	182	12	261	10
	自 家 営 業		22	7	1	14	-
	勤め人(管理・専門)		100	42	1	53	4
	勤め人(事務・販売)		205	89	4	109	3
	勤め人(現場労働)		27	4	1	21	1
	臨 時 雇 い		29	14	1	14	-
	無職・家事手伝い		67	17	4	45	1
	学 生		2	1	-	-	1
	不 詳		13	8	-	5	-

表 2 - 4 男女年齢 2 区分別，現住地の性格（人口集中地区人口規模）別，希望結婚形態別，独身者数

性別 年齢	希望結婚形態 現住地の性格	総 数	恋愛結婚	見合結婚	どちらでも よ	不 詳
男子						
総 数						
	総 数	2620	1314	97	1150	59
	非人口集中地区	954	450	44	432	28
	人口集中地区10万未満	376	187	14	168	7
	人口集中地区10～20万	217	123	5	85	4
	人口集中地区20～50万	312	158	12	137	5
	人口集中地区50～100万	148	80	2	62	4
	人口集中地区100～200万	145	78	4	59	4
	人口集中地区200万以上	468	238	16	207	7
18～24歳						
	総 数	1579	971	42	530	36
	非人口集中地区	571	334	19	201	17
	人口集中地区10万未満	220	138	5	72	5
	人口集中地区10～20万	130	93	1	34	2
	人口集中地区20～50万	208	124	6	74	4
	人口集中地区50～100万	104	66	1	35	2
	人口集中地区100～200万	88	56	1	30	1
	人口集中地区200万以上	258	160	9	84	5
25～34歳						
	総 数	1041	343	55	620	23
	非人口集中地区	383	116	25	231	11
	人口集中地区10万未満	156	49	9	96	2
	人口集中地区10～20万	87	30	4	51	2
	人口集中地区20～50万	104	34	6	63	1
	人口集中地区50～100万	44	14	1	27	2
	人口集中地区100～200万	57	22	3	29	3
	人口集中地区200万以上	210	78	7	123	2
女子						
総 数						
	総 数	1988	1046	59	859	24
	非人口集中地区	741	381	29	323	8
	人口集中地区10万未満	342	181	6	148	7
	人口集中地区10～20万	200	106	8	85	1
	人口集中地区20～50万	195	107	8	80	-
	人口集中地区50～100万	106	57	2	46	1
	人口集中地区100～200万	86	51	-	33	2
	人口集中地区200万以上	318	163	6	144	5
18～24歳						
	総 数	1523	864	47	598	14
	非人口集中地区	601	331	22	243	5
	人口集中地区10万未満	259	155	5	95	4
	人口集中地区10～20万	163	93	7	62	1
	人口集中地区20～50万	146	78	7	61	-
	人口集中地区50～100万	77	45	2	29	1
	人口集中地区100～200万	64	42	-	21	1
	人口集中地区200万以上	213	120	4	87	2
25～34歳						
	総 数	465	182	12	261	10
	非人口集中地区	140	50	7	80	3
	人口集中地区10万未満	83	26	1	53	3
	人口集中地区10～20万	37	13	1	23	-
	人口集中地区20～50万	49	29	1	19	-
	人口集中地区50～100万	29	12	-	17	-
	人口集中地区100～200万	22	9	-	12	1
	人口集中地区200万以上	105	43	2	57	3

表 2 - 5 男女年齢 2 区分別, 地方ブロック別,  
希望結婚形態別, 独身者数

性別 年齢	希望結婚形態			総 数	恋愛結婚	見合結婚	どちらでも よ	い 不 詳
	地方ブロック							
男子	総 数			2620	1314	97	1150	59
	総	海	教道	80	46	2	29	3
	北		道	224	99	8	109	8
	東		北	850	460	30	345	15
	関		東	468	220	18	217	13
	中		部	437	222	10	195	10
	近		畿	245	97	12	130	6
	中	国・四	国	316	170	17	125	4
	九		州					
18~24歳	総		教道	1579	971	42	530	36
	北	海	道	54	34	1	17	2
	東		北	133	68	5	54	6
	関		東	481	313	10	149	9
	中		部	274	162	12	94	6
	近		畿	290	182	3	98	7
	中	国・四	国	147	78	5	60	4
	九		州	200	134	6	58	2
25~34歳	総		教道	1041	343	55	620	23
	北	海	道	26	12	1	12	1
	東		北	91	31	3	55	2
	関		東	369	147	20	196	6
	中		部	194	58	6	123	7
	近		畿	147	40	7	97	3
	中	国・四	国	98	19	7	70	2
	九		州	116	36	11	67	2
女子	総 数			1988	1046	59	859	24
	総	海	教道	71	39	3	27	2
	北		北	167	79	6	80	2
	東		東	625	337	16	263	9
	関		部	336	196	7	132	1
	中		畿	330	170	12	143	5
	近	国・四	国	209	88	11	106	4
	中		州	250	137	4	108	1
	九							
18~24歳	総		教道	1523	864	47	598	14
	北	海	道	49	32	2	14	1
	東		北	132	67	6	58	1
	関		東	453	261	10	178	4
	中		部	280	172	5	102	1
	近		畿	262	149	12	98	3
	中	国・四	国	169	73	9	84	3
	九		州	178	110	3	64	1
25~34歳	総		教道	465	182	12	261	10
	北	海	道	22	7	1	13	1
	東		北	35	12	-	22	1
	関		東	172	76	6	85	5
	中		部	56	24	2	30	-
	近		畿	68	21	-	45	2
	中	国・四	国	40	15	2	22	1
	九		州	72	27	1	44	-

表3-1 男女年齢4区分別, 異性の友人の有無別, 独身者数

性別 年齢	異性の友人の有無		総数	婚約あり	恋人あり	異性の友達あり	異性の友達なし	その他	不詳
	あり	なし							
男子									
総数			2732	131	467	1006	1006	39	83
18~19歳			494	9	76	205	182	3	19
20~24歳			1138	41	249	461	337	20	30
25~29歳			730	59	106	240	294	12	19
30~34歳			370	22	36	100	193	4	15
女子									
総数			2110	121	383	882	635	37	52
18~19歳			466	7	79	202	164	5	9
20~24歳			1106	72	230	492	276	18	18
25~29歳			373	34	53	146	120	4	16
30~34歳			165	8	21	42	75	10	9

表3-2 男女年齢2区分別, 学歴別, 異性の友人の有無別, 独身者数

性別 年齢	異性の友人の有無		総数	婚約あり	恋人あり	異性の友達あり	異性の友達なし	その他	不詳
	あり	なし							
男子									
総数			2732	131	467	1006	1006	39	83
中学校			277	8	33	73	141	7	15
男女共学の高校			748	31	137	288	260	9	23
男女別学の高校			437	18	63	143	192	5	16
専修学校(高卒後)			191	7	40	70	63	4	7
短大・高専			107	7	14	45	31	6	4
大学以上			912	57	167	371	294	7	16
その他			42	2	9	8	21	1	1
不詳			18	1	4	8	4	-	1
18~24歳									
総数			1632	50	325	666	519	23	49
中学校			99	3	16	31	41	3	5
男女共学の高校			505	15	102	207	161	4	16
男女別学の高校			253	5	50	90	96	2	10
専修学校(高卒後)			127	3	27	51	38	3	5
短大・高専			68	3	10	27	22	4	2
大学以上			541	19	111	250	146	6	9
その他			24	1	6	3	12	1	1
不詳			15	1	3	7	3	-	1
25~34歳									
総数			1100	81	142	340	487	16	34
中学校			178	5	17	42	100	4	10
男女共学の高校			243	16	35	81	99	5	7
男女別学の高校			184	13	13	53	96	3	6
専修学校(高卒後)			64	4	13	19	25	1	2
短大・高専			39	4	4	18	9	2	2
大学以上			371	38	56	121	148	1	7
その他			18	1	3	5	9	-	-
不詳			3	-	1	1	1	-	-
女子									
総数			2110	121	383	882	635	37	52
中学校			116	6	16	27	58	2	7
男女共学の高校			612	28	117	270	168	13	16
男女別学の高校			388	26	79	143	129	4	7
専修学校(高卒後)			236	15	41	91	77	5	7
短大・高専			454	32	83	196	128	7	8
大学以上			259	11	39	140	63	3	3
その他			34	3	7	12	7	3	2
不詳			11	-	1	3	5	-	2
18~24歳									
総数			1572	79	309	694	440	23	27
中学校			57	3	11	18	23	-	2
男女共学の高校			489	22	104	218	129	8	8
男女別学の高校			283	19	64	108	86	2	4
専修学校(高卒後)			170	10	31	69	53	3	4
短大・高専			355	20	65	163	96	5	6
大学以上			188	5	29	106	43	3	2
その他			22	-	4	10	5	2	1
不詳			8	-	1	2	5	-	-
25~34歳									
総数			538	42	74	188	195	14	25
中学校			59	3	5	9	35	2	5
男女共学の高校			123	6	13	52	39	5	8
男女別学の高校			105	7	15	35	43	2	3
専修学校(高卒後)			66	5	10	22	24	2	3
短大・高専			99	12	18	33	32	2	2
大学以上			71	6	10	34	20	-	1
その他			12	3	3	2	2	1	1
不詳			3	-	-	1	-	-	2

表 3 - 3 男女年齢 2 区分別, 職業別, 異性の友人の有無別, 独身者数

性別	年齢	異性の友人の有無 職業	総 数	婚 約 者 あ	恋人あり	異性の友達 あ	異性の友達 な	その他	不 詳
男子									
	総 数	総 数	2732	131	467	1006	1006	39	83
		自 家 営 業	231	13	30	78	97	6	7
		勤め人(管理・専門)	631	44	117	217	226	8	19
		勤め人(事務・販売)	572	41	116	211	179	11	14
		勤め人(現場労働)	537	20	77	181	235	5	19
		臨 時 雇 い	65	2	11	24	24	2	2
		無職・家事手伝い	87	2	8	28	45	-	4
		学 生	580	9	103	261	192	6	9
		不 詳	29	-	5	6	8	1	9
	18~24歳	総 数	1632	50	325	666	519	23	49
		自 家 営 業	84	5	12	31	31	2	3
		勤め人(管理・専門)	262	11	61	104	76	1	9
		勤め人(事務・販売)	296	15	80	117	69	7	8
		勤め人(現場労働)	314	9	52	116	121	5	11
		臨 時 雇 い	41	1	10	18	11	1	-
		無職・家事手伝い	54	-	5	21	24	-	4
		学 生	569	9	103	256	186	6	9
		不 詳	12	-	2	3	1	1	5
	25~34歳	総 数	1100	81	142	340	487	16	34
		自 家 営 業	147	8	18	47	66	4	4
		勤め人(管理・専門)	369	33	56	113	150	7	10
		勤め人(事務・販売)	276	26	36	94	110	4	6
		勤め人(現場労働)	223	11	25	65	114	-	8
		臨 時 雇 い	24	1	1	6	13	1	2
		無職・家事手伝い	33	2	3	7	21	-	-
		学 生	11	-	-	5	6	-	-
		不 詳	17	-	3	3	7	-	4
女子									
	総 数	総 数	2110	121	383	882	635	37	52
		自 家 営 業	58	3	15	21	17	1	1
		勤め人(管理・専門)	374	28	79	156	99	6	6
		勤め人(事務・販売)	901	61	172	402	224	18	24
		勤め人(現場労働)	127	7	24	37	55	2	2
		臨 時 雇 い	78	4	13	38	19	2	2
		無職・家事手伝い	204	14	30	48	98	5	9
		学 生	337	3	41	171	115	3	4
		不 詳	31	1	9	9	8	-	4
	18~24歳	総 数	1572	79	309	694	440	23	27
		自 家 営 業	32	2	12	12	5	-	1
		勤め人(管理・専門)	265	15	61	115	65	4	5
		勤め人(事務・販売)	673	42	140	305	166	10	10
		勤め人(現場労働)	92	5	20	31	35	1	-
		臨 時 雇 い	45	2	9	24	7	1	2
		無職・家事手伝い	116	11	23	32	43	4	3
		学 生	335	2	40	171	115	3	4
		不 詳	14	-	4	4	4	-	2
	25~34歳	総 数	538	42	74	188	195	14	25
		自 家 営 業	26	1	3	9	12	1	-
		勤め人(管理・専門)	109	13	18	41	34	2	1
		勤め人(事務・販売)	228	19	32	97	58	8	14
		勤め人(現場労働)	35	2	4	6	20	1	2
		臨 時 雇 い	33	2	4	14	12	1	-
		無職・家事手伝い	88	3	7	16	55	1	6
		学 生	2	1	1	-	-	-	-
		不 詳	17	1	5	5	4	-	2

表3-4 男女年齢2区分別，現住地の性格（人口集中地区人口規模）別，異性の友人の有無別，独身者数

性別	年齢	異性の友人の有無 現住地の性格	総数	婚約者あり	恋人あり	異性の友達あり	異性の友達なし	その他	不詳
男子									
総数									
		総数	2732	131	467	1006	1006	39	83
		非人口集中地区	994	46	148	342	407	15	36
		人口集中地区10万未満	397	15	71	146	147	6	12
		人口集中地区10～20万	230	9	47	86	75	4	9
		人口集中地区20～50万	322	18	42	135	114	6	7
		人口集中地区50～100万	154	9	32	50	56	1	6
		人口集中地区100～200万	148	10	26	53	53	2	4
		人口集中地区200万以上	487	24	101	194	154	5	9
18～24歳									
		総数	1632	50	325	666	519	23	49
		非人口集中地区	590	21	96	217	225	9	22
		人口集中地区10万未満	228	5	50	100	65	3	5
		人口集中地区10～20万	141	3	36	50	42	2	8
		人口集中地区20～50万	212	6	34	99	64	4	5
		人口集中地区50～100万	105	4	26	39	33	1	2
		人口集中地区100～200万	90	3	17	42	24	1	3
		人口集中地区200万以上	266	8	66	119	66	3	4
25～34歳									
		総数	1100	81	142	340	487	16	34
		非人口集中地区	404	25	52	125	182	6	14
		人口集中地区10万未満	169	10	21	46	82	3	7
		人口集中地区10～20万	89	6	11	36	33	2	1
		人口集中地区20～50万	110	12	8	36	50	2	2
		人口集中地区50～100万	49	5	6	11	23	-	4
		人口集中地区100～200万	58	7	9	11	29	1	1
		人口集中地区200万以上	221	16	35	75	88	2	5
女子									
総数									
		総数	2110	121	383	882	635	37	52
		非人口集中地区	776	39	140	295	260	18	24
		人口集中地区10万未満	364	19	71	145	113	4	12
		人口集中地区10～20万	210	18	28	110	52	1	1
		人口集中地区20～50万	203	12	33	78	70	7	3
		人口集中地区50～100万	117	6	28	51	31	-	1
		人口集中地区100～200万	93	3	13	42	30	-	5
		人口集中地区200万以上	347	24	70	161	79	7	6
18～24歳									
		総数	1572	79	309	694	440	23	27
		非人口集中地区	615	29	117	250	190	13	16
		人口集中地区10万未満	270	9	59	116	79	1	6
		人口集中地区10～20万	168	14	25	95	32	1	1
		人口集中地区20～50万	150	8	28	56	51	5	2
		人口集中地区50～100万	81	4	23	36	18	-	-
		人口集中地区100～200万	65	2	10	29	23	-	1
		人口集中地区200万以上	223	13	47	112	47	3	1
25～34歳									
		総数	538	42	74	188	195	14	25
		非人口集中地区	161	10	23	45	70	5	8
		人口集中地区10万未満	94	10	12	29	34	3	6
		人口集中地区10～20万	42	4	3	15	20	-	-
		人口集中地区20～50万	53	4	5	22	19	2	1
		人口集中地区50～100万	36	2	5	15	13	-	1
		人口集中地区100～200万	28	1	3	13	7	-	4
		人口集中地区200万以上	124	11	23	49	32	4	5

表 3 - 5 男女年齢 2 区分別, 親との同別居別,  
異性の友人の有無別, 独身者数

性別	年齢	異性の友人の有無	親との同別居	総数	婚約者あり	恋人あり	異性の友達あり	異性の友達なし	その他	不詳
男子										
	総数		数	2732	131	467	1006	1006 <sup>b</sup>	39	83
			同居	1901	77	305	684	761	26	48
			別居	770	52	156	309	233	11	9
		の	その他	34	2	6	13	10	2	1
		不詳		27	-	-	-	2	-	25
	18~24歳		数	1632	50	325	666	519	23	49
			同居	1130	28	218	448	391	13	32
			別居	475	21	105	212	126	8	3
		の	その他	11	1	2	6	-	2	-
		不詳		16	-	-	-	2	-	14
	25~34歳		数	1100	81	142	340	487	16	34
			同居	771	49	87	236	370	13	16
			別居	295	31	51	97	107	3	6
		の	その他	23	1	4	7	10	-	1
		不詳		11	-	-	-	-	-	11
女子										
	総数		数	2110	121	383	882	635	37	52
			同居	1730	93	293	733	544	31	36
			別居	355	28	87	145	85	5	5
		の	その他	12	-	3	3	5	1	-
		不詳		13	-	-	1	1	-	11
	18~24歳		数	1572	79	309	694	440	23	27
			同居	1327	64	250	585	387	20	21
			別居	234	15	57	107	50	3	2
		の	その他	6	-	2	1	3	-	-
		不詳		5	-	-	1	-	-	4
	25~34歳		数	538	42	74	188	195	14	25
			同居	403	29	43	148	157	11	15
			別居	121	13	30	38	35	2	3
		の	その他	6	-	1	2	2	1	-
		不詳		8	-	-	-	1	-	7

表3-6 男女年齢2区分別，地方ブロック別，  
異性の友人の有無別，独身者数

性別	異性の友人の有無		総数	婚約者あり	恋人あり	異性の友達あり	異性の友達なし	その他	不詳
	年齢	地方ブロック							
男子									
	総数	教道	2732	131	467	1006	1006	39	83
		海	82	8	17	23	32	1	1
		北	231	12	38	81	88	3	9
		東	889	45	169	330	309	12	24
		関	492	21	78	185	183	6	19
		中	454	20	71	176	169	4	14
		近	255	12	41	102	94	3	3
		国・四	329	13	53	109	131	10	13
	18~24歳	教道	1632	50	325	666	519	23	49
		海	56	4	11	17	22	1	1
		北	136	5	28	49	45	3	6
		東	500	11	120	199	149	7	14
		関	283	7	50	118	96	2	10
		中	300	11	46	137	93	3	10
		近	150	6	29	63	49	2	1
		国・四	207	6	41	83	65	5	7
	25~34歳	教道	1100	81	142	340	487	16	34
		海	26	4	6	6	10	-	-
		北	95	7	10	32	43	-	3
		東	389	34	49	131	160	5	10
		関	209	14	28	67	87	4	9
		中	154	9	25	39	76	1	4
		近	105	6	12	39	45	1	2
		国・四	122	7	12	26	66	5	6
	25~34歳	教道	2110	121	383	882	635	37	52
		海	75	6	12	29	25	-	3
		北	184	6	42	74	48	5	9
		東	667	44	126	311	166	9	11
		関	348	23	69	140	104	4	8
		中	351	25	59	138	114	6	9
		近	219	8	28	81	90	8	4
		国・四	266	9	47	109	88	5	8
	18~24歳	教道	1572	79	309	694	440	23	27
		海	51	4	11	22	12	-	2
		北	137	3	32	64	30	2	6
		東	477	32	97	225	111	7	5
		関	287	18	62	122	79	2	4
		中	267	15	49	113	82	4	4
		近	171	3	22	69	71	5	1
		国・四	182	4	36	79	55	3	5
	25~34歳	教道	538	42	74	188	195	14	25
		海	24	2	1	7	13	-	1
		北	47	3	10	10	18	3	3
		東	190	12	29	86	55	2	6
		関	61	5	7	18	25	2	4
		中	84	10	10	25	32	2	5
		近	48	5	6	12	19	3	3
		国・四	84	5	11	30	33	2	3



表4-1 男女年齢4区分別，異性の友人と知りあったきっかけ（異性の友人がある者のみ，複数回答も含む）別，独身者数

性別	年齢	知りあったきっかけ		隣人関係	地域のサークル	友人の紹介	見合	結婚相談所	偶然的に出会い	アルバイト	不詳	
		総数	学校									
男子												
総数		1604	496	353	94	211	292	35	2	212	10	51
18~19歳		290	166	18	21	29	47	1	-	33	2	4
20~24歳		751	269	140	43	91	146	6	2	99	8	23
25~29歳		405	55	141	20	68	70	17	-	53	-	17
30~34歳		158	6	54	10	23	29	11	-	27	-	7
女子												
総数		1386	404	451	79	176	233	38	-	129	15	43
18~19歳		288	124	55	15	32	56	1	-	33	2	15
20~24歳		794	245	251	45	109	132	16	-	77	13	19
25~29歳		233	32	112	14	26	39	15	-	12	-	6
30~34歳		71	3	33	5	9	6	6	-	7	-	3

表4-2 男女年齢2区分別，学歴別，異性の友人と知りあったきっかけ（異性の友人がある者のみ，複数回答も含む）別，独身者数

性別	年齢	知りあったきっかけ		隣人関係	地域のサークル	友人の紹介	見合	結婚相談所	偶然的に出会い	アルバイト	不詳	
		総数	学校									
男子												
総数		1604	496	353	94	211	292	35	2	212	10	51
中学校		114	7	25	7	12	22	4	1	30	-	10
男女共学の高校		456	130	121	31	50	76	9	1	64	2	13
男女別学の高校		224	30	56	19	33	59	5	-	32	2	6
専修学校(高卒後)		117	44	19	8	13	20	2	-	13	-	2
短大・高専		66	23	14	4	10	16	1	-	4	-	2
大学以上		595	255	112	24	90	92	14	-	61	6	15
その他		19	2	3	1	2	4	-	-	7	-	2
不詳		13	5	3	-	1	3	-	-	1	-	1
18~24歳												
総数		1041	435	158	64	120	193	7	2	132	10	27
中学校		50	6	8	5	5	13	1	1	11	-	2
男女共学の高校		324	123	70	22	33	55	3	1	40	2	8
男女別学の高校		145	29	27	15	14	40	-	-	25	2	6
専修学校(高卒後)		81	40	7	4	6	13	1	-	9	-	2
短大・高専		40	20	6	4	3	7	1	-	2	-	2
大学以上		380	211	38	14	57	58	1	-	41	6	5
その他		10	1	-	-	1	4	-	-	4	-	1
不詳		11	5	2	-	1	3	-	-	-	-	1
25~34歳												
総数		563	61	195	30	91	99	28	-	80	-	24
中学校		64	1	17	2	7	9	3	-	19	-	8
男女共学の高校		132	7	51	9	17	21	6	-	24	-	5
男女別学の高校		79	1	29	4	19	19	5	-	7	-	-
専修学校(高卒後)		36	4	12	4	7	7	1	-	4	-	-
短大・高専		26	3	8	-	7	9	-	-	2	-	-
大学以上		215	44	74	10	33	34	13	-	20	-	10
その他		9	1	3	1	1	-	-	-	3	-	1
不詳		2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
女子												
総数		1386	404	451	79	176	233	38	-	129	15	43
中学校		49	5	21	5	2	5	3	-	8	-	3
男女共学の高校		415	117	156	25	45	68	8	-	42	2	12
男女別学の高校		248	23	109	16	21	53	5	-	25	4	5
専修学校(高卒後)		147	45	34	6	21	28	3	-	19	1	7
短大・高専		311	91	90	14	55	55	15	-	26	7	10
大学以上		190	119	38	12	29	17	3	-	4	1	3
その他		22	3	3	1	3	7	1	-	3	-	2
不詳		4	1	-	-	-	-	-	-	2	-	1
18~24歳												
総数		1082	369	306	60	141	188	17	-	110	15	34
中学校		32	5	9	2	2	3	2	-	8	-	3
男女共学の高校		344	109	124	21	38	61	2	-	37	2	9
男女別学の高校		191	22	77	11	17	43	2	-	21	4	4
専修学校(高卒後)		110	42	19	4	16	20	1	-	13	1	5
短大・高専		248	87	59	11	46	43	8	-	23	7	9
大学以上		140	102	16	10	20	13	2	-	4	1	2
その他		14	2	2	1	2	5	-	-	2	-	1
不詳		3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
25~34歳												
総数		304	35	145	19	35	45	21	-	19	-	9
中学校		17	-	12	3	-	2	1	-	-	-	-
男女共学の高校		71	8	32	4	7	7	6	-	5	-	3
男女別学の高校		57	1	32	5	4	10	3	-	4	-	1
専修学校(高卒後)		37	3	15	2	5	8	2	-	6	-	2
短大・高専		63	4	31	3	9	12	7	-	3	-	1
大学以上		50	17	22	2	9	4	1	-	-	-	1
その他		8	1	1	-	1	2	1	-	1	-	1
不詳		1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表4-3 男女年齢2区分別，職業別，異性の友人と知りあったきっかけ（異性の友人がある者のみ，複数回答も含む）別，独身者数

性別	年齢	職業	知りあったきっかけ	総数	学校	職場	隣人関係	地域のサークル	友人の紹介	見合	結婚相談所	偶然の出会い	アルバイト	不詳
男子														
総数														
		総数		1604	496	353	94	211	292	35	2	212	10	51
		自家営業		121	20	14	8	29	26	6	-	22	-	5
		勤め人(管理・専門)		378	75	101	25	52	95	12	-	53	2	15
		勤め人(事務・販売)		368	87	144	20	41	46	5	1	38	1	11
		勤め人(現場労働)		278	57	63	14	32	57	11	1	44	1	13
		臨時雇い		37	11	12	5	3	3	-	-	6	-	1
		無職・家事手伝い		38	9	4	2	4	8	-	-	13	1	2
		学生		373	237	11	19	50	54	1	-	33	5	4
		不詳		11	-	4	1	-	3	-	-	3	-	-
18~24歳														
		総数		1041	435	158	64	120	193	7	2	132	10	27
		自家営業		48	15	3	4	8	13	1	-	7	-	3
		勤め人(管理・専門)		176	49	37	14	18	52	2	-	27	2	5
		勤め人(事務・販売)		212	70	67	13	23	21	1	1	20	1	8
		勤め人(現場労働)		177	52	30	9	15	43	2	1	28	1	5
		臨時雇い		29	9	7	4	3	2	-	-	6	-	1
		無職・家事手伝い		26	8	2	1	3	6	-	-	9	1	1
		学生		368	232	11	19	50	54	1	-	33	5	4
		不詳		5	-	1	-	-	2	-	-	2	-	-
25~34歳														
		総数		563	61	195	30	91	99	28	-	80	-	24
		自家営業		73	5	11	4	21	13	5	-	15	-	2
		勤め人(管理・専門)		202	26	64	11	34	43	10	-	26	-	10
		勤め人(事務・販売)		156	17	77	7	18	25	4	-	18	-	3
		勤め人(現場労働)		101	5	33	5	17	14	9	-	16	-	8
		臨時雇い		8	2	5	1	-	1	-	-	-	-	1
		無職・家事手伝い		12	1	2	1	1	2	-	-	4	-	1
		学生		5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		不詳		6	-	3	1	-	1	-	-	1	-	-
女子														
総数														
		総数		1386	404	451	79	176	233	38	-	129	15	43
		自家営業		39	9	6	5	8	5	3	-	4	1	2
		勤め人(管理・専門)		263	62	83	9	34	47	8	-	32	4	11
		勤め人(事務・販売)		635	138	271	42	83	113	14	-	47	5	14
		勤め人(現場労働)		68	11	29	2	3	15	4	-	7	1	2
		臨時雇い		55	12	28	2	6	4	1	-	4	-	4
		無職・家事手伝い		92	19	19	6	9	19	6	-	17	1	2
		学生		215	150	8	11	33	25	2	-	16	3	6
		不詳		19	3	7	2	-	5	-	-	2	-	2
18~24歳														
		総数		1082	369	306	60	141	188	17	-	110	15	34
		自家営業		26	7	5	2	5	3	2	-	3	1	1
		勤め人(管理・専門)		191	50	49	8	24	33	3	-	28	4	10
		勤め人(事務・販売)		487	123	190	31	67	94	5	-	39	5	12
		勤め人(現場労働)		56	10	23	2	3	12	3	-	6	1	2
		臨時雇い		35	11	17	1	3	4	-	-	4	-	1
		無職・家事手伝い		66	16	14	4	6	15	2	-	13	1	1
		学生		213	150	6	11	33	25	2	-	16	3	6
		不詳		8	2	2	1	-	2	-	-	1	-	1
25~34歳														
		総数		304	35	145	19	35	45	21	-	19	-	9
		自家営業		13	2	1	3	3	2	1	-	1	-	1
		勤め人(管理・専門)		72	12	34	1	10	14	5	-	4	-	1
		勤め人(事務・販売)		148	15	81	11	16	19	9	-	8	-	2
		勤め人(現場労働)		12	1	6	-	-	3	1	-	1	-	-
		臨時雇い		20	1	11	1	3	-	1	-	-	-	3
		無職・家事手伝い		26	3	5	2	3	4	4	-	4	-	1
		学生		2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
		不詳		11	1	5	1	-	3	-	-	1	-	1

表5-1 男女年齢6区分別, 希望結婚年齢別, 独身者数

性別	希望結婚年齢	総数	希望結婚年齢											不詳	平均希望結婚年齢	
			20歳以下	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳			31歳以上
男子	総数	2620	5	6	20	66	68	344	234	283	411	62	571	372	178	28.32
	18~19歳	474	5	4	11	36	26	127	57	52	53	7	70	3	23	26.24
	20~22歳	690	-	2	9	27	33	156	92	97	112	3	105	12	42	26.77
	23~25歳	591	-	-	-	3	9	61	80	106	144	15	137	7	29	27.71
	26~28歳	440	-	-	-	-	-	-	5	28	102	33	214	27	31	29.36
	29~31歳	259	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	45	174	36	32.19
	32~34歳	166	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	149	17	34.97
女子	総数	1988	20	39	103	344	236	452	142	119	104	23	174	111	121	25.61
	18~19歳	445	16	32	49	154	54	86	14	12	7	1	6	-	14	23.54
	20~22歳	726	4	7	54	176	136	209	41	28	21	3	23	1	23	24.43
	23~25歳	453	-	-	-	14	46	157	80	55	35	5	37	2	22	26.03
	26~28歳	202	-	-	-	-	-	-	7	24	41	13	83	8	26	29.03
	29~31歳	91	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	25	49	16	31.93
	32~34歳	71	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51	20	34.65

表5-2 男女年齢2区分別, 学歴別, 希望結婚年齢別, 独身者数

性別	年齢	希望結婚年齢	学歴	総数	希望結婚年齢											不詳	平均希望結婚年齢				
					20歳以下	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳			31歳以上			
男子	総数	総数	数	2620	5	6	20	66	68	344	234	283	411	62	571	372	178	28.32			
			中学校	259	-	1	-	7	7	26	14	12	29	5	48	82	28	29.99			
			男女共学の高校	717	3	2	10	25	25	129	65	77	103	16	128	82	52	27.74			
			男女別学の高校	421	1	2	4	19	15	60	38	44	48	11	87	61	31	28.06			
			専修学校(高卒後)	182	-	1	1	1	6	24	24	27	22	4	37	23	12	28.11			
			短大・高専	104	-	-	-	1	2	14	9	16	21	3	21	8	9	27.98			
			大学以上	882	1	-	3	9	12	82	81	104	182	23	238	108	39	28.54			
			大卒	39	-	-	-	2	1	3	2	2	5	-	11	7	6	29.00			
			その他	16	-	-	2	2	-	6	1	1	1	-	1	1	1	25.67			
			18~25歳	総数	総数	数	1755	5	6	20	66	68	344	229	255	309	25	312	22	94	26.94
						中学校	111	-	1	-	7	7	26	13	11	18	2	14	1	11	26.57
						男女共学の高校	526	3	2	10	25	25	129	64	71	83	5	78	1	30	26.51
						男女別学の高校	272	1	2	4	19	15	60	37	40	34	2	42	3	13	26.52
						専修学校(高卒後)	134	-	1	1	1	6	24	24	26	19	1	20	2	9	26.90
短大・高専	75	-				-	-	1	2	14	8	15	18	1	10	-	6	27.06			
大学以上	602	1				-	3	9	12	82	80	89	133	14	142	15	22	27.61			
大卒	21	-				-	-	2	1	3	2	2	3	-	5	-	3	26.94			
その他	14	-				-	2	2	-	6	1	1	1	-	1	-	-	25.07			
26~34歳	総数	総数				数	865	-	-	-	-	-	-	5	28	102	37	259	350	84	31.24
						中学校	148	-	-	-	-	-	-	1	1	11	3	34	81	17	32.60
						男女共学の高校	191	-	-	-	-	-	-	1	6	20	11	50	81	22	31.36
						男女別学の高校	149	-	-	-	-	-	-	1	4	14	9	45	58	18	31.10
						専修学校(高卒後)	48	-	-	-	-	-	-	-	1	3	3	17	21	3	31.49
			短大・高専	29	-	-	-	-	-	-	1	1	3	2	11	8	3	30.42			
			大学以上	280	-	-	-	-	-	-	1	15	49	9	96	93	17	30.58			
			大卒	18	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	7	3	31.47			
			その他	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	34.00			
			女子	総数	総数	数	1988	20	39	103	344	236	452	142	119	104	23	174	111	121	25.61
						中学校	92	2	3	3	10	5	19	6	2	4	1	11	17	9	27.17
						男女共学の高校	586	5	21	47	129	78	112	39	26	25	3	37	32	32	25.11
						男女別学の高校	365	10	10	26	78	38	78	24	11	16	4	32	20	18	25.21
						専修学校(高卒後)	225	2	2	6	33	21	57	14	16	13	4	25	16	16	26.16
短大・高専	433	-				2	17	76	65	114	26	35	19	5	33	16	25	25.50			
大学以上	247	1				-	2	11	27	65	29	28	24	3	34	9	14	26.54			
大卒	30	-				1	2	4	2	3	4	1	2	3	2	1	5	25.80			
その他	10	-				-	-	3	-	4	-	-	1	-	-	-	2	24.63			
18~22歳	総数	総数				数	1171	20	39	103	330	190	295	55	40	28	4	29	1	37	24.09
						中学校	42	2	3	3	9	3	15	3	-	1	1	1	-	1	24.10
						男女共学の高校	395	5	21	47	124	69	81	14	6	8	1	6	-	13	23.73
						男女別学の高校	213	10	10	26	75	28	47	5	2	3	-	2	-	5	23.45
						専修学校(高卒後)	120	2	2	6	30	18	35	5	8	1	2	5	-	6	24.50
			短大・高専	250	-	2	17	74	45	69	10	11	6	-	8	1	7	24.37			
			大学以上	130	1	-	2	11	25	43	18	13	7	-	7	-	3	25.33			
			大卒	14	-	1	2	4	2	2	-	-	1	-	-	-	2	23.58			
			その他	7	-	-	-	3	-	3	-	-	1	-	-	-	-	24.57			
			23~34歳	総数	総数	数	817	-	-	-	14	46	157	87	79	76	19	145	110	84	27.96
						中学校	50	-	-	-	1	2	4	3	2	3	-	10	17	8	30.17
						男女共学の高校	191	-	-	-	5	9	31	25	20	17	2	31	32	19	28.17
						男女別学の高校	152	-	-	-	3	10	31	19	9	13	4	30	20	13	27.84
						専修学校(高卒後)	105	-	-	-	3	3	22	9	8	12	2	20	16	10	28.15
短大・高専	183	-				-	-	2	20	45	16	24	13	5	25	15	18	27.17			
大学以上	117	-				-	-	-	2	22	11	15	17	3	27	9	11	27.99			
大卒	16	-				-	-	-	-	1	4	1	1	3	2	1	3	27.85			
その他	3	-				-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	25.00			

表5-3 男女年齢2区分別, 職業別, 希望結婚年齢別, 独身者数

性別	年齢	職業	希望結婚年齢													不詳	平均希望結婚年齢
			総数	20歳以下	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳	31歳以上		
<b>男子</b>																	
総数			2620	5	6	20	66	68	344	234	283	411	62	571	372	178	28.32
自家営業			224	-	-	-	6	2	17	16	25	28	9	48	58	15	29.42
勤め人(管理・専門)			613	-	2	3	9	18	54	49	68	99	13	143	107	48	28.73
勤め人(事務・販売)			549	2	1	1	14	11	71	44	49	97	22	114	88	35	28.50
勤め人(現場労働)			515	2	2	10	20	19	82	46	44	69	8	103	73	37	28.02
臨時雇い			63	-	-	-	-	2	6	4	3	14	2	15	15	2	29.57
無職・家事手伝い			77	-	-	-	-	3	2	7	8	9	1	19	11	9	28.53
学生			557	1	1	6	12	14	106	66	81	93	7	126	15	29	27.35
不詳			22	-	-	-	2	-	1	1	5	2	-	3	5	3	28.58
<b>18~25歳</b>																	
総数			1755	5	6	20	66	68	344	229	255	309	25	312	22	94	26.94
自家営業			102	-	-	-	6	2	17	15	21	18	2	17	-	4	26.94
勤め人(管理・専門)			328	-	2	3	9	18	54	47	56	56	4	56	3	20	26.94
勤め人(事務・販売)			329	2	1	1	14	11	71	44	41	71	7	47	1	18	26.78
勤め人(現場労働)			332	2	2	10	20	19	82	45	40	48	3	41	1	19	26.26
臨時雇い			44	-	-	-	-	2	6	4	3	13	2	12	1	1	27.91
無職・家事手伝い			56	-	-	-	-	3	2	7	7	8	9	-	14	2	27.48
学生			552	1	1	6	12	14	106	66	81	92	7	124	14	28	27.33
不詳			12	-	-	-	2	-	1	1	5	2	-	1	-	-	26.50
<b>26~34歳</b>																	
総数			865	-	-	-	-	-	-	5	28	102	37	259	350	84	31.24
自家営業			122	-	-	-	-	-	-	1	4	10	7	31	58	11	31.61
勤め人(管理・専門)			285	-	-	-	-	-	-	2	12	43	9	87	104	28	30.88
勤め人(事務・販売)			220	-	-	-	-	-	-	-	8	26	15	67	87	17	31.12
勤め人(現場労働)			183	-	-	-	-	-	-	1	4	21	5	62	72	18	31.36
臨時雇い			19	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	14	1	33.56
無職・家事手伝い			21	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	5	9	31.94
学生			5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	1	1	30.25
不詳			10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	3	32.14
<b>女子</b>																	
総数			1988	20	39	103	344	236	452	142	119	104	23	174	111	121	25.61
自家営業			54	1	2	2	7	3	11	3	1	4	1	3	9	7	26.85
勤め人(管理・専門)			360	1	6	11	44	40	90	30	32	15	7	38	17	29	26.00
勤め人(事務・販売)			866	9	19	57	165	107	188	61	44	46	9	72	47	42	25.43
勤め人(現場労働)			115	1	2	7	23	18	25	9	6	3	2	7	5	7	25.23
臨時雇い			72	1	1	3	9	4	11	5	4	9	1	10	8	6	26.74
無職・家事手伝い			177	3	4	6	23	17	28	11	13	14	2	26	17	13	26.52
学生			318	4	5	16	70	47	92	23	19	12	1	15	1	13	24.70
不詳			26	-	-	1	3	-	7	-	-	1	-	3	7	4	28.05
<b>18~22歳</b>																	
総数			1171	20	39	103	330	190	295	55	40	28	4	29	1	37	24.09
自家営業			24	1	2	2	7	3	7	2	-	-	-	-	-	-	23.58
勤め人(管理・専門)			159	1	6	11	41	31	40	8	7	1	-	5	-	8	24.17
勤め人(事務・販売)			509	9	19	57	156	84	122	19	10	9	1	9	1	13	23.85
勤め人(現場労働)			68	1	2	7	23	11	17	2	1	2	2	-	-	-	23.93
臨時雇い			29	1	1	3	8	3	5	1	1	2	-	2	-	2	24.33
無職・家事手伝い			66	3	4	6	22	11	10	2	3	3	-	1	-	1	23.74
学生			307	4	5	16	70	47	90	21	18	11	1	12	-	12	24.59
不詳			9	-	-	1	3	-	4	-	-	-	-	-	-	1	23.88
<b>23~34歳</b>																	
総数			817	-	-	-	14	46	157	87	79	76	19	145	110	84	27.96
自家営業			30	-	-	-	-	-	4	1	1	4	1	3	9	7	30.26
勤め人(管理・専門)			201	-	-	-	3	9	50	22	25	14	7	33	17	21	27.53
勤め人(事務・販売)			357	-	-	-	9	23	66	42	34	37	8	63	46	29	27.82
勤め人(現場労働)			47	-	-	-	-	7	8	7	5	1	-	7	5	7	27.45
臨時雇い			43	-	-	-	1	1	6	4	3	7	1	8	8	4	28.41
無職・家事手伝い			111	-	-	-	1	6	18	9	10	11	2	25	17	12	28.34
学生			11	-	-	-	-	-	2	2	1	1	-	3	1	1	27.80
不詳			17	-	-	-	-	-	3	-	-	1	-	3	7	3	30.43

表5-4 男女年齢2区分別，現住地の性格（人口集中地区人口規模）別，希望結婚年齢別，独身者数

性別	年齢	希望結婚年齢	現住地の性格	総数	20歳以下	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳	31歳以上	不詳	平均希望結婚年齢
男子																		
総数																		
	総数			2620	5	6	20	66	68	344	234	283	411	62	571	372	178	28.32
	非人口集中地区			954	1	3	12	30	32	148	102	108	137	20	177	111	73	27.82
	人口集中地区10万未満			376	-	2	2	7	4	51	34	41	72	11	79	47	26	28.24
	人口集中地区10~20万			217	1	-	1	6	6	28	20	26	25	10	50	33	11	28.48
	人口集中地区20~50万			312	2	-	-	6	9	36	18	43	54	9	79	36	20	28.40
	人口集中地区50~100万			148	1	-	-	8	5	23	14	8	25	2	36	16	10	27.95
	人口集中地区100~200万			145	-	1	-	4	5	11	12	15	28	2	34	22	11	28.60
	人口集中地区200万以上			468	-	-	5	5	7	47	34	42	70	8	116	107	27	29.26
18~25歳																		
	総数			1755	5	6	20	66	68	344	229	255	309	25	312	22	94	26.94
	非人口集中地区			647	1	3	12	30	32	148	98	96	97	2	89	3	36	26.51
	人口集中地区10万未満			246	-	2	2	7	4	51	33	34	56	6	38	2	11	26.99
	人口集中地区10~20万			144	1	-	1	6	6	28	20	25	16	6	27	4	4	27.07
	人口集中地区20~50万			223	2	-	-	6	9	36	18	39	39	2	54	6	12	27.47
	人口集中地区50~100万			110	1	-	-	8	5	23	14	8	21	1	23	1	5	26.83
	人口集中地区100~200万			99	-	1	-	4	5	11	12	14	23	2	18	-	9	27.11
	人口集中地区200万以上			286	-	-	5	5	7	47	34	39	57	6	63	6	17	27.40
26~34歳																		
	総数			865	-	-	-	-	-	-	5	28	102	37	259	350	84	31.24
	非人口集中地区			307	-	-	-	-	-	-	4	12	40	18	88	108	37	30.80
	人口集中地区10万未満			130	-	-	-	-	-	-	1	7	16	5	41	45	15	30.80
	人口集中地区10~20万			73	-	-	-	-	-	-	-	1	9	4	23	29	7	31.45
	人口集中地区20~50万			89	-	-	-	-	-	-	-	4	15	7	25	30	8	30.83
	人口集中地区50~100万			38	-	-	-	-	-	-	-	4	1	13	15	5	31.52	
	人口集中地区100~200万			46	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	16	22	2	31.64
	人口集中地区200万以上			182	-	-	-	-	-	-	-	3	13	2	53	101	10	32.18
女子																		
総数																		
	総数			1988	20	39	103	344	236	452	142	119	104	23	174	111	121	25.61
	非人口集中地区			741	5	18	48	150	93	184	56	38	32	6	43	28	40	25.13
	人口集中地区10万未満			342	6	6	16	73	38	66	21	21	16	7	28	17	27	25.41
	人口集中地区10~20万			200	1	7	10	30	26	53	19	8	5	2	18	12	9	25.60
	人口集中地区20~50万			195	2	1	7	32	29	44	6	14	16	2	25	8	9	25.81
	人口集中地区50~100万			106	3	3	4	13	12	25	4	9	5	2	14	7	5	25.96
	人口集中地区100~200万			86	2	1	4	5	9	24	9	6	5	1	8	4	8	25.94
	人口集中地区200万以上			318	1	3	14	41	29	56	27	23	25	3	38	35	23	26.64
18~22歳																		
	総数			1171	20	39	103	330	190	295	55	40	28	4	29	1	37	24.09
	非人口集中地区			439	5	18	48	138	73	107	20	9	5	1	3	-	12	23.79
	人口集中地区10万未満			224	6	6	16	72	34	50	7	10	6	2	5	-	10	24.04
	人口集中地区10~20万			125	1	7	10	30	19	36	8	5	1	-	4	1	3	24.24
	人口集中地区20~50万			116	2	1	7	32	24	27	4	5	5	-	7	-	2	24.48
	人口集中地区50~100万			58	3	3	4	13	8	19	2	2	1	1	-	-	2	23.93
	人口集中地区100~200万			45	2	1	4	4	9	18	3	1	2	-	1	-	-	24.38
	人口集中地区200万以上			164	1	3	14	41	23	38	11	8	8	-	9	-	8	24.56
23~34歳																		
	総数			817	-	-	-	14	46	157	87	79	76	19	145	110	84	27.96
	非人口集中地区			302	-	-	-	12	20	77	36	29	27	5	40	28	28	27.21
	人口集中地区10万未満			118	-	-	-	1	4	16	14	11	10	5	23	17	17	28.31
	人口集中地区10~20万			75	-	-	-	-	7	17	11	3	4	2	14	11	6	28.01
	人口集中地区20~50万			79	-	-	-	-	5	17	2	9	11	2	18	8	7	27.90
	人口集中地区50~100万			48	-	-	-	-	4	6	2	7	4	1	14	7	3	28.49
	人口集中地区100~200万			41	-	-	-	1	-	6	6	5	3	1	7	4	8	28.06
	人口集中地区200万以上			154	-	-	-	-	6	18	16	15	17	3	29	35	15	28.98

表5-5 男女年齢2区分別，地方ブロック別，希望結婚年齢別，独身者数

性別 年齢	希望結婚年齢 地方ブロック	総数	希望結婚年齢											不詳	平均希望 結婚年齢	
			20歳以下	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳			31歳以上
<b>男子</b>																
総数	数	2620	5	6	20	66	68	344	234	283	411	62	571	372	178	28.32
北海道	数	80	-	1	2	4	2	15	8	7	4	-	21	9	7	27.75
東北	数	224	-	-	3	6	15	39	19	28	17	6	38	31	22	27.74
関東	数	850	1	1	7	16	16	92	70	78	128	18	208	168	47	28.90
中部	数	468	-	1	6	13	9	66	47	51	86	11	103	41	34	27.87
近畿	数	437	3	1	-	9	19	51	36	52	81	8	93	59	25	28.35
中国・四国	数	245	-	-	2	5	4	38	20	39	42	7	41	30	17	28.14
九州	数	316	1	2	-	13	3	43	34	28	53	12	67	34	26	28.02
<b>18~25歳</b>																
総数	数	1755	5	6	20	66	68	344	229	255	309	25	312	22	94	26.94
北海道	数	60	-	1	2	4	2	15	8	6	4	-	11	1	6	26.43
東北	数	151	-	-	3	6	15	39	18	27	13	3	17	2	8	26.38
関東	数	538	1	1	7	16	16	92	69	70	96	8	118	15	29	27.33
中部	数	311	-	1	6	13	9	66	47	45	59	3	47	1	14	26.72
近畿	数	314	3	1	-	9	19	51	36	50	65	8	56	1	15	27.00
中国・四国	数	160	-	-	2	5	4	38	20	31	28	1	20	1	10	26.73
九州	数	221	1	2	-	13	3	43	31	26	44	2	43	1	12	26.92
<b>26~34歳</b>																
総数	数	865	-	-	-	-	-	-	5	28	102	37	259	350	84	31.24
北海道	数	20	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	10	8	1	31.53
東北	数	73	-	-	-	-	-	-	1	1	4	3	21	29	14	31.03
関東	数	312	-	-	-	-	-	-	1	8	32	10	90	153	18	31.62
中部	数	157	-	-	-	-	-	-	-	6	27	8	56	40	20	30.37
近畿	数	123	-	-	-	-	-	-	-	2	16	-	37	58	10	31.92
中国・四国	数	85	-	-	-	-	-	-	-	8	14	6	21	29	7	30.83
九州	数	95	-	-	-	-	-	-	3	2	9	10	24	33	14	30.85
<b>女子</b>																
総数	数	1988	20	39	103	344	236	452	142	119	104	23	174	111	121	25.61
北海道	数	71	1	-	3	11	5	10	4	8	1	-	7	11	10	27.02
東北	数	167	2	-	11	30	22	47	13	8	8	4	14	4	4	25.28
関東	数	625	5	9	26	96	67	135	47	45	38	10	63	43	41	25.98
中部	数	336	2	12	24	76	41	74	23	11	13	3	24	11	22	24.96
近畿	数	330	6	6	15	48	43	78	34	17	22	2	27	17	15	25.63
中国・四国	数	209	2	6	13	40	30	52	9	9	9	1	15	5	18	24.95
九州	数	250	2	6	11	43	28	56	12	21	13	3	24	20	11	25.92
<b>18~22歳</b>																
総数	数	1171	20	39	103	330	190	295	55	40	28	4	29	1	37	24.09
北海道	数	38	1	-	3	9	5	9	2	3	-	-	1	1	4	24.59
東北	数	97	2	-	11	30	17	27	2	1	4	1	2	-	-	24.07
関東	数	353	5	9	26	93	61	86	20	16	10	1	15	-	11	24.33
中部	数	219	2	12	24	72	25	49	13	7	2	1	5	-	7	23.88
近畿	数	204	6	6	15	46	35	59	12	8	7	-	4	-	6	24.20
中国・四国	数	124	2	6	13	38	22	30	2	2	3	-	1	-	5	23.73
九州	数	136	2	6	11	42	25	35	4	3	2	1	1	-	4	23.86
<b>23~34歳</b>																
総数	数	817	-	-	-	14	46	157	87	79	76	19	145	110	84	27.96
北海道	数	33	-	-	-	2	-	1	2	5	1	-	6	10	6	30.07
東北	数	70	-	-	-	5	20	11	7	4	3	12	4	4	27.06	
関東	数	272	-	-	-	3	6	49	27	29	28	9	48	43	30	28.32
中部	数	117	-	-	-	4	16	25	10	4	11	2	19	11	15	27.22
近畿	数	126	-	-	-	2	8	19	22	9	15	2	23	17	9	28.03
中国・四国	数	85	-	-	-	2	8	22	7	7	6	1	14	5	13	26.96
九州	数	114	-	-	-	1	3	21	8	18	11	2	23	20	7	28.46

表5-6 男女年齢6区分別，希望夫妻年齢差別，独身者数

性別 年齢	希望夫妻 年齢差	総数	希望夫妻年齢差別								不詳	平均夫妻 年齢差	
			妻が2歳以上年上	妻が1歳以上	夫と妻が同年齢	夫が1歳以上	夫が2歳以上	夫が3歳以上	夫が4歳以上	夫が5歳以上			夫が6歳以上年上
<b>男子</b>													
総数	数	2620	18	18	171	107	312	390	296	552	531	225	4.08
18~19歳	数	474	5	3	58	39	103	82	50	70	34	30	2.85
20~22歳	数	690	5	7	62	39	113	141	80	111	75	57	3.34
23~25歳	数	591	2	8	37	26	71	107	85	142	69	44	3.70
26~28歳	数	440	5	-	12	2	20	47	63	145	109	37	4.75
29~31歳	数	259	1	-	2	-	5	10	14	57	131	39	6.28
32~34歳	数	166	-	-	-	1	-	3	4	27	113	18	7.30
<b>女子</b>													
総数	数	1988	31	7	167	111	391	474	241	287	118	161	2.99
18~19歳	数	445	4	-	20	29	98	118	62	60	30	24	3.19
20~22歳	数	726	7	3	53	37	141	188	92	118	47	40	3.12
23~25歳	数	453	5	3	34	26	91	110	59	72	25	28	3.10
26~28歳	数	202	8	1	31	9	38	34	19	19	13	30	2.44
29~31歳	数	91	5	-	18	4	11	16	6	10	3	18	2.11
32~34歳	数	71	2	-	11	6	12	8	3	8	-	21	1.98

表6-1 男女年齢4区分別，自分の親との同居志向別，独身者数

性別 年齢	自分の親との同居志向	総数	同居志向別						
			結婚直後から同居したい	しばらくしたら同居したい	親の老後に同居したい	同居したくない	その他	不必要・不可能	不詳
男子									
総数		2620	626	599	626	473	141	62	93
18～19歳		474	94	124	113	97	22	3	21
20～24歳		1105	233	261	288	201	62	22	38
25～29歳		699	193	149	159	111	42	25	20
30～34歳		342	106	65	66	64	15	12	14
女子									
総数		1988	181	334	631	500	163	91	88
18～19歳		445	40	69	149	122	33	15	17
20～24歳		1078	92	193	338	276	80	52	47
25～29歳		345	38	54	109	76	33	17	18
30～34歳		120	11	18	35	26	17	7	6

表6-2 男女年齢2区分別，続柄別，自分の親との同居志向別，独身者数

性別 年齢	自分の親との同居志向	続柄	総数	同居志向別						
				結婚直後から同居したい	しばらくしたら同居したい	親の老後に同居したい	同居したくない	その他	不必要・不可能	不詳
男子										
総数			2620	626	599	626	473	141	62	93
一人っ子			199	53	60	44	22	11	1	8
長男(長子)			901	245	234	259	99	33	4	27
長男(中間子)			223	77	67	53	15	4	-	7
長男(末子)			383	144	105	85	27	12	1	9
長男以外(末子)			609	64	100	126	203	51	36	29
長男以外(中間子)			305	43	33	59	107	30	20	13
不詳			-	-	-	-	-	-	-	-
18～24歳			1579	327	385	401	298	84	25	59
一人っ子			136	34	42	35	14	8	-	3
長男(長子)			581	137	167	162	71	22	2	20
長男(中間子)			90	28	27	21	7	2	-	5
長男(末子)			254	82	73	67	16	9	1	6
長男以外(末子)			380	34	60	87	132	31	18	18
長男以外(中間子)			138	12	16	29	58	12	4	7
不詳			-	-	-	-	-	-	-	-
25～34歳			1041	299	214	225	175	57	37	34
一人っ子			63	19	18	9	8	3	1	5
長男(長子)			320	108	67	97	28	11	2	7
長男(中間子)			133	49	40	32	8	2	-	2
長男(末子)			129	62	32	18	11	3	-	3
長男以外(末子)			229	30	40	39	71	20	18	11
長男以外(中間子)			167	31	17	30	49	18	16	6
不詳			-	-	-	-	-	-	-	-
女子										
総数			1988	181	334	631	500	163	91	88
一人っ子			142	25	27	60	18	3	3	6
男兄弟なし(長子)			289	28	76	117	40	17	4	7
男兄弟なし(中間子)			70	6	10	27	15	10	-	2
男兄弟なし(末子)			263	27	45	104	49	21	10	7
男兄弟あり			1224	95	176	323	378	112	74	66
不詳			-	-	-	-	-	-	-	-
18～24歳			1523	132	262	487	398	113	67	64
一人っ子			101	18	18	43	14	3	2	3
男兄弟なし(長子)			246	24	63	103	35	13	3	5
男兄弟なし(中間子)			54	6	9	19	13	5	-	2
男兄弟なし(末子)			212	26	38	83	41	14	4	6
男兄弟あり			910	58	134	239	295	78	58	48
不詳			-	-	-	-	-	-	-	-
25～34歳			465	49	72	144	102	50	24	24
一人っ子			41	7	9	17	4	-	1	3
男兄弟なし(長子)			43	4	13	14	5	4	1	2
男兄弟なし(中間子)			16	-	1	8	2	5	-	-
男兄弟なし(末子)			51	1	7	21	8	7	6	1
男兄弟あり			314	37	42	84	83	34	16	18
不詳			-	-	-	-	-	-	-	-

表6-3 男女年齢2区分別，学歴別，自分の親との同居志向別，独身者数

性別	年齢	学歴	自分の親との同居志向		結婚直後から同居したい	しばらくしたら同居したい	親の老後に同居したい	同居したくない	その他	不必要・不可能	不詳
			総数	数							
男子											
	総数	数	2620	626	599	626	473	141	62	93	
	中学校	数	259	78	49	48	51	12	4	17	
	男女共学の高校	数	717	177	167	141	146	38	19	29	
	男女別学の高校	数	421	129	90	90	67	21	7	17	
	専修学校(高卒後)	数	182	39	45	37	31	18	9	3	
	短大・高専	数	104	37	14	28	16	6	-	3	
	大学以上	数	882	151	224	269	154	42	21	21	
	その他の	数	39	13	7	8	5	4	1	1	
	不詳	数	16	2	3	5	3	-	1	2	
18~24歳											
	総数	数	1579	327	385	401	298	84	25	59	
	中学校	数	96	25	21	23	17	1	2	7	
	男女共学の高校	数	490	103	119	113	98	27	9	21	
	男女別学の高校	数	246	64	61	56	45	9	2	9	
	専修学校(高卒後)	数	124	25	36	21	20	16	3	3	
	短大・高専	数	66	23	10	18	10	2	-	3	
	大学以上	数	522	77	131	165	103	26	7	13	
	その他の	数	21	8	4	2	2	3	1	1	
	不詳	数	14	2	3	3	3	-	1	2	
25~34歳											
	総数	数	1041	299	214	225	175	57	37	34	
	中学校	数	163	53	28	25	34	11	2	10	
	男女共学の高校	数	227	74	48	28	48	11	10	8	
	男女別学の高校	数	175	65	29	34	22	12	5	8	
	専修学校(高卒後)	数	58	14	9	16	11	2	6	-	
	短大・高専	数	38	14	4	10	6	4	-	-	
	大学以上	数	360	74	93	104	51	16	14	8	
	その他の	数	18	5	3	6	3	1	-	-	
	不詳	数	2	-	-	2	-	-	-	-	
女子											
	総数	数	1988	181	334	631	500	163	91	88	
	中学校	数	92	11	15	31	23	7	2	3	
	男女共学の高校	数	586	53	107	180	143	48	28	27	
	男女別学の高校	数	365	42	63	101	102	22	17	18	
	専修学校(高卒後)	数	225	21	38	71	54	20	12	9	
	短大・高専	数	433	32	69	154	100	38	21	19	
	大学以上	数	247	17	37	88	66	22	10	7	
	その他の	数	30	4	4	4	10	4	1	3	
	不詳	数	10	1	1	2	2	2	-	2	
18~24歳											
	総数	数	1523	132	262	487	398	113	67	64	
	中学校	数	53	4	8	23	13	3	1	1	
	男女共学の高校	数	477	46	84	146	121	35	23	22	
	男女別学の高校	数	276	30	52	72	85	12	12	13	
	専修学校(高卒後)	数	163	12	34	51	39	13	9	5	
	短大・高専	数	344	24	58	125	76	29	16	16	
	大学以上	数	182	13	23	65	54	18	6	3	
	その他の	数	20	2	2	3	8	2	-	3	
	不詳	数	8	1	1	2	2	1	-	1	
25~34歳											
	総数	数	465	49	72	144	102	50	24	24	
	中学校	数	39	7	7	8	10	4	1	2	
	男女共学の高校	数	109	7	23	34	22	13	5	5	
	男女別学の高校	数	89	12	11	29	17	10	5	5	
	専修学校(高卒後)	数	62	9	4	20	15	7	3	4	
	短大・高専	数	89	8	11	29	24	9	5	3	
	大学以上	数	65	4	14	23	12	4	4	4	
	その他の	数	10	2	2	1	2	2	1	-	
	不詳	数	2	-	-	-	-	1	-	1	



表6-4 男女年齢2区分別，職業別，自分の親との同居志向別，独身者数

性別	年齢	職業	自分の親との同居志向		結婚直後から同居したい	しばらくしたら同居したい	親の老後に同居したい	同居したくない	その他	不必要・不可能	不詳
			総数	数							
男子											
	総数	数	2620	626	599	626	473	141	62	93	
	自家営業	数	224	84	44	39	30	10	10	7	
	勤め人(管理・専門)	数	613	153	146	146	96	34	13	25	
	勤め人(事務・販売)	数	549	120	132	135	99	28	19	16	
	勤め人(現場労働)	数	515	160	112	97	92	27	10	17	
	臨時雇い	数	63	14	12	15	16	3	1	2	
	無職・家事手伝い	数	77	14	17	17	19	1	2	7	
	学生	数	557	75	134	172	116	36	6	18	
	不詳	数	22	6	2	5	5	2	1	1	
	18~24歳	総数	1579	327	385	401	298	84	25	59	
	自家営業	数	81	36	17	11	9	3	2	3	
	勤め人(管理・専門)	数	256	55	63	62	46	14	4	12	
	勤め人(事務・販売)	数	285	58	77	67	52	14	7	10	
	勤め人(現場労働)	数	310	83	77	65	54	14	6	11	
	臨時雇い	数	40	10	7	11	9	2	-	1	
	無職・家事手伝い	数	51	9	11	14	12	1	-	4	
	学生	数	547	75	133	167	114	34	6	18	
	不詳	数	9	1	-	4	2	2	-	-	
	25~34歳	総数	1041	299	214	225	175	57	37	34	
	自家営業	数	143	48	27	28	21	7	8	4	
	勤め人(管理・専門)	数	357	98	83	84	50	20	9	13	
	勤め人(事務・販売)	数	264	62	55	68	47	14	12	6	
	勤め人(現場労働)	数	205	77	35	32	38	13	4	6	
	臨時雇い	数	23	4	5	4	7	1	1	1	
	無職・家事手伝い	数	26	5	6	3	7	-	2	3	
	学生	数	10	-	1	5	2	2	-	-	
	不詳	数	13	5	2	1	3	-	1	1	
女子											
	総数	数	1988	181	334	631	500	163	91	88	
	自家営業	数	54	6	14	13	10	7	2	2	
	勤め人(管理・専門)	数	360	31	70	113	87	32	10	17	
	勤め人(事務・販売)	数	866	76	149	279	212	64	47	39	
	勤め人(現場労働)	数	115	9	21	27	34	12	8	4	
	臨時雇い	数	72	5	11	30	16	6	3	1	
	無職・家事手伝い	数	177	22	25	54	44	15	6	11	
	学生	数	318	29	39	109	91	27	11	12	
	不詳	数	26	3	5	6	6	-	4	2	
	18~24歳	総数	1523	132	262	487	398	113	67	64	
	自家営業	数	32	3	9	6	6	6	1	1	
	勤め人(管理・専門)	数	260	22	52	78	66	21	7	14	
	勤め人(事務・販売)	数	661	58	117	216	161	44	37	28	
	勤め人(現場労働)	数	88	5	16	20	30	7	7	3	
	臨時雇い	数	43	3	6	20	10	1	2	1	
	無職・家事手伝い	数	110	11	20	34	31	7	2	5	
	学生	数	316	29	39	109	90	27	10	12	
	不詳	数	13	1	3	4	4	-	1	-	
	25~34歳	総数	465	49	72	144	102	50	24	24	
	自家営業	数	22	3	5	7	4	1	1	1	
	勤め人(管理・専門)	数	100	9	18	35	21	11	3	3	
	勤め人(事務・販売)	数	205	18	32	63	51	20	10	11	
	勤め人(現場労働)	数	27	4	5	7	4	5	1	1	
	臨時雇い	数	29	2	5	10	6	5	1	-	
	無職・家事手伝い	数	67	11	5	20	13	8	4	6	
	学生	数	2	-	-	-	1	-	1	-	
	不詳	数	13	2	2	2	2	-	3	2	

表 6-5 男女年齢 2 区分別，現住地の性格（人口集中地区人口規模）別，自分の親との同居志向別，独身者数

性別 年齢	自分の親との同居志向 現住地の性格	総 数	結婚直前から 同居したい	しばらくした ら同居したい	親の老後に 同居したい	同居したく ない	そ の 他	不必要・ 不可能	不 詳
男子									
総 数	総 数	2620	626	599	626	473	141	62	93
	非人口集中地区	954	342	209	156	141	48	19	39
	人口集中地区 10万未満	376	119	77	79	59	19	8	15
	人口集中地区 10～20万	217	28	47	62	46	17	11	6
	人口集中地区 20～50万	312	30	85	104	63	16	5	9
	人口集中地区 50～100万	148	11	39	44	31	13	2	8
	人口集中地区 100～200万	145	18	33	50	29	7	3	5
	人口集中地区 200万以上	468	78	109	131	104	21	14	11
18～24歳	総 数	1579	327	385	401	298	84	25	59
	非人口集中地区	571	191	133	95	93	25	9	25
	人口集中地区 10万未満	220	53	51	52	36	16	3	9
	人口集中地区 10～20万	130	15	27	36	32	10	6	4
	人口集中地区 20～50万	208	15	55	74	45	12	2	5
	人口集中地区 50～100万	104	6	31	29	21	10	-	7
	人口集中地区 100～200万	88	6	22	35	18	3	1	3
	人口集中地区 200万以上	258	41	66	80	53	8	4	6
25～34歳	総 数	1041	299	214	225	175	57	37	34
	非人口集中地区	383	151	76	61	48	23	10	14
	人口集中地区 10万未満	156	66	26	27	23	3	5	6
	人口集中地区 10～20万	87	13	20	26	14	7	5	2
	人口集中地区 20～50万	104	15	30	30	18	4	3	4
	人口集中地区 50～100万	44	5	8	15	10	3	2	1
	人口集中地区 100～200万	57	12	11	15	11	4	2	2
	人口集中地区 200万以上	210	37	43	51	51	13	10	5
女子									
総 数	総 数	1988	181	334	631	500	163	91	88
	非人口集中地区	741	94	137	195	182	60	36	37
	人口集中地区 10万未満	342	27	62	105	91	26	15	16
	人口集中地区 10～20万	200	13	27	78	53	15	10	4
	人口集中地区 20～50万	195	14	35	72	45	15	6	8
	人口集中地区 50～100万	106	8	17	36	29	8	3	5
	人口集中地区 100～200万	86	4	11	36	20	9	3	3
	人口集中地区 200万以上	318	21	45	109	80	30	18	15
18～24歳	総 数	1523	132	262	487	398	113	67	64
	非人口集中地区	601	72	117	158	155	40	29	30
	人口集中地区 10万未満	259	22	49	76	70	20	10	12
	人口集中地区 10～20万	163	9	23	65	43	13	7	3
	人口集中地区 20～50万	146	9	25	56	35	11	3	7
	人口集中地区 50～100万	77	5	11	24	24	7	3	3
	人口集中地区 100～200万	64	2	10	30	15	5	2	-
	人口集中地区 200万以上	213	13	27	78	56	17	13	9
25～34歳	総 数	465	49	72	144	102	50	24	24
	非人口集中地区	140	22	20	37	27	20	7	7
	人口集中地区 10万未満	83	5	13	29	21	6	5	4
	人口集中地区 10～20万	37	4	4	13	10	2	3	1
	人口集中地区 20～50万	49	5	10	16	10	4	3	1
	人口集中地区 50～100万	29	3	6	12	5	1	-	2
	人口集中地区 100～200万	22	2	1	6	5	4	1	3
	人口集中地区 200万以上	105	8	18	31	24	13	5	6

表6—6 男女年齢2区分別，（現在の）親との同別居別，  
自分の親との同居志向別，独身者数

性別 年齢 親との同別居	自分の親との同居志向		総 数	結婚直後から同居したい	しばらくしたら同居したい	親の老後に同居したい	同居したくない	その他	不必要・不可能	不 詳
	同居	別居								
男子										
総 数	同居	数	2620	626	599	626	473	141	62	93
	別居	数	1841	570	431	388	264	91	26	71
その 不	同居	数	746	55	166	236	202	45	27	15
	別居	数	30	1	2	2	5	4	9	7
18～24歳	同居	数	3	-	-	-	2	1	-	-
	別居	数	1579	327	385	401	298	84	25	59
その 不	同居	数	1103	284	271	258	180	54	10	46
	別居	数	464	43	112	141	114	29	13	12
25～34歳	同居	数	10	-	2	2	3	-	2	1
	別居	数	2	-	-	-	1	1	-	-
同居	同居	数	1041	299	214	225	175	57	37	34
	別居	数	738	286	160	130	84	37	16	25
その 不	同居	数	282	12	54	95	88	16	14	3
	別居	数	20	1	-	-	2	4	7	6
女子	同居	数	1	-	-	-	1	-	-	-
	別居	数	1988	181	334	631	500	163	91	88
同居	同居	数	1636	159	273	527	410	121	70	76
	別居	数	339	21	60	103	89	39	18	9
その 不	同居	数	12	-	1	1	1	3	3	3
	別居	数	1	1	-	-	-	-	-	-
18～24歳	同居	数	1523	132	262	487	398	113	67	64
	別居	数	1286	114	216	414	339	90	55	58
その 不	同居	数	230	17	46	72	58	21	11	5
	別居	数	6	-	-	1	1	2	1	1
25～34歳	同居	数	1	1	-	-	-	-	-	-
	別居	数	465	49	72	144	102	50	24	24
同居	同居	数	350	45	57	113	71	31	15	18
	別居	数	109	4	14	31	31	18	7	4
その 不	同居	数	6	-	1	-	-	1	2	2
	別居	数	-	-	-	-	-	-	-	-

表6-7 男女年齢2区分別，地方ブロック別，  
自分の親との同居志向別，独身者数

性別	年齢	自分の親との同居志向	総数	結婚直後から同居したい	しばらくしたら同居したい	親の老後に同居したい	同居したくない	その他	不必要・不可能	不詳
男子										
総数										
		北海道	2620	626	599	626	473	141	62	93
		北海道	80	10	15	25	22	-	1	7
		北海道	224	90	39	31	35	15	4	10
		北海道	850	177	190	231	163	40	30	19
		中部	468	145	109	81	74	31	13	15
		中部	437	76	104	121	102	15	5	14
		中国・四国	245	62	56	54	37	19	8	9
		中国・四国	316	66	86	83	40	21	1	19
18~24歳										
		北海道	1579	327	385	401	298	84	25	59
		北海道	54	6	10	15	16	-	1	6
		北海道	133	47	24	17	28	10	1	6
		北海道	481	96	113	148	88	19	9	8
		中部	274	71	70	51	47	20	6	9
		中部	290	45	72	79	69	11	3	11
		中国・四国	147	30	35	36	23	12	5	6
		中国・四国	200	32	61	55	27	12	-	13
25~34歳										
		北海道	1041	299	214	225	175	57	37	34
		北海道	26	4	5	10	6	-	-	1
		北海道	91	43	15	14	7	5	3	4
		北海道	369	81	77	83	75	21	21	11
		中部	194	74	39	30	27	11	7	6
		中部	147	31	32	42	33	4	2	3
		中国・四国	98	32	21	18	14	7	3	3
		中国・四国	116	34	25	28	13	9	1	6
女子										
総数										
		北海道	1988	181	334	631	500	163	91	88
		北海道	71	4	13	27	16	9	2	-
		北海道	167	21	32	37	42	19	8	8
		北海道	625	41	113	198	169	55	29	20
		中部	336	41	57	83	75	29	29	22
		中部	330	25	41	123	83	27	11	20
		中国・四国	209	34	34	66	48	12	5	10
		中国・四国	250	15	44	97	67	12	7	8
18~24歳										
		北海道	1523	132	262	487	398	113	67	64
		北海道	49	1	9	21	11	6	1	-
		北海道	132	14	25	33	35	13	6	6
		北海道	453	31	84	144	126	37	19	12
		中部	280	31	50	70	63	23	25	18
		中部	262	19	31	104	67	19	8	14
		中国・四国	169	29	29	53	40	8	3	7
		中国・四国	178	7	34	62	56	7	5	7
25~34歳										
		北海道	465	49	72	144	102	50	24	24
		北海道	22	3	4	6	5	3	1	-
		北海道	35	7	7	4	7	6	2	2
		北海道	172	10	29	54	43	18	10	8
		中部	56	10	7	13	12	6	4	4
		中部	68	6	10	19	16	8	3	6
		中国・四国	40	5	5	13	8	4	2	3
		中国・四国	72	8	10	35	11	5	2	1

表 6 - 8 男女年齢 2 区分別, 続柄別, 結婚相手の親との同居志向別, 独身者数

性別 年齢	結婚相手の親との同居志向		総 数	かまわない	場合による	いやだ	不 詳
	続柄						
男子							
	総 数	数	2620	548	1417	547	108
	一 人 っ 子	数	199	42	102	47	8
	長 男 ( 長 子 )	数	901	177	510	174	40
	長 男 ( 中 間 子 )	数	223	59	106	42	16
	長 男 ( 末 子 )	数	383	70	209	94	10
	長男以外 ( 末 子 )	数	609	134	333	118	24
	長男以外 ( 中 間 子 )	数	305	66	157	72	10
	不 詳	数	-	-	-	-	-
18~24歳							
	総 数	数	1579	319	866	341	53
	一 人 っ 子	数	136	30	71	33	2
	長 男 ( 長 子 )	数	581	102	342	115	22
	長 男 ( 中 間 子 )	数	90	21	41	22	6
	長 男 ( 末 子 )	数	254	46	132	69	7
	長男以外 ( 末 子 )	数	380	90	208	70	12
	長男以外 ( 中 間 子 )	数	138	30	72	32	4
	不 詳	数	-	-	-	-	-
25~34歳							
	総 数	数	1041	229	551	206	55
	一 人 っ 子	数	63	12	31	14	6
	長 男 ( 長 子 )	数	320	75	168	59	18
	長 男 ( 中 間 子 )	数	133	38	65	20	10
	長 男 ( 末 子 )	数	129	24	77	25	3
	長男以外 ( 末 子 )	数	229	44	125	48	12
	長男以外 ( 中 間 子 )	数	167	36	85	40	6
	不 詳	数	-	-	-	-	-
女子							
	総 数	数	1988	650	984	321	33
	一 人 っ 子	数	142	30	82	23	7
	男兄弟なし ( 長 子 )	数	289	88	157	39	5
	男兄弟なし ( 中 間 子 )	数	70	20	37	13	-
	男兄弟なし ( 末 子 )	数	263	67	142	52	2
	男 兄 弟 あ り	数	1224	445	566	194	19
	不 詳	数	-	-	-	-	-
18~24歳							
	総 数	数	1523	495	757	248	23
	一 人 っ 子	数	101	22	60	15	4
	男兄弟なし ( 長 子 )	数	246	71	137	33	5
	男兄弟なし ( 中 間 子 )	数	54	16	27	11	-
	男兄弟なし ( 末 子 )	数	212	53	117	40	2
	男 兄 弟 あ り	数	910	333	416	149	12
	不 詳	数	-	-	-	-	-
25~34歳							
	総 数	数	465	155	227	73	10
	一 人 っ 子	数	41	8	22	8	3
	男兄弟なし ( 長 子 )	数	43	17	20	6	-
	男兄弟なし ( 中 間 子 )	数	16	4	10	2	-
	男兄弟なし ( 末 子 )	数	51	14	25	12	-
	男 兄 弟 あ り	数	314	112	150	45	7
	不 詳	数	-	-	-	-	-

表6-9 女子年齢2区分別，続柄別，婿養子縁組志向別，独身者数

性別	婿養子縁組志向		総数	自分も親も望む	親が望む	どちらでもよい	不必要	不詳
	年齢	続柄						
女子								
	総数		1988	69	187	381	1271	80
	一人っ子		142	13	37	48	38	6
	男兄弟なし(長女)		289	33	75	111	67	3
	男兄弟なし(中間子)		70	5	15	24	25	1
	男兄弟なし(末子)		263	11	43	92	107	10
	男兄弟あり		1224	7	17	106	1034	60
	不詳		-	-	-	-	-	-
	18~24歳							
	総数		1523	55	153	303	954	58
	一人っ子		101	10	29	34	25	3
	男兄弟なし(長女)		246	27	69	90	57	3
	男兄弟なし(中間子)		54	3	11	18	21	1
	男兄弟なし(末子)		212	9	34	76	85	8
	男兄弟あり		910	6	10	85	766	43
	不詳		-	-	-	-	-	-
	25~34歳							
	総数		465	14	34	78	317	22
	一人っ子		41	3	8	14	13	3
	男兄弟なし(長女)		43	6	6	21	10	-
	男兄弟なし(中間子)		16	2	4	6	4	-
	男兄弟なし(末子)		51	2	9	16	22	2
	男兄弟あり		314	1	7	21	268	17
	不詳		-	-	-	-	-	-

表6-10 男子年齢2区分別，続柄別，婿養子縁組志向別，独身者数

性別	婿養子縁組志向		総数	かまわない	場合による	いやだ	不詳
	年齢	続柄					
男子							
	総数		2620	316	912	1298	94
	一人っ子		199	19	55	113	12
	長男(長子)		901	91	317	455	38
	長男(中間子)		223	28	84	100	11
	長男(末子)		383	25	95	252	11
	長男以外(末子)		609	96	239	256	18
	長男以外(中間子)		305	57	122	122	4
	不詳		-	-	-	-	-
	18~24歳						
	総数		1579	193	562	770	54
	一人っ子		136	10	41	79	6
	長男(長子)		581	59	225	276	21
	長男(中間子)		90	10	37	37	6
	長男(末子)		254	15	62	171	6
	長男以外(末子)		380	72	144	151	13
	長男以外(中間子)		138	27	53	56	2
	不詳		-	-	-	-	-
	25~34歳						
	総数		1041	123	350	528	40
	一人っ子		63	9	14	34	6
	長男(長子)		320	32	92	179	17
	長男(中間子)		133	18	47	63	5
	長男(末子)		129	10	33	81	5
	長男以外(末子)		229	24	95	105	5
	長男以外(中間子)		167	30	69	66	2
	不詳		-	-	-	-	-

表7-1 男女年齢4区分別, 希望子供数別, 独身者数

性別 年齢	希望子供数											不詳	平均 希望子供数
	総数	いない	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上			
男子													
総数	(2620)	60	81	1518	821	54	25	3	1	10	47	2.34	
18~19歳	(474)	9	13	293	134	7	4	2	-	2	10	2.32	
20~24歳	(1105)	24	31	653	334	28	10	-	-	6	19	2.35	
25~29歳	(699)	18	21	375	250	15	5	1	-	2	12	2.37	
30~34歳	(342)	9	16	197	103	4	6	-	1	-	6	2.30	
女子													
総数	(1988)	75	98	1087	628	65	13	3	-	1	18	2.29	
18~19歳	(445)	10	10	257	148	15	-	-	-	1	4	2.35	
20~24歳	(1078)	30	47	587	359	36	10	2	-	-	7	2.34	
25~29歳	(345)	21	26	183	95	13	2	1	-	-	4	2.18	
30~34歳	(120)	14	15	60	26	1	1	-	-	-	3	1.90	

表7-2 男女別, 現住地の性格(人口集中地区人口規模)別, 希望子供数別, 独身者数

性別 現住地の性格	希望子供数											不詳	平均 希望子供数
	総数	いない	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上			
男子													
総数	(2620)	60	81	1518	821	54	25	3	1	10	47	2.34	
非人口集中地区	(954)	12	17	538	333	17	9	2	-	5	21	2.42	
人口集中地区10万未満	(376)	9	10	216	123	6	5	-	1	-	6	2.34	
人口集中地区10~20万	(217)	4	9	142	56	2	2	-	-	-	2	2.23	
人口集中地区20~50万	(312)	7	10	185	85	14	2	1	-	3	5	2.38	
人口集中地区50~100万	(148)	5	9	87	39	2	3	-	-	1	2	2.27	
人口集中地区100~200万	(145)	3	6	91	39	2	-	-	-	1	3	2.26	
人口集中地区200万以上	(468)	20	20	259	146	11	4	-	-	-	8	2.26	
女子													
総数	(1988)	75	98	1087	628	65	13	3	-	1	18	2.29	
非人口集中地区	(741)	22	34	409	249	20	2	-	-	-	5	2.29	
人口集中地区10万未満	(342)	9	17	185	105	12	5	2	-	-	7	2.35	
人口集中地区10~20万	(200)	11	12	103	64	6	2	1	-	-	1	2.26	
人口集中地区20~50万	(195)	5	7	103	69	8	2	-	-	-	1	2.38	
人口集中地区50~100万	(106)	8	4	57	34	3	-	-	-	-	-	2.19	
人口集中地区100~200万	(86)	6	2	55	18	3	1	-	-	-	1	2.15	
人口集中地区200万以上	(318)	14	22	175	89	13	1	-	-	1	3	2.23	

表7-3 男女別, 職業別, 希望子供数別, 独身者数

性別 職業	希望子供数											不詳	平均 希望子供数
	総数	いない	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人以上			
男子													
総数	(2620)	60	81	1518	821	54	25	3	1	10	47	2.34	
自家営業	(224)	2	7	111	91	7	4	-	-	2	-	2.53	
勤め人(管理・専門)	(613)	11	22	361	184	13	5	-	1	1	15	2.32	
勤め人(事務・販売)	(549)	10	15	339	159	9	3	-	-	2	12	2.30	
勤め人(現場労働)	(515)	9	18	299	165	10	2	-	-	2	10	2.33	
臨時雇い	(63)	4	3	31	23	-	1	1	-	-	-	2.30	
無職・家事手伝い	(77)	4	2	40	22	5	2	-	-	-	2	2.37	
学生	(557)	20	13	321	172	10	8	2	-	3	8	2.34	
不詳	(22)	-	1	16	5	-	-	-	-	-	-	2.18	
女子													
総数	(1988)	75	98	1087	628	65	13	3	-	1	18	2.29	
自家営業	(54)	3	2	28	19	-	-	-	-	-	2	2.21	
勤め人(管理・専門)	(360)	20	16	187	111	15	5	1	-	-	5	2.29	
勤め人(事務・販売)	(866)	31	36	491	271	23	7	1	-	-	6	2.28	
勤め人(現場労働)	(115)	2	5	57	48	2	-	-	-	-	1	2.38	
臨時雇い	(72)	2	7	34	23	5	-	1	-	-	-	2.36	
無職・家事手伝い	(177)	10	16	101	47	2	1	-	-	-	-	2.10	
学生	(318)	6	12	179	101	16	-	-	-	1	3	2.37	
不詳	(26)	1	4	10	8	2	-	-	-	-	1	2.24	

表 8 - 1 男女年齢 4 区分別, 希望性別組合せの有無別, 独身者数

性別	年齢	希望性別組合せの有無	総 数	希望あり	希望なし	不 詳
男 子	総 数	( 2513 )	1809	676	28	
	18 ~ 19 歳	( 455 )	324	125	6	
	20 ~ 24 歳	( 1062 )	807	250	5	
	25 ~ 29 歳	( 669 )	475	185	9	
	30 ~ 34 歳	( 327 )	203	116	8	
女 子	総 数	( 1895 )	1411	471	13	
	18 ~ 19 歳	( 431 )	333	93	5	
	20 ~ 24 歳	( 1041 )	796	240	5	
	25 ~ 29 歳	( 320 )	218	100	2	
	30 ~ 34 歳	( 103 )	64	38	1	

表 8 - 2 男女年齢 4 区分別, 希望男女児組合せ別, 独身者数

性別	年齢	希望子供数 希望男女児 組合せ	総 数	1 人		2 人		3 人				4 人				その他	不 詳	
				男 1 人 女 0 人	男 0 人 女 1 人	男 2 人 女 0 人	男 1 人 女 1 人	男 0 人 女 2 人	男 3 人 女 0 人	男 2 人 女 1 人	男 1 人 女 2 人	男 0 人 女 3 人	男 4 人 女 0 人	男 3 人 女 1 人	男 2 人 女 2 人			男 1 人 女 3 人
男 子	総 数	( 1809 )	36	9	87	1003	12	14	477	100	4	1	3	37	-	2	23	1
	18 ~ 19 歳	( 324 )	4	3	21	187	2	3	73	19	-	-	2	3	-	1	6	-
	20 ~ 24 歳	( 807 )	16	3	46	445	5	5	210	42	1	1	1	21	-	-	10	1
	25 ~ 29 歳	( 475 )	9	2	17	247	4	4	144	30	3	-	-	11	-	1	3	-
	30 ~ 34 歳	( 203 )	7	1	3	124	1	2	50	9	-	-	-	2	-	-	4	-
女 子	総 数	( 1411 )	31	21	11	773	38	4	310	148	1	1	2	57	-	-	12	2
	18 ~ 19 歳	( 333 )	1	3	2	185	10	1	71	44	-	-	-	14	-	-	1	1
	20 ~ 24 歳	( 796 )	17	10	6	434	19	3	187	79	-	-	1	32	-	-	7	1
	25 ~ 29 歳	( 218 )	7	4	1	119	6	-	42	23	1	1	1	10	-	-	3	-
	30 ~ 34 歳	( 64 )	6	4	2	35	3	-	10	2	-	-	-	1	-	-	1	-



表9-1 男女年齢4区分別，一人っ子忌避理由別，独身者数

性別	一人っ子忌避理由 年齢	理由										
		総数	成長に好ましくない	家庭がさびしい	老後が心細い	ガンのことがあるといけないから	助け合える者がいないとかわいそう	世間で言われているから	社会的義務だから	人口が減ってしまうから	その他	不詳
男 子	総数	( 2432)	1156	813	122	172	1222	61	27	36	57	61
	18～19歳	( 442)	199	159	28	25	222	11	1	8	8	16
	20～24歳	( 1031)	515	364	53	73	535	26	15	15	25	17
	25～29歳	( 648)	320	205	22	47	328	14	5	8	19	17
	30～34歳	( 311)	122	85	19	27	137	10	6	5	5	11
女 子	総数	( 1797)	975	636	74	87	1117	25	23	19	28	52
	18～19歳	( 421)	226	170	22	14	254	8	5	5	8	11
	20～24歳	( 994)	544	364	44	51	640	13	9	8	13	33
	25～29歳	( 294)	160	80	8	13	179	3	5	4	7	7
	30～34歳	( 88)	45	22	-	9	44	1	4	2	-	1

表10-1 男女年齢4区分別，第1子出産希望時期別，独身者数

性別	第1子出産希望時期 年齢	総数	できるだけはやく	しばらくしてから	不詳
男 子	総数	( 2513 )	1287	1132	94
	18～19歳	( 455 )	190	244	21
	20～24歳	( 1062 )	431	588	43
	25～29歳	( 669 )	406	247	16
	30～34歳	( 327 )	260	53	14
女 子	総数	( 1895 )	916	930	49
	18～19歳	( 431 )	183	237	11
	20～24歳	( 1041 )	473	542	26
	25～29歳	( 320 )	182	131	7
	30～34歳	( 103 )	78	20	5

表10-2 男女別，現住地の性格（人口集中地区人口規模）別，第1子出産希望時期別，独身者数

性別	第1子出産希望時期 現住地の性格	総数	できるだけはやく	しばらくしてから	不詳
男 子	総数	( 2513 )	1287	1132	94
	非人口集中地区	( 921 )	500	376	45
	人口集中地区10万未満	( 361 )	193	158	10
	人口集中地区10万～20万	( 211 )	99	104	8
	人口集中地区20万～50万	( 300 )	139	151	10
	人口集中地区50万～100万	( 141 )	67	71	3
	人口集中地区100万～200万	( 139 )	67	67	5
	人口集中地区200万以上	( 440 )	222	205	13
女 子	総数	( 1895 )	916	930	49
	非人口集中地区	( 714 )	370	324	20
	人口集中地区10万未満	( 326 )	157	164	5
	人口集中地区10万～20万	( 188 )	90	94	4
	人口集中地区20万～50万	( 189 )	84	102	3
	人口集中地区50万～100万	( 98 )	48	48	2
	人口集中地区100万～200万	( 79 )	37	39	3
	人口集中地区200万以上	( 301 )	130	159	12

表10-3 男女別，父親の職業別，第1子出産希望時期別，独身者数

性別	第1子出産希望時期 父親の職業	総数	できるだけはやく	しばらくしてから	不詳
男 子	総数	( 2513 )	1287	1132	94
	主として農林漁業	( 444 )	272	154	18
	農林漁業以外の自営	( 506 )	260	226	20
	勤め人(管理・事務・販売など)	( 793 )	363	406	24
	勤め人(工場などの現場労働)	( 533 )	260	256	17
	その他	( 148 )	86	54	8
	不詳	( 89 )	46	36	7
女 子	総数	( 1895 )	916	930	49
	主として農林漁業	( 270 )	154	108	8
	農林漁業以外の自営	( 386 )	188	187	11
	勤め人(管理・事務・販売など)	( 678 )	318	346	14
	勤め人(工場などの現場労働)	( 390 )	175	209	6
	その他	( 91 )	48	42	1
	不詳	( 80 )	33	38	9

表10-4 男女別，学歴別，第1子出産希望時期別，独身者数

性別	第1子出産希望時期		総数	できるだけはやく	しばらくしてから	不詳
	学歴	数				
男子	総数	( 2513 )	1287	1132	94	
	中学校	( 246 )	151	78	17	
	男女共学の高校	( 683 )	345	316	22	
	男女別学の高校	( 409 )	220	169	20	
	専修学校(高卒後)	( 178 )	89	80	9	
	短大・高専	( 99 )	50	44	5	
	大学以上	( 845 )	402	425	18	
	その他	( 38 )	23	13	2	
	不詳	( 15 )	7	7	1	
女子	総数	( 1895 )	916	930	49	
	中学校	( 83 )	41	36	6	
	男女共学の高校	( 560 )	256	289	15	
	男女別学の高校	( 354 )	185	164	5	
	専修学校(高卒後)	( 206 )	107	94	5	
	短大・高専	( 421 )	203	207	11	
	大学以上	( 235 )	103	126	6	
	その他	( 26 )	16	10	-	
	不詳	( 10 )	5	4	1	

表10-5 男女別，希望子供数別，第1子出産希望時期別，独身者数

性別	第1子出産希望時期		総数	できるだけはやく	しばらくしてから	不詳
	希望子供数	数				
男子	総数	( 2513 )	1287	1132	94	
	いらない	( 0 )	-	-	-	
	1人	( 81 )	36	42	3	
	2人	( 1518 )	704	757	57	
	3人	( 821 )	484	306	31	
	4人	( 54 )	35	17	2	
	5人	( 25 )	17	7	1	
	6人	( 3 )	3	-	-	
	7人	( 1 )	1	-	-	
	8人以上	( 10 )	7	3	-	
	不詳	( 0 )	-	-	-	
女子	総数	( 1895 )	916	930	49	
	いらない	( 0 )	-	-	-	
	1人	( 98 )	38	57	3	
	2人	( 1087 )	475	583	29	
	3人	( 628 )	353	260	15	
	4人	( 65 )	40	24	1	
	5人	( 13 )	9	3	1	
	6人	( 3 )	1	2	-	
	7人	( 0 )	-	-	-	
	8人以上	( 1 )	-	1	-	
	不詳	( 0 )	-	-	-	

表10-6 男女別，年収別，第1子出産希望時期別，独身者数

性別 年 収		第1子出産希望時期			
		総 数	できるだけ はや く	しばらく してから	不 詳
男 子					
総 数		( 1832 )	1003	761	68
100 万 円 未 満		( 186 )	99	74	13
100万円以上～200万円未満		( 860 )	430	402	28
200万円以上～300万円未満		( 567 )	337	217	13
300万円以上～400万円未満		( 140 )	95	42	3
400万円以上～500万円未満		( 20 )	18	2	-
500 万 円 以 上		( 8 )	3	5	-
不 詳		( 51 )	21	19	11
女 子					
総 数		( 1325 )	656	635	34
100 万 円 未 満		( 231 )	117	105	9
100万円以上～200万円未満		( 834 )	406	412	16
200万円以上～300万円未満		( 190 )	99	87	4
300万円以上～400万円未満		( 20 )	15	5	-
400万円以上～500万円未満		( 1 )	-	1	-
500 万 円 以 上		( 1 )	1	-	-
不 詳		( 48 )	18	25	5

表11-1 男女年齢4区分別，避妊知識の有無別，独身者数

性別 年齢	避妊知識の有無	総数	全然知らない	言葉だけ知っている	具体的に知っている	不詳
男子	総数	( 2620 )	93	619	1820	88
	18～19歳	( 474 )	31	156	270	17
	20～24歳	( 1105 )	36	252	782	35
	25～29歳	( 699 )	15	137	524	23
	30～34歳	( 342 )	11	74	244	13
女子	総数	( 1988 )	35	702	1204	47
	18～19歳	( 445 )	10	166	256	13
	20～24歳	( 1078 )	19	392	648	19
	25～29歳	( 345 )	5	98	230	12
	30～34歳	( 120 )	1	46	70	3

表11-2 男女別，学歴別，避妊知識の有無別，独身者数

性別 学歴	避妊知識の有無	総数	全然知らない	言葉だけ知っている	具体的に知っている	不詳
男子	総数	2620	93	619	1820	88
	中学校	259	24	82	137	16
	男女共学の高校	717	26	170	497	24
	男女別学の高校	421	13	129	264	15
	専修学校(高卒後)	182	7	51	121	3
	短大・高専	104	3	22	76	3
	大学以上	882	17	151	690	24
	その他の	39	1	11	25	2
	不詳	16	2	3	10	1
	女子	総数	1988	35	702	1204
中学校		92	4	41	42	5
男女共学の高校		586	12	211	345	18
男女別学の高校		365	5	133	221	6
専修学校(高卒後)		225	-	61	159	5
短大・高専		433	9	155	261	8
大学以上		247	4	87	155	1
その他の		30	-	10	17	3
不詳		10	1	4	4	1

表11-3 男女別，職業別，避妊知識の有無別，独身者数

性別	避妊知識の有無		総数	全然知らない	言葉だけ知っている	具体的に知っている	不詳
	職業						
男子	総数		2620	93	619	1820	88
	自家営業		224	10	54	154	6
	勤め人(管理・専門)		613	23	111	450	29
	勤め人(事務・販売)		549	10	119	405	15
	勤め人(現場労働)		515	29	154	314	18
	臨時雇い		63	1	22	39	1
	無職・家事手伝い		77	1	20	51	5
	学生		557	19	133	393	12
	不詳		22	-	6	14	2
女子	総数		1988	35	702	1204	47
	自家営業		54	1	13	37	3
	勤め人(管理・専門)		360	2	116	232	10
	勤め人(事務・販売)		866	9	319	519	19
	勤め人(現場労働)		115	6	46	61	2
	臨時雇い		72	1	18	52	1
	無職・家事手伝い		177	4	72	97	4
	学生		318	11	110	191	6
	不詳		26	1	8	15	2

表11-4 男女別，現住地の性格（人口集中地区人口規模）別，避妊知識の有無別，独身者数

性別	避妊知識の有無		総数	全然知らない	言葉だけ知っている	具体的に知っている	不詳
	現住地の性格						
男子	総数		2620	93	619	1820	88
	非人口集中地区		954	48	278	589	39
	人口集中地区10万未満		376	13	77	270	16
	人口集中地区10～20万		217	6	43	163	5
	人口集中地区20～50万		312	7	72	225	8
	人口集中地区50～100万		148	6	24	108	10
	人口集中地区100～200万		145	3	40	98	4
	人口集中地区200万以上		468	10	85	367	6
女子	総数		1988	35	702	1204	47
	非人口集中地区		741	19	277	424	21
	人口集中地区10万未満		342	3	130	196	13
	人口集中地区10～20万		200	2	69	126	3
	人口集中地区20～50万		195	3	68	123	1
	人口集中地区50～100万		106	2	26	78	-
	人口集中地区100～200万		86	-	32	48	6
	人口集中地区200万以上		318	6	100	209	3

表11-5 男女別，親との同別居別，避妊知識の有無別，独身者数

性別	避妊知識の有無		総数	全然知らない	言葉だけ知っている	具体的に知っている	不詳
	親との同別居	数居居他詳					
男子	総数	数居居他詳	2620	93	619	1820	88
	同別居	居	1841	68	488	1215	70
	別居	居	746	23	124	584	15
	その他	他詳	30	1	7	20	2
	不詳		3	1	-	1	1
女子	総数	数居居他詳	1988	35	702	1204	47
	同別居	居	1636	31	596	972	37
	別居	居	339	4	101	226	8
	その他	他詳	12	-	5	5	2
	不詳		1	-	-	1	-

表11-6 男女年齢4区分別，避妊知識入手経路別，独身者数

性別 年齢	避妊知識 入手経路	総数	両親	きょうだい	同性の友人	異性の友人	学校の授業	雑誌・新聞	医学書	テレビ・ラ ジオ・映画	その他	不詳
	総数	( 1820 )	24	27	1023	255	429	1277	429	522	42	8
	18~19歳	( 270 )	3	3	154	42	133	152	46	60	5	1
	20~24歳	( 782 )	10	12	492	100	225	578	173	242	11	4
	25~29歳	( 524 )	6	6	276	77	60	381	153	159	13	1
	30~34歳	( 244 )	5	6	101	36	11	166	57	61	13	2
女子												
	総数	( 1204 )	29	27	657	140	547	796	304	230	35	-
	18~19歳	( 256 )	10	4	140	30	174	147	29	47	3	-
	20~24歳	( 648 )	15	15	387	70	288	452	160	122	18	-
	25~29歳	( 230 )	4	5	102	31	73	155	81	48	10	-
	30~34歳	( 70 )	-	3	28	9	12	42	34	13	4	-

